

第七十五回帝國議會 院 案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

昭和十二年法律第九十號中改正法律 委員會會議錄(速記)第二十回

會議

昭和十五年三月十九日(火曜日)午前十時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 小林 絹治君

理事伊藤 五郎君 理事深澤 吉平君

理事坪山 德彌君 理事淺井 茂猪君

高田 耘平君 土田 莊助君

堀内 良平君 松尾 四郎君

長野 綱良君 助川啓四郎君

小笠原八十美君 小串 清一君

平野 力三君

三月十八日委員山本条吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ堀内良平君ヲ議長ニ於テ選定セリ 同月十九日委員野溝勝君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山崎銀二君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 島田 俊雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林省山林局長 田中 長茂君

馬政局長官 村上富士太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

裝飾師法案(政府提出、貴族院送付)

家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

木炭需給調節特別會計法案(政府提出)

日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)

○小林委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、裝飾師法案、家畜傳染病豫防法中改正法律案、牧野法中改正法律案、獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ審議ヲ進メマス——伊藤君

○伊藤委員 私ハ保留ヲ致シテ居リマス、點ニ付キマシテ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、牧野法ニ關シテデアリマスガ、唯一點ダケ馬政局長官及ビ山林局長ニ御伺ヲ致シタイト思ヒマス、農林省ハ國有林ノ中デ放牧地又ハ採草地トシテ民間ニ開放致シテ居リマスルガ、此ノ開放地ニ火入レヲ禁止シテ居リマス爲ニ、放牧地又ハ採草地トシテノ利用價值ガ非常ニ減殺セラレテ居ルノデアリマス、採草地ハ肥料ノ重要ナル資源地デアリ

バカリデナク、馬ノ飼養ニ付キ糞草等ノ飼料敷草等ヲ供給スル所デアリマスカラ非常ナル重要性ヲ持つテ居ルノデアリマス、放牧地モ亦同様デアリマス、此ノ採草地及ビ

放牧地ニ火入レヲ禁止致シテ居リマスノデ、蛇「ダ」等ノ害蟲ヲ養成シ茨、雜木等ガ繁茂致シマシテ草ハ不足トナリ劣惡トナツテ馬ノ飼養ニ堆肥ノ造成ニ愈、困難ヲ來シテ居ルノデアリマス、實ニ馬ノ飼養頭數ノ減少ハ、

此ノ採草地及ビ放牧地等ニ火入レヲ禁止シテ居ル爲デアルト言ハレテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ニ於テ東北地方出身ノ貴衆兩院議員ヲ以テ組織致シテ居ル東北振興同盟ニ於テハ、去ル二月、本院ニ於テ、採草地、放牧地等ニ對スル火入レ禁止ヲ解除スベシトノ決議ヲ爲シテ、其ノ實現方ニ吾々

ハ努力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ火入レ問題ニ付テハ、農林省ハ中々今マデ積極的ニ之ヲ許可シヨウトスル御意思ガナカツタノデアリマスルガ、私ノ知ツテ

居ル範圍ニ於テハ、農林省ノ中ニモ火入レヲシタ方ガ宜イデハナイカト云フ説ガ非常ニ有力ニ叫バレテ居ルノデアリマス、即チ

農林省ノ官房統計課長、東大教授ヲヤツテ

居ル近藤康男氏ノ如キハ、戰爭ト農業ト云フ著書ノ中ニ、ドウシテモ火入レヲ採草地及ビ放牧地ニ許可シナケレバナラヌノデア

ナイカト云フコトヲ論及致シテ居ルノデア

リマス、此ノ際政府ハ思切ツテ、肥料政策

上、馬産政策上、此ノ採草地及ビ放牧地ニ對シマシテ、積極的ニ火入レヲ許可致シマシテ、サウシテ此ノ國策ニ順應スル御意思ガアルカナイカ、兩長官ニ御伺ヲ致シタイノデアリマス

○村上政府委員 採草放牧地ノ改良ノ爲ニ火入レヲスル必要ナル所ハアリマセウ、ソコデ私共ト致シマシテハ、此ノ火入レノ結果ガ、ソレ以外ノ所ニ延燒スルコトニ付テ十分防ゴトガ得ラレルナラバ、一ツ山林局トモ十分協議致シマシテ御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

○田中政府委員 御話ヲ利害ヲ考慮致シマシテ出來ル限リ善處シタイト思ヒマス

○伊藤委員 是デ終リマス

○小林委員長 是ヨリ討論ニ入リマス、討論ノ通告ガゴザイマセヌカラ、討論ヲ省略スルニ御異議アリマセヌカ

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 裝飾師法案(政府提出、貴族院送付)(第六〇號) 家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八五號) 牧野法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第八七號) 獸醫師法等ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)(第九三號) 木炭需給調節特別會計法案(政府提出)(第一〇五號) 日本瓦斯用木炭株式會社法案(政府提出)(第一〇六號)

○小林委員長(總員起立) 案ノ採決ヲ致シマス、政府提出、以上四案ニ對シテ御贊成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

○小林委員長 満場一致、以上四案ハ政府原案通り可決致シマシタ(拍手)

○小林委員長 續イテ木炭ノ法案ノ審議ヲ進メマス——高田君

○高田委員 私ガ要求シタ参考書類ハ十種類バカリアリマスガ、ソレガマダ出マセス、詳細ハ資料ヲ拜見テシカラ伺フト致シマシテ、資料ヲ見ズシテ質疑ノ出來ルモノガ數點アリマスカラ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス、私此ノ間大臣ガ委員會ニ於テ説明スル時ニ出席致シマセヌデシタカラ、ドンナ御説明ガアツタカ分リマセヌ、尙又其ノ當時ノ速記録モ配付ニナツテ居ナイヤウデゴザイマスカラ、或ハ又御説明ニナツタコトヲ更ニ伺フヤウナコトガアリマシタラバ、御迷惑デモゴザイマセウガ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ハ瓦斯用木炭株式會社ハ、私共ガ常識的ニ考フル所デハ、農林大臣ノ所管トスルノガ事業ノ運用上其ノ他ヨリ見テ當然デアルト信ジテ居ツタ、所ガ是ガ農林商工兩省ノ共管ニナツテ居ルト承ツテ居ルノデアリマス、共管ト云フコトハ非常ニ事務ノ澁滞ヲ來シマシテ、一日カ二日デ済ムコトガ十日モ二十モ掛ルト云フヤウナコトニナツテ、此ノ會社ノ事業ノ進行上非常ニ害ガアルト思フノニモ拘ラズ、政府ガ之ヲ共管トシタ理由ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

方面ニアルノデ、兎モ角斯ウ云フ會社ガ出來テ、サウシテソコデ一元的ニ是ガ生産ヲ確保シ、配給出來レバ、鐵道省トシテハ結構ダ、斯ウ思フノデアリマスガ、商工省トシマシテハ、薪炭瓦斯ノ發生爐ト云フヤウナモノノ普及トカ獎勵トカト云フコトハ、商工省ニ於テ現ニ行ツテ居ルヤウナ次第デアアルノデアリマス、左様ナ事情ガアリマシテ、種々協議ヲ致シタノデアリマスガ、只今御話ノヤウナ兩省關係デ會社ノ仕事ガ遅レルト云フヤウナコトハ、他ノ問題ニ付テモデアリマスガ、將來連絡ヲ能ク取ツテ、ソレガ爲ニ遲延ニナルト云フコトノナイヤウニシヨウ、斯ウ云フヤウナ意味デ共管ト云フコトニ致シタ次第デアリマス、他ニハ格別理由ハナイノデアリマス

○高田委員 只今大臣ノ御説明デ、是ガ爲ニ事務ノ澁滞或ハ事務ノ進行ヲ害ルコトハナイト云フコトデゴザイマスケレドモ、サウ出來レバ結構デスガ、中々兩省ノ長官ナドト——隨分下ラスコトデ長ク掛ツテ居リマスカラ、私ハ其ノ點ヲ疑フノデス、尙ホサウスルト全體木炭ヲ造ルト云フコトハ、農業ナンデスカ、工業ナンデスカ、斯ウ云フ疑問ガ起ツテ來ル、詰リ「ガソリン」代用ニ何カ特別ノ藥品ヲ要スル製法ダサウデス、其ノ炭ヲ燒ク方法ハ、何カ察カラ木炭ヲ出シタ時ニ「アムモニヤ」ヲ被セルトカ何トカ、ソレダケノヤウニ承ツタノデスケレドモ、ソナコトニナルト、色々農業關係ノモノガ一切商工省關係ノモノニナツテ來ル、ドウ云フノデスカ、隨分ウルサイコトダラウト思フノデス、唯其ノ内容ヲ私ハ能ク知りマセヌケレドモ、燒方ハ在來ノ赤目炭デ、黒クシナイデ、吾々ノ方デ申ス赤目ト云フ

ノヲ出シテ、從來ハ赤目炭ニ灰ヲ掛ケルノヲ今度ハ「アンモニヤ」カ何カラ掛ケルト云フダケラシイ、瓦斯用發生爐トカ、自動車ノ方ノコトハ商工省ニ關係シマセウケレドモ、木炭ノ製造其ノモノニハ商工省ハ關係スル必要ハナイト思ヒマスケレドモ、ドウ云フ點ガ關係ガアルノデスカ

○島田國務大臣 是ハ「ガソリン」ノ代用ヲスル木炭ト云フ意味ニナルノデアリマシテ、御承知ノヤウニ商工省ガ「ガソリン」ノ統制ニ付テハヤツテ居リマス、ソレデソレノ代用ヲスル燃料トシテノ木炭デアルカラ、其ノ生産及ビ消費ノ事情ニ付テハ、商工省モ關與シテ居ラナイト云フト、「ガソリン」ノ方ノ規正ヲスルト云フヤウナ場合ニ、其ノ計畫ニ付テ參畫シテ居ラヌト、「ガソリン」ノ規正ト云フヤウナコトニ困ル、斯ウ云フヤウナ事情モアルノデアリマシテ、農林省トシテ專管デヤリマシテモ、其ノ炭ニ付テハ連絡ヲ取レバ宜イヤウナ譯デアリマスガ、サウ云フヤウナ種々ノ事情ガアルノデアリマス、炭ヲ造ルノハ一般ノ農業ニ違ヒナイノデアリマスガ、斯ウ云フ特殊ノ炭ヲ特許ノヤウナ方法ニ依ツテ造ルト云フ所ニ、ヤハリ一種ノ特別ナ性質ガアルノデアリマス、左様ナ事情ガアリマシテ、是ハ相當長ク商工省トノ間ニ交渉ラシ、折衝ラシテ居ツタノデアリマスガ、結局或點ニ於テハサウ云フ事情ガアルカラ、運用ノ上ニ於テ差支ナイヤウニヤルヤウニ、圓滑ニヤラウト云フコトヲ能ク申合セテ致シマシテ、理窟ノ上カラ言ヘバ共管ト云フコトモ或ハ適當デアラダラウ、斯ウ云フコトデ實ハ共管ニスルコトニ、政府ノ方ノ議ハ纏メタヤウナ次第デアリマス

○高田委員 纏ツタモノデハ仕方ナイノデアリマスケレドモ、サウスルト石炭ガ統制サレテ居リ、石炭ノ代用ニ今度木炭ガ使ハレル所ガ相當アルノダカラ、其ノ點カラ出テ來ルノダラウト思フノデスカ、斯ウ云フモノハ實ヲ言フト、農林省ノ方デ突張ツテ、商工省ト關係ナクヤルコトガ出來ルノデアリナイカト思フノデス、火事場泥棒ノヤウニ、商工省ノ方カラ入ツテ來タカラ、仕方ガナイカラアナタノ方デ同意シタノダラウト思フ、サウデナケレバ意味ヲ爲サナイ、ダカラ出來ルコトナラバ農林省ノ專管トシテ、肥料ノヤウニヤツテ、サウシテ事務ノ澁滞ヲ來サナイヤウニ、事業ノ遂行ニ遺憾ノナイヤウニ改メル方ガ宜イダラウト思ヒマスカラ、其ノコトヲ申上ゲテ置キマス、次ニ伺ヒタイト思フコトハ、國策會社トカ言ツテ、所謂法律ニ依ツテ制定スル會社ニ付テ、政府出資金ノ問題ガアリマス、例ヘバ農林省ノ所管ノ會社デ言ヒマシテモ、硫酸ト磷酸ノ二ツノ肥料會社ガアル、此ノ二ツヲ合併シテ政府ガ半分出資スルト云フ風ニナツタ、所ガ今度ノ瓦斯用ノ木炭株式會社ト云フモノニ付テハ政府出資ガナイノデスケレドモ、政府ハド云ウフモノニ出資ラシテ、ド云ウフモノニ出資ラシナイノデスカ、何カ限界ガアツテノコトデスカ、私ノ考デハ、政府ガ出資ラシナイデ監督ガ出來ルナラバ、出資シナイデ濟マス方ガ宜イイト思フ、而シテ事業ノ難易カラ言ヒマシテモ、肥料ヲ統制スル會社ト此ノ瓦斯用木炭會社トドチラガ仕事ノ難易ガアルカ、監督上下チラガ困難デアアルカト云フヤウナ問題ニ付テハ、是ハ色々問題ガアリマセウ、ケレドモ見様ニ依ツテハ、木炭會社ノ方ガ

○島田國務大臣 高田君ノ御質問御尤モデアリマスガ、此ノ瓦斯用ノ木炭ヲ一番多ク纏メテ使フ方面ト云フト、鐵道省デスカ、鐵道省ノ「バス」ニ使ツタリスルノガ相當量ガアルノデアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ言フト、共管ト云フ意味カラ言ヘバ、之ヲ適當トスレバ、鐵道省モ共管ト云フコトニシナケレバナラヌ譯デアアルノデアリマスガ、鐵道省ニ於テハ之ヲ需要スルト云フ

中々是ハ運用ガ容易デナイト思ハレル點ガアルノデアリマスカラ、ド云ウフモノニ付テ政府ガ出資ヲシ、ド云ウフモノニ付テハ出資シナイト云フ、何か一定ノ極リガ大藏省カ何處カニアルノダラウト思フノデスガ、此ノ際其ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○島田國務大臣 其ノ點ニ付テハハツキリシタ極リト云フコトモナイト考ヘルノデアリマスガ、此ノ瓦斯用木炭ノ場合ハ、株主ナリ、之ヲ持ヘル者ハ主ニ需要者デアリマシテ、生産者デアリ需要者デアルト云フ關係ニナツテ居リマスカラ、ソレデ政府ガ配當ニ付テ相當ノ保證ヲスルト云フ程度デ、規模モサウ大キナモノデナイトカラ、根本ハ財政上ノ理由ト云フコトモアリマスケレドモ、サウ云フヤウナ事情デ、此ノ株主ガ區域ガ限ラレテ居ツテ、主トシテ需要者ガ造ツテ、ソレヲ直接ニ配給スル、大體斯ウ云フ組織ニナツテ居ルカラ、政府出資ノ必要ハナカラウ、寧ロ普通ノ家庭ニ使ヘバ毒ニナル、衛生上良クナイト云フヤウナモノデアル、ソレデ之ヲ此ノ會社ニ專有サシテヤラセルト云フヤリ方デ行クノデアルカラ、政府出資ト云フ所マデ行ク必要ハナイダラウ、其ノ代リ政府ガ保護シタリ監督シタリスル必要ノ上カラ、配當ニ付テ相當ノ保證ヲスルト云フ程度デ宜カラト云フノデ、是ハ當初ヨリ政府出資ト云フコトハ餘リ強ク考ヘテ居ナカッタノデゴザイマス、外ノ肥料トカ、サウ云フモノトハ餘程其ノ點ニ於テ趣ガ違ツテ居ル點ガアルノデアリマス

○高田委員 サウスルト政府ノ財政上ノ都合デ、成ベク出シタクナイカラ出サスト云フダケニナルノデスネ、私共ノ考デハ仕事ノ難易カラ言フト、政府ガ監督ヲスル上カ

ラ言フト、肥料ノ統制會社ヨリ極メテ困難ナ點ガアルヤウニ思ヒマスカラ、政府ガ相當出資スルモノナラシテ、監督權モ持タレル方ガ宜イト思フノデスケレドモ、何等ノ基準モナイトスレバ、是ハ仕方ガアリマセヌ、次ニ御伺シタイトコトハ、一億九千二百万貫ト云フコトデスガ、生産ノ時期ハ五月、六月、七月、八月、九月、十月位デセウ、其ノ間ニドレダケ買入レラレルカト云フコトヲ知ル爲ニ十三年度、十四年度ノ月別ノ炭ノ生産ヲ調べテ吳レト云フコトヲ昨日申上ゲテ置イタノデスガ、マダソレガ出來マセヌカラ、此ノ點ハツキリ分リマセヌケレドモ、兎ニ角四、五、六、七、八、九、十、此ノ期間ハ農業ノ忙シイ期間デ、一億九千二百万貫ト云フヤウナ、十三大都市ノ需要スル約八割ノ炭ヲ生産セシメルト云フコトハ不可能ト思フ、現ニ岩手縣アタリカラ書類モ出テ居リマスシ、全國木炭組合カラモ出テ居リマスケレドモ、ドウモ常識カラ見マシテ、斯様ニ多量ノ炭ヲ夏場ニ生産サシテ、之ヲ貯藏シテ、サウシテ需要期ニ配給スルナドト云フコトハ、吾々常識カラ見レバ不可能ノヤウニ思フノデスケレドモ、サウ云フ確信ガアルノデゴザイマスカ、ソコデ私ハ昨日カラ要求シタノデスガ、四、五、六、七、八、九、十ノ期間内デ、ドレ位ノ炭ヲ現在マデノ統計デハ供給出來ルカ、ソレガ出ナイト分ラナイノデスガ、本當ニ見込ガアリマスカ

○島田國務大臣 需要ノ少イ期間ニ炭ヲ燒イタモノヲ政府ガ買フト云フノハ、ソレハ其ノ間ニ全部ヲ燒カセルト云フ意味デハナイノデス、四、五、六、七、八、九ノ間ニモ燒キ、ソレカラ後ノ十、十一、十二ノ需

要期ニナツテモヤハリ燒キマス、ソレヲ計畫トシテハ平均シテ買上ゲテ行ク、斯ウ云フヤウニナツテ居ルカラ、他ノ豫算ニ於テヤツテ居リマス増産ノ計畫ガ進行シテ行クニ從ツテ、唯需要ノ少イ時期ニ於テハ、幾ラカ炭ヲ買上ゲラレル目的ガナケレバ燒クコトハ或ハ多少手控ヘテ居ル、又努力ノ關係等カラサウ云フコトガアル、サウ云フ場合ニモ燒イタモノハ政府デ買上ゲテ之ヲ期藏スル、尙ホ十月カラノ需要ノ盛ニナル時期ニ於テモ無論燒キ、燒イタモノハ買取ルコトノ方法ヲスルノデ、夏場ノ間ニ全部ヲ燒カセル、又買取ルト云フ意味デハナイノデス、尙ホ細カイトハ山林局長カラ申上ゲマス

○田中政府委員 炭ノ月別ノ買入、生産ノ統計ハ大體不需要期ニ全需要ノ三分ノ一位ガ生産サレ、アトノ三分ノ二位ガ需要期ニ生産サレルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、今大臣カラ御話ノヤウニ、炭ヲ買ヒマスノハ五月カラ二月マデ買フトデアリマス

○高田委員 併シナンダカ今マデノ説明デハ一般ニサウデナク聞エテ居リマス、デスカラ當業者ハ始終ソナコトヲ言フノデス、一寸今マデノ説明デハサウデセウ、大體ニ於テ一億九千二百万貫ヲ餘リ需要ノナイ時期ニ生産サシテ、買ツテ置イテ、需要期ニ配給スルト云フヤウナ説明デ、一般ニサウ思ツテ居リマス、今ノ御説明デハ全年ヲ通ジテ一億九千二百万貫買フト云フ意味デスネ

○島田國務大臣 サウ云フ意味デス
○高田委員 ソレデ分リマシタ、ソコデ問題ハ昨日モ大臣ガ居ラレヌ所デ、山林局長

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

トモ話合ツタノデスケレドモ、斯ウ云フトガアルノデス、一億九千二百万貫、約二億萬貫ノ數量ト云フモノハ、家庭用木炭ノ略、三割位ニ當ル増産ヲシタ上デサウナリマス、之ヲ政府ガ集メルト云フケレドモ、若シ出ナカツタ時ニハドウスルカ、賣ラナカツタ時ニハドウスルカト云フコトガ問題デアル、此ノ會計法ニハ賣ラナイ時ニハドウスルト云フ規定ハ何モナイノデス、故ニ若シ全國ノ生産者ガ政府ヘ賣ルヨリモ、商賣人ニ賣ツタ方ガ都合ガ好イト思ヘバ賣ラナイコトモ出來ル、賣ラナカツタ時ニドウスルカト云フト、田中山林局長ハ、全國ノ農村ノ生産者ハ極メテ醇朴ナ人バカリダカラ、政府ガ賣レト言ツタラ政府ニ賣ルダラウト考ヘテ居ラレルガ、ソレハ私共ハ極メテ至難デアルト思フ、米ト同ジヤウニ考ヘテハ大變ニ違ヒマス、米ナラ或ハ商人ノ手許ニアル場合モアルガ、實際農民ノ手許ニアルノデスカラ賣リマスガ、炭ハ大體商人ノ手ヲ經ルノデスカラ、營利ニ銳イ商賣人ガ果シテ政府ニ是ダケノ數量ヲ賣ルカドウカト云フコトハ疑問デハナイカト思フ、若シ賣ラナカツタナラ所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ナイ、ソコデ、斯ウ云フ方法ヲ執ルノデハナイカト思フ、法律ニハ強制的ニ賣レトハ書カナイガ、昨年から本年ニ掛ケテ、縣ガ一種ノ命令ヲ農林省ノ規則ニ依ツテ作ツテ、サウシテ縣外移出ニ付テハ許可制度ニスル、現ニ去年カ今年ニ掛ケテ——最近ハ多少變化ガアルカモ知レナイガ、東京ハ私ノ縣カラ出スノハ全部東京府ヘ出セ、府ヘ出サナケレバ一俵ノ炭モ許可セヌト云フノデス、サウ云フ方法ヲ執レバ、一種ノ強制ニナツテシマフ、商賣人ハソレヲ恐レテ居ル、ソレ

ヲ恐レル結果ハドウナルカト云フト、結局法律ノ裏ト云フコトニナラウト思フノデス、御承知ノ通り木炭ハ百姓ガ副業トシテヤツテ居ルノモ多少アリマセウガ、大體ニ於テ一種ノ企業デアアル、其ノ企業家ハ東京地方ハ東京ノ薪炭問屋、大阪地方ハ大阪ノ薪炭問屋ヨリソレノ資金ノ供給ヲ得テ、其ノ資金ニ依ツテ薪ヲ買ツテ、サウシテ炭焼ニハ二百圓ナリ三百圓ナリ前貸ヲシテ、其ノ前貸ニ依ツテ漸ク他ノ仕事ニ轉ジナイヤウニ足止メシテ生産サセテ居ル實情デアアル、然ルニ若シ其ノ生産シタ炭ヲ、自分ニ資金ヲ供給シテ呉レタ問屋ニ出スコトガ出來ナド、今度ハ政府ノ方ヘ賣ラナケレバナラヌト云フコトニナルト、結局資金ヲ貸サヌト云フコトニナル、現ニ問屋仲間デハサウ云フコトヲ言ツテ居ル、資金ヲ貸サナケレバ結局木炭ノ材料ノ薪ヲ買フコトガ出來ナイ、サウシテ又炭焼人夫ニ前貸ヲシテ炭ヲ燒カセルコトモ出來ナイト云フ状態ニナルノデアツテ、茲ニ減産ノ起ル虞ガアル、斯ウ云フコトニナルノデ、是ハ餘程考ヘナケレバナラヌ點デアアルガ、大臣ハドウ御考ニナツテ居リマスカ

○島田國務大臣 今回政府ガ特別會計ノ目的トシテ一年ヲ通ジテ買上賣渡ヲシヨウト云フ數量ハ、一億九千二百萬貫約二億萬貫デスガ、其ノ程度ノモノハ、一方ニ於テハ木炭ノ増産計畫ト云フモノガ既ニ協賛ヲ經テ豫算並ニ追加豫算ニ於テモ計上サレテ居リマスガ、此ノ色々ナ炭窯ニ對スル助成デアルトカ、或ハ炭焼人夫ノ移動ニ付テノ助成其ノ他種々ナ方法ニ依リマシテ、増産ノ計畫ヲ立テテ居ル、即チ現在マデノ六億五千萬貫ニ對シテ、之ヲ更ニ約二億萬貫ノ増

産計畫ヲ立テテ居リマス、ソレデハ億五千萬貫ノ生産ヲ確保シヨウト云フ計畫ガ此ノ別途ノ豫算ニ於テ、其ノ意味デ此ノ増産計畫、獎勵金等ガ計上サレテ居ル譯デアリマスガ、ソコデ丁度今回政府ガ買上ゲヨウト云フ炭ノ分量ガ又約二億萬貫ト云フコトニナルカラ、増産ヲスル部分ニ付テノ——マアソレト區別ハ出來ナイ譯デアアルケレドモ増産スル部分ノ二億萬貫ト云フモノヲ政府ガ大體買上ゲルト云フト、丁度偶々符號スルヤウニナツテ居ル譯デアリマス、ソコデ今御話ノヤウナ賣ラヌトカ云フヤウナコトモアリマスガ、大體民間ノ企業家、又官有地デ燒クモノ、又種々ナ組合等ニ於テヤツテ居ルモノ、サウ云フモノニ對シテ——政府モ官有林ニ於テ是マデヨリ燒クモノヲ殖ヤス、ソレカラ又民間ノ企業家ガ炭燒ヲヤツテ居ル者ニ對シテ獎勵ヲスルト云フヤウニシテ、補助モ與ヘ獎勵モシテヤラシテ通常ノ年ヨリモ増産スル部分ヲ大體租ヒヲ付ケテ、ソレヲ政府ニ於テ買上ゲテ行ク、斯ウ云フ風ニナル譯デアリマスカラシテ、六億五千萬貫ノ在來ノモノノ中カラ一億萬貫買上ゲルトカ、二億萬貫買上ゲルトカ云フコトニナルト、只今御話ノヤウナ點ニモ丁度觸レテ來ル譯デアアルガ、偶々一方ニ二億萬貫程度ノ増産ヲシヨウ、斯ウ云フ計畫ガアルノダカラシテ、其ノ二億萬貫ノ増産計畫ニ依ツテ増産スル部分ヲ政府ガ買取ルヤウナ方法ヲシテ行ク、隨テ府縣ニ割當テテ、其ノ縣其ノ縣ニ於テ増産計畫ヲ立シメテ行ク、其ノ増産ヲヤル計畫ノ部分ヲ政府ガ大體ソレヲ目標ニ買上ゲテ實行シテ行カウ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方デ來テ居ル譯デアリマス、デ只今御話ノ所謂縣外移送ヲ

禁ズルト云フヤウナ意味デ、ドノ縣ノ炭ハドノ縣ヘ持つテ行クト、現在ヤツテ居ル「リンク」制ノヤウナモノ、是ハ昨年ノ配給ノ窮屈ナ時ニヤツタノデアリマシテ、現在行ツテ居ル「リンク」制ト云フモノハ、本特別會計ガ成立シテヤル場合ニハ相當ニ再檢討ヲ加ヘテ行ク必要ガアル、斯様ニ考ヘテ居リマス、現在マア大分暖カニナリマシタケレドモ、尙ホ現在デモ御話ノ通り「リンク」制ノアル爲ニ、群馬ト栃木トハ隣同志デアツテ、サウシテ或ル部分ニハ、群馬ノ炭ガ直グ栃木ヘ入り、栃木ノ炭ガ群馬ニ入ツテ宜イノニ、群馬ノ炭ハ何處ヘ持つテ行ク、栃木ノ炭ハ、何處ヘ持つテ行クト云フヤウニナツテ居ルカラ、融通ガ利カナイト云フ不便ガ、是ハ隨所ニアルノデアリマス、是等ノ點ニ付テハ相當檢討ヲ加ヘテ行ク必要ガアラウト考ヘテ居ルノデアリマスガ、前ノ御質問ノ點ニ付テハ今申上ゲルヤウナ意味デ、マア大體増産部分ノ買上ヤルト云フ考ヘ方デ行ツテ、而モ民間ノ生産者ノモノモ、組合ノモノモ、ソレカラ政府自身ノヤルモノハ固ヨリ、サウ云フモノハ皆此ノ特別會計ニ大體入レテ行ク、斯ウ云フノデアツテ、サウシテ買ツタ炭ハ又之ヲ現在ヤツテ居ルヤウナ方法ニ依ツテ何等現在ノ機構ヲ動かサズニ流シテ行カウト云フコトデアアルカラシテ、ソコニハ無理ハナシニ行ケルモノダト、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、民間ノ方ノ木炭業者トカ木炭商トカ云フ方ノ側デ、色々ソレニ對シテ意見ヲ述ベテ居ル點ヲ見テミマス、ソレハヤハリ政府ガヤル時ニハ何か特別ノ組織ヲ以テ、サウシテ是マデノ製造シテ居ル者ヤ、或ハ販賣シテ居ル者ナドノ方ノ機構

ニ變化ヲ加ヘテ行クノデハナイカ、ト云フヤウナ點ニ、ドウモ誤解ガアルノデハナカラウカト思ウテ居ルノデスガ、政府ノ今度ノ計畫ハ、唯政府ガ相當ニ炭ヲ持つテ居ラヌト云フト、ドウモ苦イ木炭飢饉ノ經驗ニ依ツテ、政府ノ所有シテ居ル炭ガ相當ニナケレバ、ヤハリ「リンク」制トカ色々窮屈ナコトヲシナケレバナラナイ、ソレデモ尙ホ出來ナイ、實際炭ガアルノニ需要地ニ流レテ來ナイヤウナコトガアル、流レテ來テモ其ノ流レ方ガ非常ニ窮屈ニナツテ來ル、斯ウ云フ事實カラ考ヘテ、兎モ角政府ガ相當量ノ炭ヲ持つテ、ソレヲ卸賣商ナリ、小賣商ナリ、大口需要者ナラ大口需要者ニ直接ニ流シテヤル、斯ウ云フヤウナヤリ方ニシ、又製炭者トシテハ金利、或ハ倉敷、倉敷ト云フモノハ大シテ要ラナイカモ知レナイガ、サウ云フヤウナモノノ爲ニ、夏場ノ時ヤ何ニハ燒クノヲ手控ヘテ居ルト云ツタヤウナ者ニ對シテハ、夏場燒イテモ政府ガソレヲ買フカラシテ、倉敷トカ金利トカ云フモノハ其ノ方面ニ於テハ助カルト云フヤウナ事情デ、増産計畫ノ部分ノ程度ニ於テ政府ガ買上ゲルト云フコトニ付テハ、サシタル苦痛困難ハナク、無理ヲシナイデヤレルデアラウ、ヤレルモノト斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居ル次第デアリマス

○松尾委員 一寸關聯シテ——私ハ改メテ御尋ラスル機會ガアルト思ヒマスカラ其ノ際ニ相當御尋ヲ致シタイノデスガ、今高田委員ノ御質問ニ對スル大臣ノ御答辯ヲ承ツテ居リマシテ、少シ吾々ノ首肯シ能ハザルコトガアリマスノデ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイノデス、今大臣ノ御述ニナリマシタ計畫ノ御話ノ中今回約八億五千萬貫ノ全産額

ヲ目標トシテ、現在ハ六億五千万貫デアリ
マスカラ二億万貫ヲ新シク更ニ増産スルノ
目標ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ御話デゴイザ
マシテ、此ノ目標デ二億万貫ヲ確保スル爲
ニ今回特別會計ヲ活用スルノダ、斯ウ云フ
御趣旨デアリヤウニ承リマシタ、成程ソレ
デ今回ノ計畫ト御話トハ符合スル點ガゴザ
イマシテ、御計畫ノ「プラン」トシテハ御立
派ナモノデアルト思ヒマス、併シソレヲ實
行ニ移シマシテ、吾々ハドウモ實行シ能ハ
ヌヤウナ狀況ニナルノデハナイカト思ヒマ
スノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイノデス、ソレハ
今大臣ノ御話ニハ、現在六億五千万貫ト云
フモノガ全國ノ各府縣デ「リンク」制ト言ヒ
マスカ、今日マデノ在來ノ慣習ニ依ツテ、
商人ト炭燒トノ間ノ取引關係ニ依ツテ炭燒
ト云フモノガズツト今日マデ續イテ來テ居
リマス、六億五千万貫ノ生産ヲ目標トシタ
一ツノ經濟機構ト言ヒマスカ、此ノ木炭ノ
供給體制ガ整ツテ居ル、其ノ外ニ更ニ二億
万貫ノ増産ヲスルト云フコトデアルカラ、
大キナ採算デ行キマシテ六億五千万貫各
府縣デヤツテ居リマス外ニ、モウ二億
万貫ノ増産ヲ持ツテ來ル、斯ウ云フコトニ
實際ノ府縣ノ産地ニ持ツテ行ツテ當嵌メマ
シタ時ニ、現在今日マデ其ノ事業ニ携ツ
テ居ラヌ者ガ新シクソコニ二億万貫ノ
増産ニ參劃スルナラバ、ソレハ今日マデノ
既定ノ業者ニ對シテハ影響ヲ與ヘマセヌ、
ケレドモ唯府縣ニ對シテ是ダケヲ政府ガ
確保スルノダカラ、ソレダケノモノハ生産
ヲヤラスヤウニト云フコトヲ本省カラ命令
デモ出シテ、ソレヲ以テ府縣ガヤルト云フ
コトデアレバ、現在ヤツテ居ル所ニ食ヒ込
ンデ入ル、ナゼ食ヒ込ンデ入ルカト言フト、

六億五千万貫ト云フモノハ大變ナ數字デア
リマスガ、今日マデノ我國ノ木炭ノ需給ノ
狀態ハ、ズツト六億五千万貫デ大體押シテ
來テ居ル、昨年カラ今年ニナツテ改メテ吾
吾ノ生活ガ向上シタノデハアリマセヌカ
ラ、木炭ノ需要ト云フモノガ頗ニ殖エタト
云フコトデアリマセヌ、六億五千万貫ノ
生産ト消費デ、トシノニ來テ居ルノデス
カラ、是デチヤント經濟機構ト云フモノハ
長イ習慣デ固メラレテ居ル、ソコデ二億万
貫ヲ増産シテ——二億万貫ト云フト三分ノ
一ニナル、三分ノ一ト云フ數量ハ大量ナ數
量デス、其ノ大量ノ數量ヲ果シテ府縣ニ割
當テテ、今マデヤツテ居ル業者ニ何等ノ關
係ナシニヤレルカドウカ、是ハ非常ナ問題
デアリマス、サウ云フコトハ殆ド不可能ナ
問題ト思フノデスガ、其ノ影響ガアルト御
考ニナツテ居ラレマスガ、或ハソレハ別ニ
今マデノ業者ノヤツテ居ル外ニ二億萬ノ増
産ヲヤルト御考ニナツテ居リマスカ、其ノ
點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○島田國壽大臣 松尾君ノ御意見ハ實地ニ
即シテ非常ニ適切ナ御意見デアリ、又質問
ト致シマシテモ洵ニ御尤モナ點ト思フノデ
アリマスガ、私ノ申シタノハ、此ノ六億五千
万貫ノ是マデヤツテ居ルノハ是マデ通りニ
シテ、サウシテ二億萬貫ト云フモノヲ別途
ニヤル、數字ノ上カラサウ云フ風ナ形ニ説
明ヲシ、考ヲ申上ゲタノデアルガ、ソレハ
先刻申上ゲマシタヤウニ、現在ノ六億五千
万貫ト云フノデハ、石炭ノ關係カラ、工業
用ノ木炭ノ需要モ殖エルシ、ソレカラ「ガソ
リン」ノ關係カラ只今ノヤウニ瓦斯用ノ木炭
モ殖エル、是マデナカツタモノガ既ニ相當
分量殖エテ居ル、ソレガ爲ニ六億五千万貫

ヤ七億萬貫デハ賄ヒ切レヌト云フノガ、昨
年ノ所謂炭ノ窮屈ヲ來シタト云フ大キナ原
因ニナツタ譯デアリマスカラ、ドウシテモ
炭ヲ相當ナ計畫ヲ立テテ増産ヲシナケレバ
ナラス、ソレガ爲ニ、ハツキリシタ數字ハ
アナタノ方ガ御記憶ニナツテ居ララウト
思ヒマスガ、木炭ノ十五年度ノ増産計畫ニ
關スル費用ト云フモノハ、相當ノ費用ヲ見
積ツテ居ル譯デアリマス、其ノ豫算デハ増
産ハ出來ヌノダ、斯ウ云フ問題ニナルト、
ソコニ別ナ問題ガ起ル譯デアリマスガ、大
體増産計畫ノ豫算ニ計上シテ居ル費用ト云
フモノハ、其ノ目安ハ何處ニ置クカト云フ
ト、所謂瓦斯用木炭ト、工業用、普通ノ家
庭用ヲ通ジテノ絕對數トシテ先ツ二億萬貫
サウスルト八億五千万貫位ノモノヲ増産ヲ
シテ、ソレマデニ至ラセルト云フコトヲシ
ナイト、現在ノ炭ニ對スル需要ト云フモノ
ヲ「カバール」シテ行クコトガ出來ニクイカ
ラ、凡ソ二億萬貫位ハ増産ヲシテ八億五千
萬貫程度ニ至ラシメヨウト云フノガ、此ノ
豫算ニ於テ政府ガ相當費用ヲ出シテ居ル増
産計畫デアリマス、其ノ八億五千万貫ノ増
産ヲスルト云フ計畫ガ一方ニアル、他ノ一
方ニ於テ今度ハ需給ノ狀態カラ見ルト、「リ
ンク」制ヲヤリマシテモ、色々ナコトヲシ
テモ中々窮屈デアアル、窮屈デアアル原因ノ中
ニ、本年ノ實驗ニ依リマスト、東京邊リデ
非常ニ炭ノ足りナイ場合ニ於キマシテハ、
政府ノ山デ燒イタ炭ヲ出シテ行ケバ便利ダ
ト云フヤウナ所モアルノデアリマスカレド
モ、政府ノ山デ燒ク炭ト云フモノハ御承
知ノヤウニ非常ニ分量ガ少イノデアリマ
ス、ソコデ政府ノ手持炭ガ少イカラ、政
府ノ炭ヲ出シテヤレバ宜イト云フ時デモ

出スコトガ出來ナイ、ソコデ病院デア
トカ、兵營デアルトカ、警察デアルトカ云
フヤウナ、炭ノ公定相場デ買ツテ居ルヤウ
ナ所デハ、闇相場ガ行ハレテ居ル爲ニ、其
ノ取締ノ役所ナドニハ、炭ガ來ナイト云フ
ヤウナ事情ガアル、ソレデ斯ウ云フヤウ
ナ事情カラ考ヘマシテ、政府ガ相當ナ炭ヲ
手持シテ居レバ、サウ云フ場合ニ需要
ニ應ジテ急ヲ救フコトガ出來ルト云フ考ヘ
方カラ、政府ガドノ程度ノ炭ヲ最高限持ツ
テ居レバソレガ賄ヒガ付クカト云フト、
先ツ大消費地トシテ木炭ノ製造ノ少シモナ
イ地方、東京、大阪其ノ他所謂十三大都市
ト云フモノヲ目標ニシテ炭ノ需要ヲ見ル
ト、ソレバカリデハナイガ、是ガ大體一年
ニ凡ソ一億九千万貫ト云フ位ナ數字ヲ得ラ
レル、ソレヲ見テ居レバ宜カラウ、斯ウ云
フヤウナ點カラソレダケノ炭ヲ政府ガ確保
シテ居リ、サウシテ一方ニ於テ瓦斯用ノ炭
ニ付テハ、特別ナ扱ヒヲシテ行ケバ、先ツ
絕對數量ガ、或ハ多少ノ減リガ出來、或ハ
政府ノ目的トシテ居ル二億萬貫ノ炭ハ確保
ガ出來ナイト云フヤウナ場合デアツテモ、
先ツ政府ガ相當ノ分量ノ炭ヲ政府所有ニシ
テ居レバ、急ニ應ジテ需要ヲ滿スコトガ出
來ルト云フノガ大體ノ根本デアツテ、今マ
デノ他ノ場合ニ於ケル所謂統制ニ依ツテ云
云ト云フ意味ヨリハ、寧ロ需要者ニ對シテ、
炭飢饉ト云フモノハ、米ナンカ生活必需品
ト言ヒマスカレドモ、米トハ非常ニ性質ノ
違フモノデアリマスカラ、サウ云フモノニ
對シテ、政府ガ、從來ノ機構ヲ動カシタリ、
或ハ製炭業者ニ迷惑ヲ掛ケタリ、利潤ヲド
ウスルトカト云フヤウナ、サウ云フ考ヘ方デ
ナシニ、實需ノ上ニ付テ是ダケノコトヲシ

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第二十回 昭和十五年三月十九日

二七一

ナケレバ——ソレデ攻撃ハドウカト云フト、サウ云フ場合ニ攻撃ハ政府ガ受ケ、其次ニハ取締ヲスル警察ガ攻撃ヲ受ケル、ソレデ其ノ警察モ取締ヲシテ居ル者ハ炭ヲ使フコトハ出來ヌト云フヤウナ、サウ云フ變則ナ實情ニナルコトヲ防グ爲ニハ、此ノ方法ニ依ツテ或ル程度政府ガ炭ヲ持ツ、サウシテ持ツ炭ヲ一定ノ價格ヲ以テ流シテ行ク、此ノ流シ方ヲ、政府ガ直接ヤルトカ組合ヲ使フトカ云フノデハナシニ、從來ノヤリ方ニ依ツテ炭ヲ賣ツテ行ク、從來ノヤリ方ヲ通シテ買上ゲテ行ケバ其ノ需給ガ大抵「マッチ」シテ行クト云フコトニナル、斯ウ云フノガ其ノ考ヘ方デアリマシテ、六億五千萬貫ノ外ニ二億萬貫ノ増産ヲスルカラ、増産分ハ必ズ政府ハ取上ゲルノダ、斯ウ云フヤウナ窮屈ナ考ヘ方ヲ以テ臨ム譯デヤナイノデアリマスカラ、各府縣ニ對シテハ、二億萬貫トスレバ、凡ソオ前ノ縣デハ此ノ位、ドノ縣デハ此ノ位ト目分量デ増産ヲシテ行クヤウニシテ貰ヒタイ、ソレニハ斯ウ云フ助成ヲスル補助ヲスル、サウシテ其ノ全體ノ中カラ又適當ナ分量ナリ割合ニ應ジテ政府ガ買上ゲル、サウシテ炭ノ要ラナイ不需要期ニ於テハ成ベク餘計買フ、豫定ハ一千万貫トシ二千万貫トシテ居ツテモ、三千万貫デモ四千万貫デモ買上ゲ得レバソレニ應ジテ買フ、ソコニ特別會計ノ運用ノ意味ガアル譯デアリマス、サウ云ツタヤウナ考ヘ方デ、現在ノ機構ニ對シテハ餘リ動キヤ變更ヲ加ヘズシテ政府ノ持ツ炭ヲ相當多クシタイト云フノガ特別會計ヲ設定シテ趣意デアリマスカラ、其ノ意味ニ御考ヲ願ヒタイ、尙ホ是ハ併シナガラ政府トシテモ新シイ試ミト云ヒマスカ、一ツノ試ミデアリ

マシテ、私ハ就任前カラ此ノ炭ノ飢饉ト云フコトニ付テ自分モ苦シミマシテ、サウシテ就任後ニ於テ、「リシク」制其ノ他ノ實績ニ鑑ミマシテ、ドウモ斯ウ云フ方法ニ依ツテヤル以外ニハ適當ナ炭飢饉ヲ豫防スルノ途ガナイ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマシテ、其ノ道程カラ此ノ瓦斯用ノ木炭ト云フモノニ及ブト、是ガ炭飢饉ニナレバ毒ニナル炭デモ使フ處ガアル、ソコデ之ヲ防グト云フコトハ、ドウシテモ専用ニシテ、一ツノ會社ナリ何ナリニ是ハ統制ヲ行ハシテ、ソコデ一手デ買ツテ一手ニ賣ラセル、他ノ者ハヤラセナイト云フ方法ニシナケレバ、保健衛生ノ上ニモ害ガアルト云フノダカラ、是ハ需要家ノ方ヲシテ一ツノ組合ナリ會社ヲ作ラシテヤル、斯ウ云ツタヤウナ二本建ニ依ル考ヘ方カラ來タ次第デアリマスカラ、此ノ點ヲ能ク一ツ御諒承ヲ願ヒ、又サウ云フ點ニ付テ運營上御注意ヲ戴クコトガアリマスレバ、是ハ一ツ斯ウ云フ際デアリマスカラ、十分希望ナリ註文ナリサウ云フコトヲ述ベテ戴イテ、運用ノ上ニ於テ誤ナキヤウニ政府ニ對シテモ御鞭撻下サランコトヲ御願ヲシテ置ク次第デアリマスカ、大體ノ考ヘ方ハ今申上ゲタヤウナ次第デアリマス

○高田委員 今配付ニナツタ木炭實當リ生産費幾ラト云フノハ、私ハコンナモノヲ要求シタノデハナイ、生産費ノ内譯ヲ示セト云フノデアリマス、今ノ公定價格ガ果シテ適正價格カドウカト云フコトヲ調ベル材料デアリマスカラ、貫當リ幾ラナント云フノデハイケナイ、私ノ言フノハ、詰リ斫伐費ガ幾ラ、木材ヲ運ブ費用ガ幾ラ、窯ニ入レテ幾ラ、運賃ガ幾ラト云フ、其ノ内譯ヲ御調ヲ願ヒタイト云フノガ私ノ要求デアル、コンナ子

供賜シノモノヲ要求シタノデハナイ、現在ノ公定價格ガ果シテ實際ノ物價ノ騰貴ニ對シテ正確ナモノデアアルヤ否ヤト云フコトヲ調ベル材料ニ御願シタノデアリマス、即チ私ノ申上ゲタノハ、的確ニハ言ハナカツタケレドモ、内容ヲ示セト申上ゲタ筈デアリマシテ、貫當リ幾ラナント云フコンナガラシナイモノハ要求致シマセヌ、其ノ細カイ内譯ヲ御示ヲ願ヒマス、尙ホ昨日十三年度ト十四年度ノ月別生産高ヲ示シテ下サイト云ツタコトハ、斯ウ云フ意味モ含シテ居ル、此ノ間山林局長ノ御説明ニ於テハ十四年度ノ増産計畫ハ大體略、ソレニ近イモノニ達シタ、斯ウ云フコトデアリマスカ、私共岩手縣地方ニ就イテ調べタ所ニ依ルト、ドウモサウナツテ居ナイ、岩手縣ナドノ調ヲ見ルト、十二年度ヨリ十三年度ガ減リ、十三年度ヨリ十四年度ガ減ツテ居ル、是ハ當業者ノ調デ偽造デアルカ分リマセヌガ、當業者ノ調ハサウナツテ居ル、是ハ曆年度デアリマシテ、アナタ方ノ方ノ年度ト違フ、サウシテ十二年ニ比較シテ十四年度ハ一割二分減ツテ居ルト書イテアル、岩手縣ノ木炭同業組合ノ調ハサウ云フコトガ出テ居ル、一縣デアノ位多量ノ炭ヲ生産スル縣ハナイト云フ位ノ全國第一ノ所ニ於テ、曆年度デサウ云フ統計ガ出テ居ル、ドウモ山林局長ノ昨日ノ御答デハ、十四年度ニ於テハ大體ニ於テ増産ノ目的ヲ達シ得ルト言ハレタガ、吾々ハソレヲ信ジラレナイノデアリマス、是モ一ツ能ク御調ヲ願ヒタイト考ヘマス、昭和十三年度、十四年度ノ月別ノ各縣別ニ御調ヲ願ヒタイ、胡麻化シラサレテ居ルト後方面倒ニナリマスカラ御注意ヲ願ヒマ

スルノダカラ、其ノ増産スル分ダケハ政府ガ買ツテモ商賣人ニハドウセ影響ハナイダラウト云フ話デアリマス、所ガ其ノ二億萬貫ノ中、約一億萬貫ハ工業用木炭ト云フコトハ伺ツテ居リマス、サウスルト増産シタ所ノ一億萬貫ハ何處ヘ行クカト云フト、瓦斯用木炭ニ行ク

○島田國務大臣 ツレハ違フ

○高田委員 私ハサウ信ジテ居リマス……大臣、サウ彌次ツテハ困リマス、大臣ニ彌次ラレルナント云フコトハ澤山ナイ、是カラ御注意ヲ願ヒマス(笑聲)サウスルト結局ハ瓦斯用木炭ト家庭用木炭ト同ジニ扱ツテ區別シナイノデアリマスカラ、増産シテモ、其ノ中一億萬貫ハ瓦斯用木炭デ、アト一億萬貫ダケガ詰リ家庭用木炭ニナルコトニナル、ソレヲアナタノ今ノ御答ハ増産シタダケヲ政府ガ取ルノダカラ心配ハナイト云フコトハ、何ダカ見當外レノヤウニ思フノデアリマスカ、間違ヒナイノデアリマスカ

○島田國務大臣 一億九千何萬貫ト云フノハ是ハ瓦斯用ノ木炭ハ別ニシテノ話デアリマス、瓦斯用木炭ハ此ノ會社デアルモノハ是マデハ五六千萬貫、ソレデ今度ソレモ需要ガ多クナルカラト云フノデ増産ノ八億五千万貫ノ中ニハ工業用ノモ入ツテ居ルケレドモ、是ハ只今御話ノヤウニ約九千万貫、一億萬貫近クノモノヲ瓦斯用ノ特別ナ木炭トシテ會社ガ扱フ、サウシテ會社ガ生産ノ註文ヲ出シ、計畫ヲシテ、サウシテ買取ツタモノヲ需要者ニ向ツテ直接配給シテ行ク、其ノ他ニ工業用及ビ家庭用ノ木炭ヲ一億九千二百万貫、斯ウナツテ居ルノデアリマス、瓦斯用ノ木炭ハ別ニ見方カラ行ツテ

居ルノデ、數字ノ方ノ計畫言ヒマス
ト、瓦斯用ノ木炭ガ其ノ半分ト云フ意味デ
ハナイノデアリマス、ソレカラ統計ノコト
ハ材料ガ出來レバ御示シスルコトガ出來ル
ト思フガ、序デアアルカラ申上ゲテ置キタ
イト思フ、昨年東北方面ノ縣ニ於テ生産ガ
前年ヨリ少クナツテ居ルト云フヤウナ事柄
ニ付テハ、私ハ數字ハ知リマセケレドモ、
サウ云フヤウナコトガアツタノデハナカラ
ウカト思フ、他ノコトニ付テサウ云フコ
トヲ感ズル事ガアルノデアリマス、併シ
ナガラソレト同時ニ全國的ニ見マス、私
等ノ方ノ島根縣ナンカモ炭ヲ隨分出ス縣デ
アリマスガ、サウ云フヤウナ方ニ付テ見マ
スト、又非常ナ増産ヲシテ居ル部分モアリ
マス、ダカラ全體カラ見ルト必ズシモ減退
ヲシテ居ルトハ思ヘナイシ、ソレカラ東北
ニ於テハ今日現在デモマダ山元ニハ相當ノ
炭ガアル、アルケレドモ、色々ノ事情デ出
テ來ナイ、其ノヤウナコトヲ考ヘテ是モ僅
デアリマシタケレドモ御協賛ヲ得タ十四年
度追加豫算ノ中ニ八十幾万圓ト云フモノヲ
盛ツテ、之ヲ驛マデ運ビ出スヤウニシテ手
ヲ著ケテ、之ヲ需要地ニ持ツテ來ルコトガ
出來ルヤウナコトニ計畫シテ居ルノデアリ
マスガ、炭ノ値段ハ或ハ運賃諸掛リト云フ
ヤウナコトデ色々關係モアリマスカラ、此
ノ炭ノ値段ハドウ云フ所デ決メルカ、マア
米デアリマスト庭先デ買フトカ、サウ云フ
意味ナノデアリマスガ、サウ云ツタヤウナ
コトニ付テハ、是レ亦此ノ特別會計ヲ實施
シテ行ク時ニハ相當考ヘナケレバナラス、
ソレナラバ今木炭ノ値段ヲ上ゲル積リカ下
ガル積リカト言ハレテモ、ソレヲ的確ニ返
答スルコトガ出來ニクイノデアリマス、併

シナガラ農産物ノ中ノ林産物トシテ重要ナ
ル部分ヲ占メルモノデアリマスカラ是等ニ
付キマシテハヤハリ相當ニ檢討ヲ加ヘテ、政
府ガヤル場合ニ於テハ尙更檢討ヲ加ヘテ行
ク必要ガアルノデアラウ、斯ウ思ツテ居ル
次第デアリマス、直接御答ニハナラヌカモ
知レマセヌガ、ソレダケ御答致シテ置キマ
ス

クナイ時期ノ部分的ヲ二割ト見マシテ二億
四千万貫カラ二割ヲ引イテ、四千八百万貫
ヲ引イタモノガ、一億九千二百万貫トナル譯
デアリマス、之ヲ工業用ト云フコトヲ言ツタノ
ハ是ハ訂正致シテ置キマス、ソレト同時ニ瓦
斯用木炭ノ九千万貫ト云フモノハ、是ハ一億
九千万貫ノ他ニアル、其ノ他ト云フ意味カ
ラ言ヘバ、一億二千万貫ノ工業用木炭モ除
外サレル譯デアリマス、サウ云フ譯デ唯工
業用木炭ノ分ハ除外サレルケレドモ、是ハ
從來ノ商賣人ナリナシナリノ生産家ノ扱フ
部分ニナツテ居リマスガ、瓦斯用木炭ト云
フモノハ、會社ノ専用ニ一手ニ買入販賣ヲ
スルト云フコトニナツタノデスガ、此ノ買
入ヲスル方ノ點カラ言ヘバ、生産家ニ對シ
テハ、此ノ木炭會社ガソレニ對シテ、買付
ヲスル譯デアリマスカラ、其ノ點ニ於テハ
生産家ノ方ニ取ツテハ餘リ影響ハナイノデ
アリマス、唯賣渡シヨスル場合ニ、會社ガ
ヤルト云フコトニナルカラ、其ノ點ガ商賣
人ノ手ヲ潜ルト云フコトニナラナイト云フ
コトハ、是ハアルダラウト思ヒマス

ニ自由ニ出ルナラ宜イガ、ソレデハ出ナ
イ、結局何カヤラナケレバナラス、生産ヲ
拒ムカ、或ハ現在ノヤウニ縣外移出ヲ許可
制度ニスルカ、何カ押ヘナイト、ドウシテ
モ一億九千二百万貫ト云フ大量ハ、生産地
カラ直接來マセヌ、ドウシテモ何か、法律
デナクテモ行政的手段ニ依ツテデモヤラナ
ケレバナラス、ソレガ問題デアリマス、サ
ウ云フコトヲ豫知シ得ルカラ、ソコデ問屋
ヤ仲買ノ製炭業者ニ資金ヲ出シタモノモ出
サナクナル、出サナクナツタ結果、是等ノ
人ガ立木ヲ買フトコトガ出來ナイ、同時ニ又
二百万圓ナリ三百万圓ナリ一年ニ前貸ヲシ
テ、製炭人夫ニ對シ足止メヲシテ置クト云
フコトモ出來ナクナル、茲ニ製炭ノ減ラス
ルト云フコトヲ心配スルノデアリマス、其
ノ點ハ意見ノ相違ニナリマスガ私ハサウ思
フ、ソレト同時ニ十四年度ノ既ニ衆議院ヲ
通過セシ豫算ト、追加豫算ニ依ツテ相當ノ
金額ガ計上シテゴザイマスガ、併シナガラ
其ノ内譯ヲ見マス、ドウモ私共ハ實際ニ
即シタモノニハナラヌト思フ、目的ヲ達シ
得ルコトハ極メテ困難ト思ヒマス、ソレデ
十四年度ノ實績ヲ見ナケレバ分ラヌカラ、
昨年度デモ宜シイカラ、十四年度ノ實績ヲ
研究シテ戴キタイト云フコトヲ要求シテ居
ルノデアリマス、十四年ノ實績ガ果シテ山
林局長ノ言フ通り豫定ニ近キ増産ヲ得テ居
ルト云フコトデアアルナラバ、私共ハ十五年
モ増産シ得ルト信ジマスガ、ドウモ私共ハ
各府縣別ノ調ヲ見ナイト安心ガ出來ナイ、
是ハ農林省ノ宣傳カ知レナイガ青年團ヤ、
學校ノ青年ヲ使ウテ千六百万貫炭ガ増産シ
タト云フコトヲ言ウテ居ル、焉ゾ知ラン、
ソレハ誰ガヤツタノカ、ソレハ學校ノ生徒

○高田委員 大臣ト數量ノコトヲ彼此レ言
フノハ嫌デスガ、私ノ言フ方ガ正確デハナ
イノデスカ、大臣ハ二億貫増産スルノダ、
ダカラ増産スル部分ダケ大體見込シテ之ヲ
買フトコトヲ仰シヤル、増産スルノダカラソ
レヲ買フトハ宜イノデスケレドモ、サウデ
ハナイノデスカ、二億貫増産シテモ其ノ内
ノ一億貫ト云フモノハ商賣人ノ手ニ入ラ
ナクナツテシマフ、サウスルト一億貫ト
云フモノハ商賣人ノ手カラ抜カナケレバナ
ラス、ダカラ増産スル内デ瓦斯用木炭ノ
一億貫ト云フモノハ全然商賣人ニ關係ノ
ナイモノデアリマスカラ、二億貫増産スル
ダケ政府ガ買フト云フコトハ全然間違ツテ
居リマス、私ハアチガ間違ツテモ構ヒマセ
ヌガ、尙ホ一億九千二百万貫ノ中ニ工業
用木炭マデ入ツテ居ルヤウナ御話デアリマ
ス、サウ承ツタノデアリマスガ、工業用木
炭ハ入ルト田中サンハ説明シテ居ルノデス
ガ、入ツテ居ルノデアリマスカ、ドウデア
リマスカ

○島田國務大臣 今ノ計算ハ、其ノ點ハ違
ツテ居ツタヤウデアリマス、全體ノ工業用
家庭用合セテ三億六千万貫、十三大都市ノ
需要デス、其ノ中カラ、工業用木炭一億二
千万貫、サウスルト家庭用木炭ハ二億四千
万貫其ノ二億四千万貫ノ中デ需要ノ餘リ多

○高田委員 先程大臣ノ御話デ二億貫増
産スルカラ、増産スル分ダケ政府デ買フト
ダカラ、敢テ從來ノ營業者ニ左程ノ影響ハ
ナイダラウト云フコトヲ申サレタ、其ノ中
一億貫引イタラソレデ宜イ、所ガ只今大
臣ガ御話ノヤウニ、十三都市ノ總消費量ノ
八割ハ政府ガ買フト云フ、成程全國ノ總消
費量カラ云ヘバ、約三割位ノモノデスケレ
ドモ、十三都市カラ言フト、八割ヲ買フト
云フコトニナルカラ、其ノコトハ無論商賣
人ノ手ヲ經テ居ルノデアリマス、併シ其ノ
コトハ生産者トシテハ、ドウ云フコトニナ
ルカト云フト、ソレガ東京ナリ、大阪ナリ

ニ自由ニ出ルナラ宜イガ、ソレデハ出ナ
イ、結局何カヤラナケレバナラス、生産ヲ
拒ムカ、或ハ現在ノヤウニ縣外移出ヲ許可
制度ニスルカ、何カ押ヘナイト、ドウシテ
モ一億九千二百万貫ト云フ大量ハ、生産地
カラ直接來マセヌ、ドウシテモ何か、法律
デナクテモ行政的手段ニ依ツテデモヤラナ
ケレバナラス、ソレガ問題デアリマス、サ
ウ云フコトヲ豫知シ得ルカラ、ソコデ問屋
ヤ仲買ノ製炭業者ニ資金ヲ出シタモノモ出
サナクナル、出サナクナツタ結果、是等ノ
人ガ立木ヲ買フトコトガ出來ナイ、同時ニ又
二百万圓ナリ三百万圓ナリ一年ニ前貸ヲシ
テ、製炭人夫ニ對シ足止メヲシテ置クト云
フコトモ出來ナクナル、茲ニ製炭ノ減ラス
ルト云フコトヲ心配スルノデアリマス、其
ノ點ハ意見ノ相違ニナリマスガ私ハサウ思
フ、ソレト同時ニ十四年度ノ既ニ衆議院ヲ
通過セシ豫算ト、追加豫算ニ依ツテ相當ノ
金額ガ計上シテゴザイマスガ、併シナガラ
其ノ内譯ヲ見マス、ドウモ私共ハ實際ニ
即シタモノニハナラヌト思フ、目的ヲ達シ
得ルコトハ極メテ困難ト思ヒマス、ソレデ
十四年度ノ實績ヲ見ナケレバ分ラヌカラ、
昨年度デモ宜シイカラ、十四年度ノ實績ヲ
研究シテ戴キタイト云フコトヲ要求シテ居
ルノデアリマス、十四年ノ實績ガ果シテ山
林局長ノ言フ通り豫定ニ近キ増産ヲ得テ居
ルト云フコトデアアルナラバ、私共ハ十五年
モ増産シ得ルト信ジマスガ、ドウモ私共ハ
各府縣別ノ調ヲ見ナイト安心ガ出來ナイ、
是ハ農林省ノ宣傳カ知レナイガ青年團ヤ、
學校ノ青年ヲ使ウテ千六百万貫炭ガ増産シ
タト云フコトヲ言ウテ居ル、焉ゾ知ラン、
ソレハ誰ガヤツタノカ、ソレハ學校ノ生徒

モ手傳ツタデセウ、併シナガラ山デ燒イテ居ルノハヤハリ炭燒デアリマス、其處ニ吸收サレタ結果、本當ニ炭燒ヲ使ウテ、サウシテ炭ヲ燒イテ居ル方ノノ生産額ガ減ツタト云フコトヲ見ナイ、唯學校ノ生徒ヲ使ウテ千六百萬貫殖エタト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、一方減ツタ方ヲ知ラナイ、ダカラ洵ニ困ル、是ハ構道ニ入ツタノデスガ、兎ニ角アノ豫算ヲ以テ六億五千萬貫ノ三割ヲ増産スルコトガ出來ルト云フコトハ、本當ニ机上ノ空論デアリマス、加之先ニモ申上ゲタヤウニ所謂製炭業者ノ企業心ヲ阻礙シ、不安ヲ招イテ、ドウモ減産ヲスル虞ガアルノデ、私ハ贊成スルカ、反對スルカ分ラナイノデスガ、若シ贊成シテ通過シタ所ガ、是ガウマク行カナカツタナラバ、大問題ニナルノデスカラ、大臣モ民間ノ事情ニ能ク御精通ノ方デスカラ、下僚ノ云フコトバカリヲ聽カナイデ、一ツ地方ノ製炭業者ノ五六人デモ呼ンデ、サウシテ本當ニ目的ヲ達シ得ルカト云フコトヲ能ク研究シテ下サイ、御研究ニナツタノデセウカドウデスカ、田中君ヤ南君ノ云フコトデハ本當ノコトハ分ラヌ、失禮ナガラ分ラヌト思ヒマス、デスカラ私ハ出來ナカツタナラバ大變ナ問題ニナリマスカラ、切實ナコトヲ言フノデス、大臣ガ若シ各種ノ事情、各地方ノ製炭業者、或ハ東京ノ問屋筋等ノ人ヲ呼ンデ、此ノ案デ本當ニ製炭増ガ出來ルト云フ御確信ガアルナラバ、ソレハ宜シイノデス、恐クハソレ程進シテ御研究ハ大臣ハナスツテ居ラヌト思ヒマスカラ、ドウゾ一ツ此ノ點ハ尙ホマダ數日アリマスカラ、幸ニ明後日ハ春季皇靈祭デスカラ、製炭業者或ハ東京ノ問屋ナドヲ呼ンデ、本當ニ彼等ノ意見モ聽イテ

下サイ、アレヲ人ノ言フコトモ中々馬鹿ニ出來ナイト思ツテ居ル、私ノ考デハ南君ヤ田中君ハ非常ニ熱心ナル、立派ナル官僚デアリマスガ、斯ウ云フモノバカリ信ジラレナイ點ガアル、今マデノ國策會社ハ皆失敗シテ居ル、私ハソレヲ虞レルカラ愚見ヲ呈スル譯デス、ドウゾ此ノ次ノ休ミニデモ當事者ト能ク協議ヲサツテ、御調ベヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ第四トシテ御伺シタイコトハ、瓦斯用木炭ノ公定價格ハドシナ風ニ御決メニナルノデスカ、今マデハ公定價格ガナイサウデスカ、是ハ當然此ノ會社ヲ經營スルカラニハ、ドノ價格デ公定價格ヲ決メテ、サウシテ買ヒ或ハ賣ルト云フコトニナラナケレバナラス管デスカ、既ニ政府トシテ此ノ瓦斯用木炭ヲドウ云フ價格ヲ買フ、サウシテドウ云フ程度デ賣ルト云フコトノ具體案ガナケレバナラスト思ヒマスカラ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス、ソレハ成ベク書類ガ宜シイ、ソレカラ事務當局ニ伺ヒタイ、此ノ法律ヲ見マスト、名ハ瓦斯用木炭ダガ、其ノ實瓦斯用薪炭材ダ薪炭ノ供給ヲ確保スル爲云々トアル、サウスルト此ノ會社ハ薪ノ供給確保モスルノカ、隨分厄介ナコトヲナサルノデスケレドモ、此ノ二ツヲ御説明願ヒタイ

ノ公定價格ト見合ツテヤハリ決メテ行ク積リデ居ル譯デアリマス、統計ノ問題デドウモ叱ラレマシタガ、實ハ此ノ統計ハドシナタデアリマシタカ、外ノ方カラ各縣別ノ生産費ヲ御要求ニナツタノデアリマス、各縣別ノ平均生産高ハ難カシイモノデスカラ、各地方ノ代表的ノモノヲ取ツテノ生産費ヲ實ハ拵ヘタ譯デアリマス、其ノ點ヲ御諒承ヲ願ヒマス

○高田委員 モウ一ツ序ニ伺ヒマスガ、一億萬貫ノ瓦斯用木炭ノ全部ハ所謂南式製造法ト云フノガアルサウデアリマスガ、其ノ方法ニ依ルモノノミニ依ツテ生産セシムル見込デアリマスカドウカ、又其ノモノノミデヤルトシテ、果シテ一億萬貫ノ生産ノ目的ヲ達セラレルカドウデスカ、是ハ私實ヲ言フト、普通ノ木炭ナラ知ツテ居リマスガ、此ノ案ノ作り方モ燒キ方モ知りマセヌ、聞ク所ニ依ルト、ドウモ南式ヨリモ外ニ小暮式ト云フノガアルガ、其ノ方ガ宜イノダト云フヤウナコトヲ言ヒマスガ、ドノ式デモ宜シイノデスカ、或ハ南式ノミニ依ツテ一億萬貫ノ増産ヲセシムルト云フガ、是ハ中々ソレデハ困難ノヤウニモ思ヒマス、何トナク南式デハヤレヌト云フコトヲ言ツテ居ル、連モヤレヌ、ナゼヤレヌト云フト、ドウモ炭燒ハ若イ人ナラヤレルケレドモ、年取ツタ人ハ炭ヲ出ス時ニ非常ニ熱クテ作業ガ困難ダヤリ切レヌト云フヤウナコトヲ言ツテ居リマス、南式ト云フモノハ結局排斥シナケレバナラスト云フコトニナルノデスカ、ドウ云フノデスカ、南式ニ依ツテノミ一億萬貫ヲ作ルト云フノデスカ

○田中政府委員 瓦斯用木炭トシテ今專賣特許ニナツテ居ルノハ南式ダケデアリマス、隨ヒマシテ南式ノ專賣特許ニ依ル製造法ニ依ツテ瓦斯用木炭ヲ製造セシメ、現在相當普及シテ居リマスガ、更ニ此ノ會社ガ出來マシテ、ハツキリト木炭ヲ買ヒ得ルト云フ状態ガ出來レバ、生産ガ餘程増進サレルト思ヒマス、所ガ今ハハツキリ買ツテ呉レルノヤラ、又普通家庭用ニ使ツテ見ルト云フヤウナコトモアリマスノデ、取引關係ガハツキリ致シマセヌカラ、生産率ガ少イノデアリマス、會社ガ出來マシテ、其ノ方カラ今御説明シタヤウナ原木ノ供給ガ出來マシレバ、生産量ガ上ルト思ヒマス、併シ急激ニ行カヌコトハ勿論デアリマスカラ、サウ致シマスレバ此ノ間ドウシテモ普通ノ木炭ヲ使ツテ買フト云フ外ハナイト思ヒマス、ソレカラ外ニ良イノガ出來マシレバ、其ノ方ヲ採用致シマス、小暮式ノ御話ガ出マシタガ、是ハ素人デハ分リマセヌケレドモ、南式ノ過程ヲ採ツテ、其ノ外ニ、或ルモノヲ加ヘテヤルト云フ譯デアリマス、其ノ點ハ専門家デアリマセヌカラ、此處デ御批評申上ゲルコトハ避ケマスガ、只今ノ所專賣特許ハ南式ダケデアリマス

○高田委員 南式ノ可否其ノ他ニ付キマシテハ、堀内君ガ全國自動車組合ノ會長カ何カシテ居ツテ詳シク知ツテ居ルヤウデ、ドウモ是ハ色々ノ疑點ガアルヤウデスカラ、何レ午後ニ伺フコトニシテ、南式ノ問題ハ保留シテ置キマス、此處デ農林大臣ニ伺ツテ置クコトハ、私ハ法律關係ノコトハ餘リ能ク知リマセヌガ、日本瓦斯用木炭株式會社法第十八條ニハ「瓦斯用薪炭ノ生産又ハ取扱ヲ爲ス者ニ對シ、命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ生産又ハ取扱ニ係ル瓦斯用薪炭ヲ日本瓦斯用木炭株式會社ニ賣渡スベキコトヲ命ズルコトヲ得」下斯ウ

書イテアル、結局強制的ニ皆買フト云フコトニ解スル外ナイト思ヒマス、ソレノミナラズ本會議ニ於テ此ノ案ヲ説明スル時ノ政府ノ説明ハ——是ハ何レ田中君ガ書イタモノト思フガ、斯ウ云フコトガ書イテアル「即チ本法案ニ依ル日本瓦斯用木炭株式會社ノ設立ニ依リマシテ、交通事業ニ於ケル重要燃料タル瓦斯用木炭ノ供給ヲ確保スルト共ニ、保健上、衛生上有害ナル此ノ種木炭ノ一般取引ヲ禁遏セントスル次第デアリマス」ト斯ウ書イテアル、非常ニ強イ意味ノ瓦斯用木炭株式會社デアリマス、即チ一種ノ專賣デアルト認メラレル、サウストソコニ問題ガ起ル、是程強イ意味ノコトヲ補償モナシニ府政ガヤルコトヲ、府政及ビ議會ガ認メラレバ問題ハ簡單デアリマス、例ヘバ米ノ問題デ、米ヲ專賣ニセイト云フ議論モアル、此ノ議論ノ可否ハアリマスガ、兎モ角モ補償ナシニ專賣ニスルト云フコトガ出來レバ、極メテ簡單デゴザイマス、尙又配給機構ノ問題デ色々意見ガアル、産業組合ガ宜イトカ、商業組合ガ宜イトカ、二本建ニスルノガ宜イトカ、是モ實際ヲ言ヘバ農村必要ノ資材ノ配給モ、商賣人ニヤラスヨリハ産業組合ニヤラス方ガ徹底シテ早イ、麥ノ集荷等モ商賣人ニヤラスヨリ、農會、産業組合ニヤラシタ方ガ早イガ、是ガ中々ヤレナイ、一方ニ商賣人ハ商權擁護ヲ主張スルノハ當然デス、國家ガ要求スルカラト云ツテ補償モナシニ無暗ニ營業權ヲ奪ハレテハ堪ツタモノデハナイト思ヒマス、所ガ此ノ法律ハ成程金額ハ少ナイ、分量ハ小サイ、範圍ハ狭イケレドモ、一種ノ專賣デアアル、結局今日マデ瓦斯用木炭ヲ賣ツタ人モアルデセウ、是等ノ人ノ營業權ヲ補償ナシニ全

部奪フコトニナル、斯ウ云フコトハ議會ガ認メラレバソレハ宜イデセウ、斯ウ云フコトヲ認メルコトニ依ツテ、有ユル營業權ト云フモノヲ政府ガ補償ナシニ奪フコトガ出來ルト云フコトニナツタラ、是程恐ルベキ結果ハ私ハナイト思フノデスガ、之ニ付テハドウ云フ御研究ニ基イテ立案ナスツカ、ソレヲ大臣カラ伺ヒタイト思ヒマス

○島田國務大臣 是ハ先刻モ外ノ質問ニ對シテ御答ラシタノデアリマスガ、瓦斯用木炭ト云フノハ之ヲ普通ノ木炭ト混同シテ使ヒマスト人體ニ害ヲ爲スモノデアアル、既ニ木炭ノ供給ノ關係ガ窮乏ニナツタ際ニ、之ヲ普通ノ家庭ニ使ツタリシタヤウナ關係モアリマシテ、衛生上非常ニ害ノアルモノデアリマスカラ、ソコデ特殊ナ會社ヲ作ラシメテ、瓦斯用木炭ノ供給ヲソコデヤラセルト云フヤウニシテ、必要ナル瓦斯用木炭ヲ使フ者ガクニ使ハセル、斯ウ云フ風ニスルト云フ取締ノヤウナ意味カラ致シマシタコトモ、其處ニ一ツノ理由ガアルノデアリマス、之ヲ一般ノ取引ニシテ何處ヘデモ使ツテ宜シイト云フヤウニスルトハ、將來或ハサウ云フ所モ改良サレルヤウナ研究モ出來ルカモ知レマセヌガ、現在ニ於テハソレハ事實危險デアアルカラ、其ノ會社ニ一手ニ買取ラシメテ、必要ノ目的ニノミ使ハセルヤウニシヨウ、斯ウ云フ意味カラ言ヘバ一種ノ專賣ダ、斯ウ云フ議論カラ言ハレバサウ云フ議論モアリ、批評モアル譯デアリマスケレドモ、是ハ一面ニ於テ左様ナ衛生等ノ事情カラ來ル理由ガアリマシテ、事情ノ分ラヌ者ハソレヲ使フ、斯ウ云フコトモアルノデアリマスカラ、左様ナコトヲ考ヘ

ト此ノ十八條ト云フモノハ買入又ハ賣渡スコトハ木炭會社ニダケヤレ、斯ウ云フコトニ規定ラシタヤウナ次第デアリマシテ、ソレハ説明ニナリマシタヤウニ、普通ノ家庭ノ唯ノ用途ニ之ヲ向ケシメルコトハ取締ツテ、禁ズルト云フ意味ヲ含ンデ立案シタモノデアリマシテ、是ハ使ツテ害ノナイモノヲ勝手ニ禁ズル、斯ウ云フヤウナ單純ノ意味デナイコトニ御諒承願ヒタイノデアリマス、其ノ意味ニ於テ從來扱ツタモノニ對シテ、或ハ補償スルトカ云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、サウ云ツタヤウナ需要家ニ對シテハ、主ニ此ノ會社ノ株主トシテサウ云フ者ガ此ノ會社ヲ組織スル譯デアリマスカラ、大體ニ於テ其ノ補償ノ問題ト云フコトハ起ラヌデアラウト考ヘテ居ル次第デアリマスカ

○高田委員 若シ起ツタ時ニハドウシマスカ

○島田國務大臣 起ラナイト考ヘテ居リマスガ、左様ナ問題ガ起ツタ時ニハソレニ付テ特別ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○高田委員 尙ホ私ハ二三質疑ガアリマスカレドモ、マダ提出サレナイ資料ガアリマスカラ、資料ノ提出ヲ待ツテ更ニモウ一回成ベク時間ヲ多ク與ヘテ戴イテ、質疑ノ御許ヲ願ヒタイト思ヒマス

○坪山委員 資料ノ要求ヲ致シマス、此ノ特別會計法ノ第十條ニハ、ヤハリ收支ノ關係ノ規定ハ勅令ヲ以テ定ムト云フコトニナツテ居リマスガ、勅令要綱ヲ早ク御示シテ願ヒタイ

○小林委員長 暫時休憩致シマス、午後二時ニ開會致シマス

午後零時十四分休憩

午後三時十分開議

○坪山委員長代理 只今カラ會議ヲ開キマス——堀内君

○堀内委員 私ハ政府委員ニ瓦斯用木炭ノコトニ付テ御質問致シタイノデアリマス、一體日本瓦斯用木炭ト云フノハドウ云フ意味ニ解釋シタラ宜イデセウカ、其ノ定義ト云ツタコトニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○田中政府委員 能ク御承知ノコトデアリマスガ、木炭ニ依ツテ瓦斯ヲ發生サセテ、其ノ瓦斯ニ依ツテ動力ヲ起スト云フ考ヘ方デアリマス、此ノ瓦斯用木炭ハ自動車用ノ瓦斯發生ヲ目的トシタモノデアリマス

○堀内委員 サウ致シマス、此ノ瓦斯用木炭ハ專賣特許ニナツテ居リマシテ、南、河内兩君ガ特許權ヲ持ツテ居ラレマスガ、マダ此ノ以外ニモサウ云フ種類ノモノガアルノデアリマスカ

○田中政府委員 只今ノ所ハ、御話ノ專賣特許ニナツテ居ルモノヲ目的トシテ居リマスガ、今後他ノ發明ガアリマシテ、ソレガ有效デアルトシマスレバ、ソレモ使用スル考デアリマス

○堀内委員 ソレハ今後サウ云フモノガ出レバト云フ御話デアリマスガ、現在ノ所此ノ會社ノ基礎トナル瓦斯用木炭ト云フモノハ、今御話申上ゲタヤウニ是一種類デアアルノデアリマスガ、サウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○田中政府委員 今ノ所一種ノ積リデアリマス

○堀内委員 其ノ一種ノ專賣特許ノ木炭ヲ以テマシテ、此ノ會社ヲ持ヘルト云フノデアリマスガ、サウ致シマス、此ノ專賣特許權ヲ持ツテ居ル他人ノ所有デアルモノヲ、

ドウ云フ方法ニ於テ此ノ會社ノ經營ニ移シ、サウシテ此ノ木炭ヲ使フヤウニナルノデアリマセウカ、其ノ順序及ビ方法ヲ一應承リタイ

○田中政府委員 御承知ノ通りノ事實特許デアリマスカラ、之ヲ生産ヲスル者ニ其ノ實施ヲ許シテ、ソレニ依ツテ生産シタモノヲ此ノ會社ヲ買ヒ取ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、而シテ其ノ實施ニ付キマシテハ、普通アルヤウナ特許料等ヲ徵收スルコトハナイノデアリマス

○堀内委員 尙ホ其ノ點ヲ先ヅ第一ニ確定置キタイト思ヒマス、特許料ヲ徵收スルコトハナイ、無料ヲ特許權ヲ使用スルト仰シヤイマスガ、現ニ既往ノ事實デアリマスガ、私共ノ關係シテ居リマス大日本乘合自動車協會ニ於キマシテ、此ノ特許ニ依ツテ生産ヲシヨウト云フコトヲ御話ヲ致シタコトガアリマスガ、其ノ時ニ發明者ノ代理人トシテ某辨理士ガ御出デニナツテ、此ノ特許ヲ分權シテヤルコトハ差支ナイガ、其ノ生産木炭十「キロ」一貫五百匁ニ付テ五錢ノ特許料ヲ拂ヘト云フコトデアリマシタガ、色々ト交渉致シマシテ遂ニ中止ニナリマシタコトガアリマスガ、今後サウ云フヤウナ特許料支拂ナドノコトハナイノデアリマセウカ、既往ノ事實ニ鑑ミテ、私ハ其ノ點ニ心配ガアリマスカラ、之ヲ重ネテ伺ウテ置キマス

○田中政府委員 實施ヲ認メルモノニ付キマシテ特許料等ヲ取ルコトハナイノデアリマス

○堀内委員 ソレハ何處ニサウ云フコトガ書イテアリマスカ、此ノ特許權者ノ一人南サハ農林省ノ技師ト伺ツテ居リマスカラ、

或ハ技師トシテノ在職中ハ御命令ニ服従サレルカモ知レマセヌガ、此ノ特許權ハ河内愛三ト云フ人ト南時次ト云フ二人ノ特許權ニナツテ居リマス、此ノ人達ハ皆個人ノ資格ヲ以テ特許權ヲ持ツテ居ル、幾ラ役所デ無料ニ使用サセルト仰シヤウテ見タ所ガ、此ノ本人ノ言明ノナイ限りハ信用ハ出來ナイノデアリマス、先般既ニ乘合自動車協會ニ於テ此ノ特許ノ使用權ヲ受ケテ生産シヨウトシタ時ニ、サウ云フ要求ガアツタノデアリマス、デアリマスカラ個人トシテ持ツテ居ル特許ヲ、ドウ云フコトヲ根據トシテ、之ヲ無料デ使用サセルノカ、サウ云フコトガ一體此ノ法文ノ何處ニ書イテアリマスカ、サウ云フコトハ容易ニ信ジラレナイノデアリマスガ、此ノ點ヲ重ネテ伺ヒマス

○田中政府委員 其ノ點ハ此ノ法律ニ直接ノ關係ガアリマセヌカラ、法案ニハ書イテアリマセヌガ、特許料ヲ徵收シナイデ行クコトニ決ツテ居ルノデアリマス

○堀内委員 決ツテ居ルト云フノハ、ドウ云フ風ニ決ツテ居ルノデアリマスカ、具體的ニ伺ヒタイ

○田中政府委員 ソレハ役所ノ取極メトシテサウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス

○堀内委員 此ノ機會ニ、私ハ一寸伺ツテ置キタイ、河内愛三ト云フ人ハ農林省ノ役人デアリマスカ

○田中政府委員、河内君ハ實ハモウ故人ニナツテ居ラレマシテ、南君ダケニナツテ居リマス

タサウデアリマスケレドモ、陸軍大臣ノ特許ニナツテ居リ、此ノ特許ヲ陸軍大臣ガ解放シテ、今ソレニ依ツテ製造ヲ獎勵シテ居ル、其ノ製造ヲ許可サレタ者ニ對シテハ、是ハ全ク斯業發展ノ意味デ料金ナド一文モ徵收シテ居ナイ、鐵道省邊リニモサウ云フヤウナ發明ガアルサウデアリマスガ、ヤハリ鐵道技師ガ發明シタモノヲ總テ鐵道大臣ノ特許ニシテ居ルト云フノデアリマス、此ノ南君ト河内君ト二人ハ農林省ノ役人デアツテ、現ニ南君ハ今尙ホ役人デアラレル、サウ云フ人ガ發明サレタ場合ニ、官吏ノ仕事ノ内部規定ハ私ハ存ジマセヌガ、斯ノ如キ發明ハ一般ノ自動車瓦斯用木炭トシテ非常ナル交通機關ニ大影響ヲ及ボス問題ナンデアアル、技師トカ、役人トカ云フ其ノ役所ニ居ル者ノ發明シタモノニハ、役所カラ其ノ人達ニ對シテ相當ノ報酬ナリ、賞與ヲ拂フト云フコトハ宜シイカモ知レマセヌガ、其ノ人達ノ個人ノ名前ヲ以テ特許ヲ取ルト云フコトハ、一體差支ナイコトデアリマスカ、殊ニ今河内ト云フ人ノ如キハ罷メテ個人ノ資格デアアル、サウ云フモノヲドウシテ役所デ權利ヲ押ヘルコトガ出來マスカ、能ク世間デハ役人ガ會社ヲ拵ヘテ置イテ、サウシテ役人ヲ罷メテ其ノ會社ニ行カウト云フコトヲ前以テ約束シテ居ツテ行クノダト云フ非難ガ甚々トシテアルノヲ御聞キニナツタコトト思フ、殊ニ農林省ニハサウ云フコトガ多イヤウニ聞イテ居ル、一體南、河内ノ兩氏ガ何ノ爲ニ役所ノ祿ヲ食ンデ居ツテ、個人ノ資格デ斯ル重大關係ノアル問題ノ特許ヲ御取りニナツテ、ソレヲ種ニシテ會社ヲ作ルト云フコトヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 河内君ガ故人ニナラレタト云フノハ亡クナラレタコトデアリマス、ソレデスカラ左様御諒承願ヒタイノデアリマス、ソレカラ特許ノ關係ハ私モサウ専門デアリマセヌカラ、或ハ明確ナイイカモ知レマセヌガ、特許法ニ於テハ、實ハ發明ノ獎勵ノ爲ニ發明ハ個人ニ認メルト云フノガ最近ノ建前デアアルヤウデアリマス、サウシテ其ノ實施ニ付テハ監督官廳ニ於テ適當ニ支配ヲスル、發明獎勵ノ爲ニ個人ニ認メルト云フヤウナ方針ガ全般的ハドウカ知リマセヌガ、特許法ナンカニモソレニ關スル規定ガアルヤウデアリマスガ、發明ノ獎勵ノ爲ダト私ハ心得ヘテ居リマス、或ハ間違ツテ居ルカモ知レマセヌガ、從來ハ監督官廳ノ名前デ名義ヲ取ツタ例ガ相當アリマスガ、最近ハ特許權ダケハ其ノ發明者ノ名前ニシテ置イテ、其ノ實施ニ付テハ監督官廳ニ於テ或ル程度ノ支配ヲスル、斯ウ云フヤウナ形ニナツテ居ル例ガ、最近ハ相當アルヤウニ承ツテ居リマス、農林省ニ於テモサウ云フ例ガゴザイマス、サウ云フ譯デゴザイマスト云フコトナラバ、其ノ相續人ガアリマセウカラ、特許權ト云フモノガ個人ニアラナラバ其ノ相續者ニ繼承サルベキモノデアリマス、死ナレテモ其ノ權利ノ行使ハ相續者ニ於テ支障ハナイモノト考ヘル、只今ノ御話ノヤウニ近來サウ云フヤリ方ガアル、ソレハ甚ダ危險ノヤリ方デアアル、今私ガ申上ゲタヤウナ公明安全ノヤリ方モアル、即チ其一例トシテ大臣ノ名前デ特許ヲ取ルト云フコトヲ擧ゲテ申上ゲタノデアリマスガ、今アナタハ惡イ方ノ例ヲ御引キニナツタ

○堀内委員 他ノ役所ノ例ニ考ヘテ見マサルニ、現ニ陸式瓦斯發生爐ト云フヤウナモノガ、薪ヲ以テヤル特許ガアルノデアリマスカ、是ハヤハリ陸軍技師ガ事實上發明シ

ガ、私ハ役所トシテハ斯ウ云フヤウニシテ
實ハナケレバ困ルト云フ良イ方ノ例ヲ申上
ガタノデアリマスガ、サウ云フコトヲア
タノ方デソレハ差支ナイノダ、サウ云フ例
モアルノダト云フヤウナ態度デ御話ニナリ
マスナラバ、モウ一遍其ノ點ヲ伺ツテ置キ
タイ、然ラバ乗合自動車協會ニ對シテ「キ
ロ」五錢ノ手數料ヲ拂ヘバ任セルト云フヤ
ウナコトヲ、何ノ爲ニ要求サレテ居ルカ、
サウ云フコトヲ個人ニ任シテ居ルノデア
カラサウ云フコトニナル、役所ノ人がサウ
云フコトヲシテ、ソレガ一二ノ例ガアルカ
ラ宜イノダ、サウ云フドウモ惡例ヲ此處デ
差支ナイト公言シテ御述ニナルト云フ態度
ハ、吾々ハ一寸首肯出來ナイ、一應其ノ點
ヲ伺ツテ置キマス

○田中政府委員 吾々モ昔ハ實ハ試驗場ト
カ其ノ他ニ於テノ發明ニ付テハ、從來トモ農
林大臣トカ或ハ試驗場長トカ云フヤウナ、
名義ノモノガ宜イヤウニ思ツテ居ツタノデ
アリマスガ、特許法ガ改正サレマシテ、其
ノ點ニ付キマシテハ發明シテ者ノ發明ノ權
利ヲ、或ル程度認メルト云フヤウナ建前ニ
ナツテ居ルノデハナイカト思ヒマスケレド
モ、是ハ專門家ノ方ノ特許局關係方ノ御
意見ヲ聽イテ戴イタ方が宜イト思ヒマスガ、
サウ云フヤウナ關係ニナツテ居リマシテ、
發明獎勵ト云フコトハ相當大切デアリマス
ガ、發明モシナイ人が監督官廳デアル爲ニ
權利ヲ持ツト云フコト、ソレガ從來宜イノ
デハナイカト云フヤウナ氣持デ居リマシタ
ガ、一方又發明獎勵ト云フコトカラ言フト、
發明者ノ或ル程度ノ努力ト云フモノヲ尊重
スルト云フコトガ宜イヤウナ又氣モスル譯
デアリマス、ソレデ私共ト致シマシテハド

チラガ惡イカト云フヤウナコトニ付テハ、
實ハ判斷ニ苦シムノデゴザイマシテ、發明
者ノ特許權ガハ一應權利ニシテ置クノガ
惡例ト云フヤウナ考ハ、持チ得ナイノデア
リマス

○堀内委員 今茲デ善例トカ惡例トカ、ソ
レヲ何モ争フベキ場合デヤアリマセヌケレ
ドモ、一方ノ全國多數ノ自動車業者ノ眼カ
ヲ見ルト、此ノ木炭ガナケレバ車ガ動カ
イコトニナル、營業ガ出來ナイコトニナ
テ來ル、結局國策ノ上カラ代用燃料ヲ造
テ車ヲ動かセルト云フ國策ノ遂行ガ出來
イ結果ニナル、非常ニ問題ハ重大デアリ
關係ハ非常ニ廣イノデアリマス、吾々ハ斯
様ナコトハ言ヒタクナイノデアリマスガ、
全國ニ互ル所ノ多數ノ自動車業者ト云フモ
ノガ、斯ウ云フコトニ依ツテ束縛サレテシ
マフト云フコトニナレバ、結局車ヲ動か
コトガ出來ナイ、若シモ交通機關ノ運轉ガ
止マルヤウナコトガアツタラ、大衆ニ非常
ナ迷惑ヲ及ボスト云フ結果ニナルノデア
リマスルカラ、今局長ノ仰シヤルヤウナ、ド
ツチニシタラ宜イカ、惡イカ、善例カ惡例カ、
ソコヲハツキリシタコトモ言ヘヌト云フヤ
ウナ曖昧ナ態度デ、斯ウ云フ問題ヲ處理サ
レテハ私共ハ非常ニ困ル、重ネテ伺ヒマス
ガ、此ノ發明ト云フモノハ、特許ノ書類ヲ
拜見シテ見ルト、中々色々ノコトガ技術的
ニ六ケシク長々ト書イテアリマスカラ、私
共一寸見テモ分リマセヌ、分リマセヌケレ
ドモ、吾々ガ多數ノ自動車業者ニ色々ナ話
ヲ聞イテ見マスト、要スルニ半燒ケノ炭ダ、
十分燒イテシマヘバ家庭用ニ使フ炭ニナル
ノデアリマスルガ、サウスルト瓦斯ヲ出ス
力ガ少クナルノダ、ソコデ七分燒トカ六分

燒トカ云フコトニスルノデア
ル、半燒ケノ六
分トカ七分トカ云フ時ニ煙突カラ水ヲ入レル
トカ、燒ケ掛ケテ赤クナツタモノヲ窯ノ口ニ
持出シテ、ソレニ「アンモニヤ」トカ砂ヲブツ
掛ケルトカ何カシテ、其ノ木炭ト云フモノ
ヲ生燒ケニスルノダ、サウスルト是ガ家庭用
ニハ逆モ使ヘナイ所ノ非常ニ煙ノ立ツモノ
ニナリマセウガ、ソレヲ瓦斯發生爐ヘ入レ
テ燃ヤスト瓦斯ノ力ガ強クナル、瓦斯ノ力
ガ強クナルノデアアルカラ效果ガ多イ、斯ウ
云フ結果ノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、
併シ是ハ經濟上ノ問題カラ行ツテドウ云フ
計算ニナルノカ分リマセヌケレドモ、現在
燒キ方ト云フモノハ難シクモ何モナイ、既ニ
盛ニ全國デヤツテ居ル、此ノ特許權ヲドウ
トカ斯ウトカト云フコトデナク、神奈川縣
ノ林務課長ノ木暮ナドト云フ人ハ、ズツト
前カラヤツテ居ル、其ノ他ニ於キマシテモ
特許ノ方法ニ依ラナクテモ簡單ニ今マデノ
窯ヲ使ツテドソノ燒イテ居ル、所ガ愈々斯
ウ云フヤウナ特殊會社ガ起ツテ是ガ瓦斯用
炭トシテ供給ヲ確保スルノダト云フヤウナ
コトデ出發ヲシテ參リマシテ、今マデ全國
デ類似ノ燒キ方デアリマセウケレドモ、今
現ニヤツテ居リマスル所ノ燒キ方ヲドウナ
サル御積リデアアルカ、是ハ絕對御止メニナ
ツテシマフ御積リデアリマスルカ、ソレハ
ヤツテモ構ハナイ、燒カシテ置イテモ構ハ
ナイカラ此ノ會社デ使フモノハ此ノ專賣特
許ヲ使フケレドモ、一般ニマダ他ニ燒イテ
モソレハ專賣權ハナクテモ構ハナイト言ツ
テ放任シテ置ク積リデアリマスルカ、ソレ
ヲ嚴重ニ取締ツテサウ云フモノハモウ燒カ
セナイ、此ノ特許ニ依ラナケレバ燒クコト
ガ出來ナイト云フヤウニ嚴重ニ取締ノ制限

ヲナサル御積リデアリマスカドウカ、其ノ
點ヲ御伺致シテ置キマス

○田中政府委員 只今ヤツテ居ルト云フ御
話ハ實ハ十三年以來此ノ方法デ農林省デ指
導シテ來タノデアリマス、ソレデアリマス
カラ此ノ指導ヲ受ケタ人が數千人アルト思
ヒマス、サウ云フ人達ガ相當ヤツテ居ルモ
ノガアリマスカラ、ソレヲ止メルトカ何ト
カ云フ問題ハゴザイマセヌノデ、來年ニ於
テ相當數量燒イテ貫ハナケレバナリマセヌ
カラ、益、是ハ普及シ獎勵シテ行ク積リデア
リマス、此ノ方法ニ依ラナイ類似ノ方法ニ
依ルモノハ、是ハ勝手デアリマス、勿論是
ハ普通炭トノ境ガ殆ド分ラナイヤウナ方法
モアル譯デアリマスガ、之ニ付テドウト云
フコトハナイノデアリマス

○堀内委員 只今ノ御話ノヤウナコトニナ
リマシテ、農林省デ指導シタ分モ燒クノダ、
ソレモ構ハズ益、燒カセルノダ、ソレカラ又
一方ノモツト別個ノ方法ヲ以テ燒クト云フ
モノモ燒カセルノダ、サウ云フ開放主義ヲ
執ツテオヤリニナルト云フコトデアレバ、
此ノ特許權ト云フモノハ何モ是ハ特許權ト
シテ此ノ木炭業界ニ出テ來ナイモノノヤウニ
考ヘテ一向差支ナイデアリマセウカ、今ノ
ヤウナ御話デアレバ他デヤツテ居ルモノモ
止メナイ、ソレカラ特許料モ取ラナイ、益、
ヤツテ貫フノダト云フコトデアレバ全ク自
由ニ任シテ此ノ瓦斯用木炭ト云フモノハ勝
手次第ニ全國的ニ製造シテ差支ナイト云フ
コトニナリマスト、此ノ特許ト云フヤウナ
モノガ一向譯ガ分ラナイコトニナルノデア
リマスガ、此ノ特許ト云フモノガ唯斯ウ云
フ特許ガアルト云フダケノ御話位ニ止ツテ、
何モ活動トカ活用トカスルコトハナイヤウ

ナコトニナルノデアリマセウカ

○田中政府委員 此ノ特許ノ方法製炭サ

レタモノニ付テハ、此ノ會社ニ必ズ賣ツテ

貫ヒタイ、サウシテ一般家庭用トカサウ云

フモノニ使用シナイヤウニ、又保健衛生上

ノ害ガナイヤウニシタイト云フ考デ居ルノ

デアリマス、只今ノ所實ハ此ノ方法ニ依ル

製炭ガソレ程多クナイノデアリマス、ト云

フノハ實ハソレヲ作ルコトハ作ルケレドモ、

果シテ賣レルモノヤラ賣レヌモノヤラト云

フコトモ、マダ實ハ作ル人其人ニハ非常

ニ疑問ガアルヤウナ場合モアルノデアリマ

ス、併シハ確實ニ使ヘルノダト云フコト

ニナリマス、此ノ方法ニ依ル製炭ノ増加

モアルト思ヒマス、ソコデ確實ニ此ノ會社

デ買ツテ呉レル、又會社トシテモ其ノ註文

製炭ト云フヤウナ 嚴格ニ言フ註文製炭

ニナルカドウカ知レマセヌガ、原木ノ手當

等ヲシテ此ノ方法デ以テ製炭シテ呉レ、サ

ウスレバ必ズ買フカト云フヤウナ結付キ

デ以テ、此ノ會社ニ炭ヲ取扱ハセル、サウ

シテ之ニ依ツテ分量ガ段々ト増シテ行キマ

シテ、一般家庭用木炭等ヲ自動車業者ノ方

ニ於テ御使ヒニナラヌト云フコトニナリマ

スレバ、一般家庭用ノ木炭ノ需給ニ付テモ

多少ノ緩和ヲスルト云フコトニナル、サウ

云フヤウナ考ヘ方デ指導シテ行キタイト考

ヘテ居ルノデアリマス

○堀内委員 今御話ノ點ヲ私ハ心配シテ居

ルノデアリマス、一向構ハズ澤山ニ製造シ

テ賣フト云フヤウナコトヲ言ツテ製造サセ

ルノハ宜イノデスガ、此ノ特許ノ方法ト云

フモノハ一ツシカナイノダ、此ノ特許ノ方

法ニ依ツテ拵ヘル炭ハ、皆コツチノ會社デ

強制的ニ買上ガルノダ、強制的トハ仰シヤ

ラナカウツヤウデスガ、若シ強制的デナケ

レバ任意のデアルガ、任意のナラバ一向差

支ナイ、差支ナイノデアリマスガ、此ノ方

法ニ依ツテ製造シタ炭ハ皆此ノ會社ニ一旦

買上ガルノダト云フコトニナリマス、此

ノ專賣特許權ト云フモノヲ發動シテ是デ理

窟ヲ付ケルヨリ外ナイ、併シ其ノ方法ニ付

テ色々吾々ノ方デモ此ノ專門ノ人ニモ聽イ

テ見タノデアリマスガ、此ノ特許ノ方法ニ

必ズシモ依ラナクテモ同ジ炭ガ出來ル、現ニ

神奈川縣ノ林務課長ノ木暮ト云フ人ノヤツ
テ居ルノハ違フ、又他ニモ先刻御話申シタ
ヤウナ譯デ、ソシテ炭燒位ニヤカマシイコ
トヤ大變ナ技術ハ要ラナイノダ、ソレデア
リマスカラ仔細ニ檢討スレバ此ノ特許ニ依
ラズシテ製造シテ居ルト云フモノガ相當ア
ラウト思フ、又違ツタ點モ出テ來ヤウト思
フ、サウ云フモノヲ何デモ彼デモ此ノ特許
ニ準ジテヤラセナケレバナラヌ、此ノ特許
ハ一ツシカナイノダカラ瓦斯用木炭ト云フ
モノハ之ニ依ツテヤルベキモノダト云フヤ
ウナコトヲ言ツテ、此ノ會社ニ強制的ニ持
ツテ來ナケレバナラヌト云フコトニナツテ
ハ困ル、ソレデハ減産ニナリマスカラ、サ
ウ云フコトデナシニ銘々ニ勝手ニ製造サセ
ルヤウニナサツタラドウダト云フト、ソレ
ハ勝手ニ製造サセルノダ、斯ウ仰シヤル、
ソコヲ念ヲ押シテ置ク譯デアリマス、此ノ
後ノ御話ヲ伺フト、ヤハリサウ云フコトデ
ナシニ、此ノ特許ノ方法ヲ何處マデ擴メル
カ、之ヲ何處マデ御解釋ナサルカ知ラヌケ
レドモ、一般ノ方法デ製造シテ居ツタモノ
ヲ全部此ノ特許ノ方法ニシテシマフ、一體
瓦斯用木炭ナドト云フモノハ、ドレ程要ル
カト云フ數量モハツキリ分ラヌト云フ、ソ

レハ其ノ通りデアリマセウ、ソレデア
リマスカラ、私共ハ先程來農林省ニモ行
ツテ陳情シタ趣旨ハ餘リ干涉ナサルナ、一
體自動車用ノ木炭ハ自動車ヲ持ツテ居ル者
程痛切ニ感じテ居ルモノハナイカラ、
農林省デ色々コトヲ言ツテ貫ハヌ方宜
イノダ、色々コトヲ言ツテ貫ヘバ却テ困
ルノダ、自分ノ所デ車ガ動カケレバ商賣
ニナラナイノデアリマスカラ、炭ヲ燒クナ
リ炭ヲ買フナリ何トシテデモ車ヲ動かスコ
トニスル、車ヲ動かサナケレバ會社ノ
維持モ出來ナイ、個人トシテモ其ノ通りデ
アリマス、然ルニ色々中間會社ヲ作ツタ
リ詰ラヌコトヲシテ干涉スレバ、ドウシ
タラ宜イカト云フコトニナツテ却テ其ノ業
界ノ前途ニ迷フノデアル、デスカラ政府ト
シテ斯ウ云フ方法モアルノダ、專賣特許モ
斯ウ云フモノガアル、是ハオ前達ニ開放シ
テヤルカラ、是デモ宜シ、他ノ方法デモ宜
イカラ、瓦斯用木炭ト云フモノヲ作ツテ、
之ヲ代用燃料トシテ勉強シテ車ヲ動かセ、
斯ウ云フ獎勵ノ大方針ヲ示シテ戴ケバソ
レデ宜シイ、ソレヲ其ノ解釋ニモ色々解釋
ヲ付ケナケレバ分ラナイヤウナ説明方法ヲ
以テ、ソレデ指導シタラト稱シテ、ドウシ
テモ製造シタ木炭ハ皆此ノ會社ニ一旦集メ
ナケレバナラヌトカ、集メテ此ノ會社カラ
配給ヲ受ケナケレバナラヌトカ、サウ云フ
ヤウナコトヲナサルカラ、木炭ガ減産スル
ヤウニナルノダラウト私共ハ思フ、デアリ
マスカラサウ云フヤウナコトハ餘リ干涉ナ
サルナ、國家ノ爲ニ「バス」用木炭ガ必要デア
ルト云フナラバ、其ノ製造方法ヲ教ヘテヤ
レバソレデ宜イノデナイカ、サウシテ銘
銘ニ任意ニヤラシテ、車ヲ動かシナサイ、斯

ウ云フ程度ガ一番宜イト私共ハ尙ホ今日モ
考ヘテ居ル、ソコヘ此ノ會社ガ出來テ、強
制的ニ製造シタ木炭ヲ引上グルト云フコト
ニナリマス、何處ヲ根據トスルカト云ヘ
バ、此ノ會社法ト特許法ト云フモノヲ以テ
抑ヘ付ケルコトニナル、局長ノ先回ノ御答
辯ニ依ルト、澤山燒イテ賣フノダ、サウシ
ナケレバ困ルカラ特別ニ燒カセル積リダト
言ハレルガ、ソレハ自由ニ燒カセルノデナ
クシテ、コツチカラ獎勵シテ燒イテ、コツ
チヘ持ツテ來イ、俺ノ方デ處分スルノダ、
斯ウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、ソレ
ガ困ル、デスカラ此ノ點ヲ何トカ自由ニ燒
カシテ、自由ニ使ハセルト云フヤウナ方法
ニナルカドウカ、此ノ會社ガ出來タ以上ハ
サウ云フコトハナラヌノカドウカト云フコ
トヲ、今伺ツテ居ル譯デアリマス、モウ一
ツ其ノ點、業者ノ安心ノ出來ルヤウニ、御
解釋ガ出來レバ伺ツテ置キタイ

○田中政府委員 此ノ會社ニ賣ルヤウニサ
セルノハ、此ノ法律ノ十八條ニ依ツテ賣ル
ヤウニサセルノデアリマス、實ハ「バス」其ノ
他ノ業者ノ方カラ、昨年ハ相當陳情ヲ受ケ
タノデアリマス、木炭ノ世話ヲシテ呉レト
云フ陳情ヲ相當受ケマシタ、吾々トシテモ
非常ニ實ハ困ツタ譯デアリマスケレドモ、
何シロ吾々ノ手デ支配スル炭ガアル譯デモ
アリマセヌシ、實ハ非常ニ苦慮シテ、出來ル
ダケノ方面ニ對シテ手當シテヤツタリシテ、
ヤルニハヤツタ譯デアリマスケレドモ、中
木炭飢饉ノ際デアリマスカラ、思フヤウ
ニ參ラナカウタノハ、非常ニ吾々トシテモ
遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス、年末ノ如
キハ此ノ十五日マデシカ「バス」ノ木炭ガナ
イノダカラ、何トカ農林省デヤツテ貫ヒタイ

ト云フヤウナコトガ何度トナクアツタノデアリマス、併シ吾々トシテハドウニモ手ノ届ク範圍シカ出来ナイノデアリマスカラ、非常ニ御氣ノ毒ニ思ヒナガラ、十分ノ御手當方出来ナカツタノハ、甚ダ遺憾デアアルデアリマス、サウ云フヤウナ關係モアリマスカラ、セメテ公衆ノ交通機關デアアル「バス」會社等ニ付キマシテ、斯ウ云フ事變中「ガソリン」ノ足ラス時デアリマスカラ、不自由ノナイヤウニスル爲ニハ、ドウ云フ方法ニシタラ一番宜イデアラウカ、而モ其ノ木炭ニ付テハ先程申上ゲマシタヤウニ、普通木炭ニ對シテモ影響ガナク、「バス」會社其ノ他自動車方面ニ於キマシテハ、確實ニ能率ノ宜イ炭ガ手ニ入レラレルニハ、ドウシタラ一番宜イダラウト云フコトヲ考ヘタ結果、斯ウ云フヤウナ會社ガ一番宜イダラウ、是ハ一舉ニシテ考ヘラレタノデアリナイノデアリマシテ、昨年ノ四月頃カラ色々々研究サレテ、今日マデニ來テ、結局ココニナツタノデアリマシテ、吾々トシテハ干渉ドコロデハナイ、自動車業者ノ方面ニ於ケル燃料ヲ、少イナガラモ木材木炭ノ中カラ、此ノ方面ダケハ十分ニ供給ヲ確保シタイト云フ考デヤツテ居ル譯デアリマス

○堀内委員 大變業者ノ爲ニ御心配ヲ下サツテ居ル點ハ、大イニ御禮ヲ申上ゲル譯デアリマスガ、私共ノ方デハ其ノ御解釋ガ困ル、サウ云フコトヲ御心配下サツテ、斯ウ云フ結果ニナレバ炭ガ出テ來ルト云フガ、却ツテ逆效果ヲ齎ラスコトニナリハシナイカ、例ヘバ昨年ニシテモ私共モ度々陳情ニ行ツテ局長ニ御目ニ掛ツテ御話シタコトモアル、地方ヘ參ツテモ全ク炭ガ買ヘナイノデアリマス、ナイカラト云ツテ自分デ

其ノ炭ヲ燒カセル譯ニ行カズ、又各府縣ニアカト云ツテ買ヒニ行ケバ、縣外移出ハ禁止サレテ居ル、專賣用ノ瓦斯木炭ハ幾ラ出ルカト云ヘバ、試験用ニスルノダト云フヤウナコトヲ云ツテ中々實用ニ適スル程出テ來ナイ、サラバト云ツテ一方自動車ノ運轉ト云フモノヲ止メルコトハ絶對出来マセヌ、ソコデ進退谷ツテ吾々ノ陳情トシテ現ハレタモノハ、自動車用木炭ノ事ハ一切業者ニ委シテ呉レテハドウダ、度々申上ゲルコトデアリマスガ、サウシタラ業者ハ自分ノ所要ダケハ何處ヘデモ行ツテ木炭ヲ買ツテ來ルト云フヤウナコトヲ陳情シタノデアリマスガ、最初ソレデハ乗合協會ト云フヤウナモノガ業者ノ集合團體デアレバ、其ノ集合團體ニ委セルト云フコトガ宜カラウト云フ御意見モアツタラシイ、サウ云フコトニナレバ銘々ガ直接ニ自分ノ糧ヲ準備スルノデアルカラ、用意ガ出來ルカラ、サウ云フコトニシテ貫ヒタイト云フ話モ、或ル程度マデ進ダガ、ソレハ又駄目ニナツテシマツタ、サウシテ今度ハ組合ヘ任セル、薪炭商組合ト産業組合ト云フヤウナモノガアツテ、サウ云フヤウチモノヘドウモ任セナケレバナラヌヤウデアルト云フ、サウ云フモノニ任シテ、サウシテ途中ニサウ云フ階段ヲ附ケルト、却テ圓滑ニ行カナイト云フコトヲ屢、申シタノデアリマスガ、ドウモサウ云フ風ニスルヤウニ省議ハ決定シサウダト云フヤウナ話ニモ伺ツタ、ソレカラサウ決マルカト思ツテ見テ居ルト、ソレモ決マラナクテ、今度ハ吾々ガ同フ所ニ依ルト、三度目ニ出テ來ク方法ガ、此ノ會社案デアリマス、然ラバ此ノ會社案ト云フモノダケダ旨ク行カト云フノ

デアリマスガ、先刻局長ノ御話ニモ、一體炭ガドレ程要ルカモ能ク分ラスト云フヤウナコトヲ一寸仰ツシヤツタ、サウ云フヤウナコトデ、斯ウ云フ會社ヲ拵ヘテ、果シテ此ノ會社ガ旨ク行カドウカト云フコトニ、非常ニ懸念ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、ソコデ尙ホ伺ヒタイノデアリマスガ、此ノ會社ヲ拵ヘテ瓦斯用木炭ヲ以テ使ハセルト云フコトハ、炭ノ上カラ言ツテモ、國家經濟カラ考ヘタラバ、幾分ノソコニ、七分燒トカ、八分燒トカ云フコトデ、利益ガ出テ來ルカモ知レマセヌケレドモ、左様ナコトヲ言ツテ居ラレヌ場合ガアル、併シ瓦斯用炭ガ間ニ合ハスト云フ時ニ、車ヲ止メテ置ク譯ニ行カヌ、普通ノ木炭デモ車ハ動ク、唯問題ハ瓦斯用木炭トシテ斯ウ云フ方法デ燒ケバ、ソレダケ少シバカリ能率ガ良クナル、經濟上幾ラカ好クナルト云フコトダケデ、普通ノ木炭ヲ使ツテモ、現ニ車ハ今動イテ居ル、サウ云フ場合ニハ普通ノ木炭ヲ使ツテモ宜イノデアルカ、一切自動車ハ瓦斯用木炭デナケレバイケナイノデアルカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○田中政府委員 ソレハ足りナイ燃料デ車ヲ動かスト云フ譯ニ參リマセヌノデ、勿論普通ノ木炭ヲ使ハレテ差支ナイノデアリマス、唯瓦斯用木炭ダケハ此ノ會社ニ賣ツテ貰ハウ、斯ウ云フダケノコトデアリマス

○堀内委員 サウシマスト瓦斯用木炭ガ足リナイ、瓦斯用木炭ガ手ニ入ラナイト云フ場合ニハ外ノ普通ノ木炭ヲ勝手ニ使ツテモ差支ナイノデアリマスガ、尙ホ其ノ點ヲ確メテ置キタイ

○田中政府委員 差支ナイノデアリマス

○堀内委員 ソレヲ使ツテ差支ナイト云フ御言明ヲ得テ其ノ點ハ多少安心モ致シマスガ、其ノ炭ヲ得ルノニヤハリ瓦斯用木炭株式會社ノ手ヲ經ナケレバ、ソレヲ受取レヌノデアリマスルカ、或ハソレハ任意ニ外カラ——外ノ木炭會社モウ一ツアルヤウデアリマスルガ、其ノ木炭會社ノ方カラ普通木炭デアアルカラ得ルノデアリマスガ、ソレデナケレバモツト別ニ任意ニ、ドウチニモ依ラズニ使ツテ差支ナイノデアリマスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○田中政府委員 外ニ木炭會社ハナイ、是ダケガ吾々ノ考ヘテ居ル木炭會社デアリマスガ、此ノ會社ヲ通ズルバカリデハナイノデアリマス、任意デ結構デアリマス

○堀内委員 サウ云フコトニナリマス、此ノ瓦斯用木炭會社ト云フモノノ活動範圍ト言ヒマスガ、必要範圍トデモ申シマスガ、ソレハ非常ニ狭イモノニナツテシマフ、斯ウ云フモノハ追跡メテ狭イモノニシテシマツタ方ガ宜イ、私ノ方ハ其ノ方ガ結構、成ベク斯ウ云フ會社ハナイ方ガ宜イと思ツテ居ルカラ、其ノ活動範圍ガ狭クナルコトハ結構デアリマス、ソレデハ今ノ局長ノ言明ニ依リマシテ、私共ハ業者ノ方ニ於テ、瓦斯用木炭ガ手ニ入ルトカ入ラストカ云フコトニモ程度ハアリマセウケレドモ、普通考ヘテ申々手ニ入ラナイト云フ時ニハ、他ノ普通木炭ヲ使ツテ一向差支ナイト云フコトニ考ヘテ居ル、今局長ノ御言明ノ通りデアリマスカラ、左様御承知置テ願ヒタイト思ヒマス、ソコデ尙ホ御尋致シマスルガ、茲ニ日本瓦斯用木炭株式會社ハ瓦斯用薪炭ノ供給ト云フコトガ第一條ニ書イテデアリマスガ、薪ノ字ハドウ云フ意味デ御書キニナツタカ、今マデノ御話モ段々聞き、

又此ノ瓦斯用木炭ノ趣旨カラ考ヘテ見テモ、木炭ハ今ノ御話デ一通リ分ツタノデアリマスガ、薪炭ト薪ノ字ガ入ツテ居リマスガ、瓦斯用ノ薪ト云フモノガ一體アルノデアリマスカ、又薪ヲ此ノ會社ノ扱ヒノ中ニ入レタノハドウ云フ理由デアリマスカ

○田中政府委員 今朝程モ御説明ヲ致シマシタガ、モウ専門家デオイデニナルヤウデアリマスカラ、薪自動車ノアルコトハ吾々ヨリモ能ク御承知ト思ヒマス、併シ薪ニ付キマシテハ現在ノ所此ノ會社デ取扱フコトハ考ヘテハ居ナイノデアリマス、併シ薪炭ハ相聯關スルモノデアリマスカラ、將來必要ガ生ジマシテ自動車業者ヘノ供給ノ必要ガ自然ニ起ツテ、ドウシテモ斡旋シナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、其ノ時ニハ薪ニ付キマシテモ考ヘタイ、只今ノ所ハ薪ニ付テハ考ヘテ居ナイノデアリマス

○堀内委員 サウ云フ點ガドウモ吾々ノ考ト政府ノ考ニ非常ニ扞格ガアル、御話ノ通り、薪ニハ瓦斯用ノ薪ト云フモノハ全クナイ、風呂場ニ焚ク薪デモ、竈ニ焚ク薪デモ、瓦斯發生爐ニ打込ム薪デモ同ジ薪デ、加工スル必要モ何モナイ、一方木炭ト云フモノハ、普通ノ木炭ヨリモ、七分焼ニスルト云フヤウナ考モアツテ、專賣特許モ取レタデアリマセウケレドモ、薪ニハ全クソナ差別ハナイ、ソレヲ此ノ法案ノ中ニ書イテ、他日薪ニモサウ云フ必要ガ起ツタラバ考慮スルト言フノデスガ、ソナ必要ハ私ハ何時ニナツテモ起ル筈ハナイト思フ、薪ハ薪デアツテ、別個ニ薪ガ何ノ用事ニ使ヘヤウガ之ヲ茲ニ持ツテ來テ瓦斯用木炭ト一緒ニ薪ヲ書イテ置ク、サウシテ薪モ亦他日サウ云フ時期ガ來ルカモ知レヌト言ハレルコトハ、一體下

ウ云フ時期ガ來ルノデアリマセウカ、薪ニモサウ云フ瓦斯用トカ何トカ專賣特許デモ取ツテ加工シナケレバナラヌト云フヤウナコトガアルノデアリマスカ、茲ニ薪ト云フ一字ヲ加ヘテ、瓦斯用薪炭ト二字書イテアル、私ハ初メ斯ウ思ツタ、甚ダ失禮ト申分ダケレドモ、世間ニ薪炭商ト云フ者ガアル、ソコデ木炭ト薪炭ト同ジヤウナ意味ニ考ヘテ居ルノデアアルマイカ、サウ云フコトデモアルマイガ、薪ハ薪、木炭ハ木炭ト云フノデ解釋ニ苦シデ居リマシタガ、サウ云フヤウナコトデアレバ、イツソ此ノ薪ナドト云フ字ハ取ツテシマツテ、瓦斯用木炭ノ供給ヲ確保スルト云フヤウニシタ方ガハ宜イヤウナ、先ニナツテサウ云フコトガ起ツタラ、又其ノ時ニ考ヘルンダト云フヤウナ暢氣ナコトナラ止メタ方宜イデヤナイカト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイ

○田中政府委員 御承知ダラウト思ヒマスガ、瓦斯用ノ薪等ニ付キマシテハ、發生爐ノ方モ研究サレテ居リマスシ、薪其ノ物、所謂適性薪ニ付テモ現ニ研究サレツツアル譯デアリマス、ドウシタナラバ能率ヲ擧ゲラレルカ、其ノ薪ノ「タール」ノ問題ニ付テモ色々研究サレテ居リマス、ソレヲ吾々ハ考ヘテ居リ譯デアリマス、結局自動車業者ノ方ノ燃料ノ供給ヲドウシタラ一番確保シテ行ケルカト云フコトニ「スタート」ヲ發シテ居ル譯デアリマシテ、サウ云フ考カラ致シマシテ、萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス

○堀内委員 初メ是ハ私モドウカト思ツテ遠慮シテ居リマシタガ、局長ニ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス、只今ノ御話ノ通り自動

車ノ瓦斯發生爐ヲ薪ノ瓦斯發生爐ニスルカ、木炭ノ瓦斯發生爐ニスルカト云フコトハ、確ニ是ハ問題デアアル、此ノ專ヲ御研究ニナツテ此ノ法案ヲ御出シニナツタト云フコトハ、サモアルベキコトデアアラウト思ヒマス、日本ノ代用燃料車ハ木炭車ガ將來發達シテ行クカ、薪ノ發生爐ノ方ガ發達シ行クカト云フコトハ、國策上重大ナ問題デアリマス、サウ云フコトヲ考ヘテ薪ノ必要ガアツテ、薪ノ方ガ發達シテ行クト云フコトデアアルナラバ、薪ノ方ノ獎勵ヲナサラナケレバナラヌ、木炭ノ方ガ發達シテ行クモノナラバ、木炭ノ方ヲ獎勵シナケレバナラヌト云フコトハ御尤モデアリマス、其處マデ農林省ガ御考ニナツテ、此ノ案ヲ御出シニナツタト云フコトデアレバ、ソレハ洵ニ結構ダト私ハ思フ、從來サウ云フコトハ商工省デ能ク研究シテ居ラレタヤウデアリマステレドモ、燃料ニ使フ瓦斯用木炭トカ、薪トカ云フモノハ、是ハ自動車ノ食糧デアリマスカラ、ソレヲ供給スルガ爲ニ、斯ウ云フ組織ヲ作ラウト云フコトハ、其處マデ研究シタ上デナイト、ソレハ駄目デス、ソコデ一ツ伺ヒマスノハ、一體日本ノ自動車ノ前途ハ、薪ト木炭ト國策上下チラヲ發達セシムルコトガ宜イノデアアルカ、或ハ又ドチラガ發達スベキ運命ヲ持ツテ居ルカト云フコト、是ハ今話ガ其處ヘ一寸關聯シテ參リマシタカラ、一應御意ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○田中政府委員 只今技術上及ビ經濟上ノ問題ガ殘サレテ居ルノデ、一概ニ薪ガ宜イト言フ譯ニモ行カヌシ、又木炭ニ限ルト言フ譯ニモ行カヌ程度ノヤウデアリマス、隨ヒマシテ結局研究ガ進ンデ參リマシテ、木

炭ガ宜イカ、薪ガ宜イカト云フ問題ガ決定サレルト思ヒマス、ソレデ吾々専門的ニ研究シテ見ナイ者ガ、今研究ノ途上ニアル問題ヲ右左ト斷定スルノハ早計ダト思ヒマスノデ、其ノ點ハ御遠慮申上ゲタイト思ヒマス

○高田委員 一寸ソレニ關聯シテ伺ヒマスガ、サウ云フコトニナルト、先刻ノ大臣ノ御説明ト矛盾シテ來ル、ナゼカト云フト、專賣ニスル理由ハ結局瓦斯用木炭ハ炭素カ何カ發生シテ、ソレヲ使用スルコトニ依ツテ人體ニ非常ニ危險ヲ及ボスカラ專賣ニシナケレバナラヌト云フ、其ノ根據ハ薪ガ入ルトナクナツテシマフ、サウデハナイノデスカ、サウ云フヤウニ薪マデ專賣ニスルト非常ニ廣イ意味ノ專賣ニナリ、薪ヲ營業トスル人々ノ薪ヲ賣買スル權利ニ付テハ、國ガ之ヲ賠償スルト云フコトニナラナケレバナラヌト思フガ、其ノ點ハ先程ノ大臣ノ御説明ト違フコトニナル、吾々ハ薪ハ附タリデ、將來何十年カノ後ニ必要ニナルカモ知レヌト云フ解釋デアルカラ黙ツテ居ツタガ、結局專賣ハ何ガ爲ニスルノデアアルカト云フコトニナルト、瓦斯用木炭ヲ使用スルコトニ依ツテ人體上危險ガアルカト云フノデ、亞片カ何カラ專賣スルヤウナ意味ノ御説明デアツタ、所ガ薪マデモ入ルト云フコトニナルト、其ノ意味ハ非常ニ弱クナリ、結局薪マデ專賣スルト云フコトニナルト、米ヲ專賣スルト同ジコトニナツテ、賠償モシナケレバナラヌガ、其ノ薪マデ入レル理由ヲ伺ヒタイ

○田中政府委員 只今ノ所木炭ダケヲ考ヘテ居ルト云フノハ勿論サウデアリマスガ、此ノ會社トシテドノ程度ニ此ノ薪ヲ取扱ハ

ル

セルカト云フコトハ殘サレタル問題デアリマス、薪マデ極力專賣的ニヤラセルカドウカト云フ問題ハ、今後ノ問題デアリマシテ、極力專賣的ニ行カケレバナラヌト云フコトハ、又其ノ時ノ問題ニナル譯デアリマス

○堀内委員 其ノ點私モ一ツ聽カウト思ツテ居ツタノデスガ、一體此ノ法案ヲ作ルノニ、ソナナ冗談事デハナイト思フ、日本國民ヲシテ強ヒテ此ノ法案ニ服從セシメナケレバナラヌヤウニ罰則モ規定シテアル、國家ガ配當補償モ決メテ居ル、サウ云フ時ニ於キマシテ茲ニ文字ヲ挿入スル上ニ於テ、目的物トナツテ居ルモノガ薪ト炭ト二ツニナツテ居ル、其ノ二ツノモノヲチヤント茲ニ現ハシテ薪炭ト書イテアル、所ガ其ノ點ニ付テ其ノ基礎、根本ニ付テドウ云フ見地カラスルノカト云フコトヲ聽ケバ、マダ研究ガ付イテ居ナイ、研究ガ付イテ居ナイカラ、何レ他日何年カノ後ニハ薪モ其ノ必要ガアルカモ知レナイカラ、茲ニ書イテ置クト云フコトハ一體ドウ云フコトナンデス、ソナナ冗談事デ法律ヲ拵ヘテ日本ノ全國民ニ強制シテ、之ニ準據シロ——殊ニ「バス」ナドハ變ナコトラスレバ止ツテシマフ、「バス」ガ止ツテシマヘバ公衆ハドレ程不便ヲ感ズルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラナイ、目的物トシテ薪ト炭ト二ツ茲ニ表ヘシテ居ル、然ラバ薪ノ任務ハドウデアアルカ、炭ノ任務ハドウデアアルカ、又交通事業トシテ「バス」ガ發達シテ行ク上ニ付テノ基礎ハドウデアアルカト云フコトヲ十分ニ検討サレテ、斯ウ云フ必要ガアルカラスウ云フモノニナルノダ、之ヲ獎勵シテ斯ウ云フ方法ニシナケレバナラヌノダト云フ所カラ出テ來ナケレバナラヌ

色々ナモノガ出テ來ルヤウデアアルガ、今ノヤウナ話デ、マルデ研究モシテナイ、薪モ他日其ノ必要ガアラウト云フヤウナ、ソナナ子供ヲ騙スヤウナコトデ法案ヲ出スト云フコトハ國家ノ爲ニ實ニ憂フベキコトデアルト思フ、何處マデモ今ノヤウナ御答辯デ吾ヲ満足サセヨウト思ヒナサルカモ知レヌガ、ソレデハドウモ満足出來マセヌ、デア

ルカラ將來薪ヲ專賣ニスルナラヌル、斯ウ云フ見地ニ立ツテ斯ウ云フコトダト云フコトヲ吾々ノ納得行クヤウニ御話願ヒタイ

○田中政府委員 「バス」ガ止ルカモ知レヌト云フヤウナ度々ノ御話デアリマスガ、吾々ハ實ハ自動車業ノ方ノ關係ヲ、最近ノ木炭飢饉ノ結果非常ニ心配シテ擧句、關係官ノ方デモ相當研究サレマシテ、先程カラ申上ゲルヤウニ、自動車業者ノ燃料ノ補給、足りナイ木炭ノ中カラ交通關係ノ自動車業ダケハ安全地帯ニ置キタイ、他ノ方ノ木炭ハ多少消費節約シテ不自由ガアルニシテモ、此ノ方面ノ木炭ダケハ十分確保シタイ、隨ヒマシテ原木ノ手當等モシテ專門的ニ「バス」用ノ木炭ノ生産ニ當ルヤウニシタイ、サウ云フヤウナ考カラ此ノ會社ヲ考ヘタ譯デアリマシテ、此ノ爲ニ却テ「バス」ノ方ガ止ルト云フヤウナコトハ實ハ豫想モシテ居ナイノミナラズ、サウ思ツテ居ナイノデアリマス、隨テ將來專用薪ト云フモノガ出來タ場合ニ於キマシテモ、他ノ薪ノ問題ハ棄テ置イテモ——棄テ置イテト言フト語弊ガアリマスガ、節約シテモ是非此ノ自動車業者ニ對スル專用薪ノ供給ハ確保シタイ、サウ云フ考ヲ持ツテ薪ヲ入レテ居ルノデアリマシテ、薪ノ問題ガドウシテモ確保出來

ナイト云フヤウナ情勢ニナリマスレバ、此

ノ會社ヲシテ相當強力ナ方法ヲ以テモ、薪ノ確保ヲ圖リタイト云フ考デ居ル譯デアリマシテ、其ノ點木炭ト同様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ノヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ止ラナイヤウニ公衆ニ不便ヲ感ジナイヤウニシヨウカト云フコトヲ始終御考ニナツテ居ルト仰シヤルガ、サウ云フ此ノ方針カラ御考ニナルナラバ、先ヅ以テ業者ノ意見ヲ御聽キニナル必要ガアラウト思フ、中ニハ業者トシテハ我儘ナコトヲ言フモノモ數ノ中ニハアルカモ知レマセヌケレドモ、多數業者ノ希望ヲ御參考ニナツテ御立案ナサラナケレバ、適切ナル對案ハ得ラレヌト思フ、然ルニ今日マデ自動車業界ノ代表ガ木炭問題ニ付テ屢、農林省ニモ陳情ヲサレタヤウデアリマスガ、私モ現ニ一二同僚ツタコトガアルノデアリマスガ、更ニ業者ノ意見ト云フモノハ御取上ゲニナラナイ、デアリマスカラ私共斯様ナ所デハイガミ合ツテ議論スルコトハ好マシカラヌコトデアリマスケレドモ已ムヲ得ナイ、木炭問題ニ付テハ此ノ專賣木炭ノ產出ヲ業者ノ團體ニ任シテ吳レト言ツタトキ、一旦ハ任セルカノ如キ態度ヲ執ラレルカト思フト、又ソレハ任セナイ、他ノ組合ヘ任セルトカ產業組合ガドウシタ、薪炭組合ガドウシタトカ言ツテ、其ノ方カラ苦情ガ來タカラソレヲ考ヘナケレバナラヌトカ、言ツテ居ラレタ様デアリマシタガ、又今度ハ會社ヲ拵ヘテヤラナケレバナラヌト云フノデス、デアリマスカラマルデ自動車業界ノ希望モ實狀モ度外シ別ノ觀點ヲ置カレテ研究サレテ居ルモノデアアルカラ、ドウシテモガツチリ合ツテ來ナイ、結

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

○會社ヲシテ相當強力ナ方法ヲ以テモ、薪ノ確保ヲ圖リタイト云フ考デ居ル譯デアリマシテ、其ノ點木炭ト同様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○堀内委員 御話ヲ伺ヒマス、洵ニ結構ノヤウニ思ヒマスガ、如何ニシテ自動車ノ止ラナイヤウニ公衆ニ不便ヲ感ジナイヤウニシヨウカト云フコトヲ始終御考ニナツテ居ルト仰シヤルガ、サウ云フ此ノ方針カラ御考ニナルナラバ、先ヅ以テ業者ノ意見ヲ御聽キニナル必要ガアラウト思フ、中ニハ業者トシテハ我儘ナコトヲ言フモノモ數ノ中ニハアルカモ知レマセヌケレドモ、多數業者ノ希望ヲ御參考ニナツテ御立案ナサラナケレバ、適切ナル對案ハ得ラレヌト思フ、然ルニ今日マデ自動車業界ノ代表ガ木炭問題ニ付テ屢、農林省ニモ陳情ヲサレタヤウデアリマスガ、私モ現ニ一二同僚ツタコトガアルノデアリマスガ、更ニ業者ノ意見ト云フモノハ御取上ゲニナラナイ、デアリマスカラ私共斯様ナ所デハイガミ合ツテ議論スルコトハ好マシカラヌコトデアリマスケレドモ已ムヲ得ナイ、木炭問題ニ付テハ此ノ專賣木炭ノ產出ヲ業者ノ團體ニ任シテ吳レト言ツタトキ、一旦ハ任セルカノ如キ態度ヲ執ラレルカト思フト、又ソレハ任セナイ、他ノ組合ヘ任セルトカ產業組合ガドウシタ、薪炭組合ガドウシタトカ言ツテ、其ノ方カラ苦情ガ來タカラソレヲ考ヘナケレバナラヌトカ、言ツテ居ラレタ様デアリマシタガ、又今度ハ會社ヲ拵ヘテヤラナケレバナラヌト云フノデス、デアリマスカラマルデ自動車業界ノ希望モ實狀モ度外シ別ノ觀點ヲ置カレテ研究サレテ居ルモノデアアルカラ、ドウシテモガツチリ合ツテ來ナイ、結

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第二十回 昭和十五年三月十九日

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

局仕事ヲスル者ノ希望トガツチリ合フヤウニシナケレバ業界ノ發達ハ出來ナイ、業界ノ發達ガ出來ナイヤウデアレバ「バス」ノ運行デモ十分ニ行カナイト云フ結論ニ到達スルノデアリマス、デアリマスカラ今ノヤウナ事ハ大變御心配ニナルコトハ結構デアリマス、ドウシタナラバ「バス」ヲ止メナイヤウニ公衆ニ便利ヲ感ゼシメルコトガ出來ルカト云フ御心配ハ結構デアリマス、然ラバ業界カラモアタノ仰シヤツタヤウニ數回陳情ニモ接シタノデアリマスガ、此ノ會社案カラ見マスレバ、其ノ立案ハ根本カラ違ツテ居ル、サウ云フコトヲシテ業界ノ希望ニ反スルヤウナ案ヲ出シテ、是デ業界ガ今困ツテ居ルノヲ救ハウト云フノハ、ソレハ少シ見當違ヒノ話ニナルト思フ、殊ニ今薪ノ御答辯デゴザイマスガ、ソレ以上追究シテモ仕方ガナイコトカモ知レマセヌケレドモ、兎ニ角薪ト云フモノニ手ヲ掛ケテ、薪ノ統制ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニマデ會社ガ及ンデ來ルト云フコトニナリマスルト、是ハ中々大變ナ問題デアアル、併シ今日マデ此ノ委員會ニ於テ木炭不足ノ原因ハ多々質問ナサレタ方ガデアリマスガ、木炭ノ公定價格ダケヲ決メテ、薪ノ公定價格ヲ決メナイモノデスカラ薪ガドシク高クナル、薪ガ高クナレバ薪ハ木炭ノ原料デアリマスカラ、木炭ハ出テ來ル管ハナイ、ダカラ農林省ノヤリ方ハ木炭ヲ出テ來ナイヤウニシテ居ル、一方ノ袋ノ口ヲ抑ヘテ居ル、サウ云フコトヲスレバ木炭ハ出テ來ル管ハナイノデアアル、今ノヤウナ御答辯ハ多少其ノ意味トハ違フヤウデアリマスケレドモ、ドウモ是デハ吾々納得シ得ナイノデアリマスガ、唯問題ハ先刻來申上ゲタ通り、

斯ウ云フモノヲ拵ヘテ、サウシテ此ノ會社ノ株式ハ之ヲ見マスルト一般ノ公衆カラ募集シテヤルト云フコトニナツテ居ル、是ハ唯政府ノ四朱ノ補給ガアルダケデスガ、四朱ノ補給デ會社ガ出來ル御見込ガアルト思フノデアリマスカ、此ノ點モ伺ツテ置キタ、是ガ政府モ半額出資スルト云フナラ別デスガ、サウデモナイヤウデスガ、ドウ云フ方面カラ此ノ株式ヲ募集ナサルノデスカ

○田中政府委員 此ノ株式ハ「バス」自動車業者及ビ生産者側ノ産業組合系統ノ方面カラ資本ヲ集メル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ既ニ御承知ダト思ヒマスガ、今マデノ相談ニ於テサウ云フヤウナコトニ進ンデ來テ居ルノデアリマス

ノ問題カラドウ云フコトニナルカ、非常ニ高イ炭ヲ供給スルヤウナコトニナルノデヤナイカ、デアリマスカラ七分燒ノ炭ヲ拵ヘテ瓦斯ノ量ガ強イ、能率ガ上ルト云フコトニ於テ幾ラカ普通ノ木炭ヨリ經濟的價値ハ認メマスガ、値段ニ於テズツト割方ノ惡イモノニナルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ邊ハスツカリ御調査ニナツテ居リマス

○田中政府委員 既ニ御承知ノ通りデアリマシテ、現ニ取引サレテ居ル譯デアリマス、普通木炭トノ見合ニ於テ此ノ値段ヲ決メナケレバ、其ノ生産ヲ確保スルト云フコトモ困難デアリマスシ、又消費者側ノ立場カラ見マシテモ、普通ノ木炭ヨリモ事實ハ高イト云フコトニナリマスレバ、其ノ目的ヲ達シナイノミナラズ消費者側ニ不利益ヲ齎シマスルノデ、其ノ邊ハ普通木炭、其ノ他需給關係、消費者ノ立場ト云フコトヲ考ヘテ價格ヲ協定シタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ會社ノ中心ガ消費者側ノ出資ニ依ツテ作リタイト云フ考モ其ノ點ニアルノデアリマス、一般的ニ營利的ニ中間ノ利ヲ取ルト云フヤウナ考ヲ捨テテ、消費者自ラノ團體ニ依ツテ消費方面ニ於テ不利益ノ來ナイヤウニ此ノ會社ヲ設立テタイト云フ考デ居ルノデアリマス

○堀内委員 最後ニモウ一點、先刻局長カラ御話ノ專賣特許料ノ問題ニ付キマシテ、是ハ此ノ株式會社ガ價格ヲ決メルヤウニナルノデアリマセウカラ、サウ云フモノガ入ルカ入ラヌカト云フコトデ、價格ニ等差ガアルヤウデアリマスガ、私ハ個人ノ資格デ二人ノ特許權デアルカラ、是ハ中々役所デ押付ケル譯ニハ行キマスマイ申上ゲタノデアリマスガ、役所ノ方デハ承認ガアルト云フ先刻御答辯デアリマスガ、承認ト云フコトハモウソレハ無料デ此ノ特許權ト云フモノハ提供セシメテ、此ノ會社ニ無料提供スルノダト云フコトノ承認、サウ云フ風ニ解釋シテ差支ナイノデアリマス

○田中政府委員 先程承認ト申上ゲマシタノハ、他ノコトデ申上ゲタノデアリマス、是ハ農林省ニ對シテ特許料ヲ取ラヌト云フコトニ取極ガアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○堀内委員 ソレハ何デスカ、南サンハ今役所ニオ居デスカラサウデアリマセウガ、河内ト云フ人ノ特許權モ同様ト云フコトニ解釋致シテ宜シウゴザイマス

○田中政府委員 先程申シマシタヤウニ、今河内君ノ特許權使用ニ付テ河内君ノ承認ガアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○堀内委員 私人質問ハ是デ打切りマス

○坪山委員長代理 淺井サンニ御願シマス

○淺井委員 先ヅ木炭飢饉ノ原因ニ付テ政府ノ方デハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ルカ、此ノ二法案ニ致シマシテモ、若シ今回ノ木炭飢饉ノ原因ヲ十分探究シテ居ラレマシタナラバ、此ノ二ツノ法案ガ果シテ必要デアルヤ否ヤト云フ決定ノ前提ニナルト思フノデアリマス、ソレモ、飢饉ノ原因ニ付テ探究サレテ、此ノ二ツノ法案ノ提出ニナツタコトトハ思ヒマセウカ、此ノ原因ヲ十分ニ承ツテ置キマセウカ、此ノ法案審議ノ上ニ重大ナル影響ヲ與ヘテ來ルノデアリマス、或ハ政府ノ方カラモ今マデノ質問應答ノ中デ、其ノ原因ノ一部分ハ承ツタノデアリマス、或ハ製炭業者ガ少クナツタトカ、

或ハ需要ガ非常ニ増加シテ來タトカ、或ハ今マデ餘リナカツタ「ガソリン」代用ノ木炭ト云フモノガ進出シテ來タガ爲ニ、家庭用ノ木炭ヲ蠶食シテ來タノダト云フヤウナ、色々ナ原因ヲ承ツテ居リマセウカ、ソレダケデハ私ハナカラウト思ヒマス、日清、日露ノアノ兩戰役ノ際ニ於キマシテモ、木炭飢饉ト云フヤウナコトハ全然ナカツタサウデアリマス、然ルニ今回ハ全然ナカツタサウデアリマセウカ、本年ニ入りマシテ極端ナ飢饉ヲ招來シタ此ノ原因ト云フモノハ、何かソコニ特殊性ヲ持ツタモノガアリハシナイカト思フノデアリマス、聞ク所ニ依リマス、マダ産地ノ方、山元ノ方デハ澤山ノ木炭ガ堆積シテ居ルノダト云フヤウナ事實ノアリマスルコトカラ見デミマシテモ、

是ハ生産ノ方面ハ或ル點マデ局長ノ御話ノヤウニ出來テ居ル地方モアリマセウ、又色々ノ原因ノ爲ニ生産減ニナツテ居ル地方モ現實ニアルノデアリマス、所ガ折角苦心ヲ致シマシテ生産ヲ致シマシタ木炭ガ山元ニアリ、或ハ停車場ニ堆積ヲシテ居ルト云フ此ノ事實ヲ考ヘテ見マスルト、是ハ餘程私共ガ此ノ二ツノ法案ヲ検討スル上ニ於テ考ヘナケレバナラス、サウ云フ事實ガアリマスルモノニ對シテ、ソレ等ヲ解決スル方法ヲ政府ガ何モ考慮セズニ置イテ、唯俄狼狽ヲシタヤウニ木炭會社ヲ作ツテ見ルトカ、或ハ特別會計デ十三都市ニ木炭ノ倉庫ヲ拵ヘテ、政府ガ買上ラスルノダトカ云フヤウナコトヲ考ヘテ見マスルト、其ノ前ニ當ツテモウ少シ政府ガ眞面目ニ消費地ト生産地トノ連絡、或ハ調査ト云フモノヲセラレテ居リマスレバ、或ハ都會地ニ於ケル、即チ消費地ニ於ケル木炭ガ今日ヨリモ圓滑ニ配給

ヲ受ケ得タデハナカラウカト云フヤウナコトヲ切ニ考ヘルノデアリマス、唯木炭ノ閣相場ガ行ハレテ居ルノダ、斯ウ云フコトヲ本會議アタリデモ盛ニ申サレテ居リマスルシ、又現實ニ閣取引ト云フモノモアルサウデアリマスルガ、中ニハ——私共ハ噂ニ過ギナイト思ヒマスケレドモ——輸送關係ノ不完備ノ爲ニ、例ヘバ貨車ガ少イト云フヤウナ爲ニ、折角停車場マデ搬出ハシテ参リマシタケレドモ、停車場デ其ノ炭ガ動カナクナツタ、ソレヲ早ク消費地ノ方ニ送ラウト思ヒマスルト、驛員ニ「コンミツシヨ」ヲ與ヘナケレバ、所謂ソレニ「サービ」料ヲ出サナケレバ驛員ガ其ノ炭ヲ取扱ハナイト云フヤウナ噂マデモ聞クノデアリマス、サウ云フヤウナコトカラ考ヘテ見マズルト、此ノ木炭飢饉ノ重大ナル原因ハ、何處ニアルカト云フヤウナ確實ナル御調査ヲセラレテ居ルカドウカト云フコトヲ先ヅ承ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 木炭飢饉ノ原因ト致シマシテ、御話ノヤウニ生産關係ニ於キマシテハ、生産條件ニ依ツテ從來ヨリモ生産増加ハアリマスルケレドモ、需要ニ應ジテ生産ガドシノ、出來ルト云フヤウナ状態ニナイト云フコト、需要方面ニ於キマシテハ、今ノ御話ノヤウニ鑛工業用ノ需要、又家庭用ニ致シマシテモ、減ル部門ハ勿論アツタノデアリマスルガ、労働者ノ都會集中ニ依ル新シイ木炭ノ需要増加トカ、瓦斯用木炭ノ需要増加ト云フヤウナ、事變ニ因ル特殊的需要ト云フモノモ、相當豫想外ニ増加ヲ來シテ居ルト云フコト、配給關係ニ於キマシテハ御話ノヤウナ鐵道ノ輸送力ノ問題、是ガ他ノ物資、殊ニ御承知ノヤウニ米トカ

チ合ツタ、而モ從來ノ取引關係ガ、必ズシモ鐵道ノ合理的輸送ヲ前提トシテ居ナカク關係等々ノ輸送上ノ問題、更ニ配給ノ問題ト致シマシテ、各縣ニ於テソレソレノ事情ニ依ツテ、縣内ノ需給ノ關係デ以テ、或ル程度ニ各縣ニ於テ制限ヲサレタト云フヤウナ配給ノ關係等、サウ云フヤウナ問題ニ依リマシテ木炭ノ飢饉ガ起ツタノデアリマス、勿論ソレニ付キマシテハ實力以上ニ不足感ヲ國民ニ與ヘタト云フコトモアリマセウガ、結局ハヤハリ需要ニ供給ガ追付イテ居ナイト云フコトガ根本ノ問題デアルト思ヒマス

〔坪山委員長代理退席、伊藤委員長代理著席〕

○淺井委員 只今ノ局長ノ御答辯ニ依リマス、唯需要ト供給ノ「バランス」ガ取レナカツタト云フコトガ原因デアルト云フ御話デアリマスガ、其ノ「バランス」ヲ取レナイ、更ニ根本ノ原因ガアリハシナイカ、需要ガ非常ニ増加シテ來タニモ拘ラズ、ソレニ伴ツテ生産ガ増加シナカツタト云フコトヲ申サレマスルガ、何方爲ニ生産ガ需要ト同様ニ出來ナカツタカ、政府ニ於キマシテモ隨分木炭ノ増産計畫ト云フモノヲ立テマシテ、地方ノ方デハ獎勵サレテ今日マデ來タノデアリマス、昨年アタリモ一貫ニ對シマシテ一錢ダケノ獎勵金マデ出シマシテ、増産ノ獎勵ヲシタノデアリマシテ、是ガ爲ニハ或ハ獎勵金其ノ他ノ方法ニ依リ、或ハ地方長官ニ對シマシテ農林省ノ方カラ特別ニ増産ニ對スル努力ヲシロ、斯ウ言ツタ、ソレニ依ツテ各府縣ニ於キマシテハ、政府ノ命令デアリマスルカラ、ソレノ増産計畫ト云フモノヲ立テタノデアリマス、所ガ立テル

ニハ立テマスケレドモ、ソレガ單ニ獎勵金、其ノ他或ハ政府ノ命令ト云ツタヤウナコトニ依リマシテ、豫想的ナ數字ヲ作りマシテ、實際生産ハ出來ヌニモ拘ラズ、生産ノ出來マスルヤウナ數字ヲ政府ノ方ヘ御報告シテ居ルト云フヤウナコトモ承ルノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ、所謂地方ノ實情ガ十分ニ分ラナイノニ、地方カラ言ツテ來タ報告ノ數字ヲ基調ト致シマシテ、ソレニ依ツテ今マデハ増産ガ出來ツツアルカノヤウニ政府ハ思ツテ居ツタノデアリナイカ、サウ云フヤウナコトデ非常ニ今マデ獎勵ヲシテ來マシタ増産計畫ト云フモノニ齟齬ヲ來シ、即チ需要ニ對シテ供給ガ完全ニ出來ナカツタト云フコトニ原因ガアリハシナイカト云フノガ一點デアリマス、殊ニ斯ウ云フコトニ對シマシテ御研究ヲサレテ居ルカドウカ、ソレハ木炭製造業者ト云フモノハ釘付ケノモノデハナイ、現在ノ木炭製造業者ノ統計ノ數字モ出テ居リマスルガ、製炭業者ガ是ダケアルノダカラ、例ヘバ現在生産サレテ居リマスル六億五千万貫ト云フ炭ハイツ何時デモソレダケノ數量ノモノガ確保サレルノダ、是等ノ製炭業者ハ何時モ木炭バカリ生産シテ居ルノダ、若シ政府ノ方ガ斯ウ云フヤウナ御見解デアリマシタナラバ、ソレコト木炭ノ増産計畫ト云フモノハ如何ニ政府ガ獎勵金ヲ出サレテモ、是ハ到底出來ナイト私ハ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、或ハ來年度ノ御計畫ノ中ニハ、隨分色々ノ方面ニ對シマシテ補助政策トカ、或ハ獎勵金トカ或ハ築ヲ築ク者ニ對シマシテ補助金ヲ出ストカ云ツタヤウナ、有ユル間接的ノ獎勵ノ爲ニ相當巨額ノ金ヲ出シテ居リマスルガ、若シ其ノ業者ガ何時デモ炭

燒ニ満足シテ居ルモノナリト云フ御考デ扱ツタナラバ、如何ニ獎勵金ヲ交付致シマシテモ、ソレハ私ハ出來ナイト思ヒマス、殊ニ政府ハ低物價政策ヲ堅持致シマシテ、今日マデ參ツタノデアリマスルカラ、木炭ニ對シマシテモ、或ハ現在ノ方針ハ變ヘルコトハナイト私ハ考ヘテ居リマス、若シ是ガナカツタナレバ、逆モ木炭ノ増産計畫ト云フモノハ出來ルモノデハナイ、殊ニ製炭業者ト云フモノガ常ニ炭燒デ居ルカレバ、ソレハ出來ルカモ分リマセヌ、是ハ政府ノ計畫通り獎勵金デモ出スナリ、或ハ今マデ計畫ニナツテ居ルヤウナ方法ニ依リマシテモ、或ハ目的通りノ數量ヲ上ゲ得ラレルカモ分リマセヌガ、御承知ノヤウニ此ノ木炭製造業者、即チ炭燒ト云フモノハ直グ是ハ轉業スルノデアリマス、一方ニ山間ニ於キマスル他ノ方面ノ事業ガ起リマシテ、ソレニ依ツテ收入ガ多クナツテ參リマスルナレバ、炭ヲ燒イテ満足シテ居ルモノデハナイノデアリマス、直チニ他ノ方面、或ハ昨今木材ガ暴騰シテ參リマシテ、木材ヲ運搬シマスルコトガ、炭ヲ燒キマスルヨリモ、ヨリ以上收入ガ多イトナリマスルト、炭燒ヲ直グ投ガ捨テテシマヒマシテ、木材ノ運搬業ニ從事スルノデアリマス、其ノ方ガ殆ド毎日ノヤウニ收入ガ上ツテ參リマスルカラ、現在ノ炭燒ノ業者ト云フモノハ至ツテ知識ノナイ者ガ多クアリマシテ、是ハ地方ニ居リマシテハ、ドウ云フヤウナ方ガヤツテ居ラレルカモ知リマセヌガ、私ハ高知縣ノ者デアリマスガ、高知縣ノ者ハ炭燒ト云フテ非常ニ輕蔑サレテ居ルノデアリマス、出來ルナラバ炭ハ燒キタクナイ、何カ金儲ケノ、他ノ日傭務ギデモ宜イカラ、炭ハ燒キタクナイ

第六類第五號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第二十回 昭和十五年三月十九日 二八三

ト云フ心理状態ニ置カレテ居ル者バカリデアリマス、デアリマスカラ現在ノ低物價ヲ其ノ儘踏襲シテ參リマシテ、ソレデ増産ヲシロト言ツタ所ガ、是ハ東北方面トカ、或ハ四國トカ九州方面トハ非常ニ狀況ヲ異ニシテ居ルカモ存ジマセヌガ、現在高知縣方面デハ、山間地方ハ非常ナ好景氣デアリマス、今マデ山村疲弊ト云フ聲ヲ隨分立テマシテ、高知縣ノ如キモノハ非常ナ貧困ノ者ハ山間ノ住民ナリ、所謂山村救済ト云フ聲ヲ隨分私立テテ參リマシタガ、現在ハドウカト云フト、寧ロ平坦部ノ百姓ヨリハ、遙カニ收入ノ多イ生活ヲシテ居ルノデアリマス、是ハ或ハ木材ノ暴騰、生絲ノ高値、或ハ製紙原料ノ如キモノハ戰前ニ比較致シマシテ、約七倍ト云フ暴騰ヲ示シテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニ山村ノ人々ト云フモノハ、現在景氣ニ煽ラレマシテ、昔ノ山村民トハ全然異ツテ居リマス、其ノ山村ノ、下層ニハ居ルトハ言ヒマスルモノノ、サウ云フヤウニ山間ニ收入ノ多イ仕事ヲ殖エテ參リマシタカラ、炭焼デ現在ノ價格ヲ満足シテ、イツマデモ炭ヲ燒イテ生活ヲシヨウ、サウシテ村民カラ炭焼ナリト輕蔑サレルヤウナモノニ從事スル筈ハナイト私ハ思ヒマス、段々高知縣ノ製炭額ガ減ツテ參リマスト云フコトハ、其ノ木炭製造業者ト云フモノガ、他ニ轉業スルト云フコトガ、大キナ原因デアルト思フノデアリマス、ソレデ生産減ト云フモノハ直チニ、或ハ今マデ炭焼ヲシテ居ツタ者ガ應召サレタトカ、或ハ都會ノ方ヘ勞働者ヲ奪ツテ行ツタ、サウシテソレガ爲ニ山間ノ勞働者ガ少クナツタ、斯ウ申シマストケレドモ、サウデヤナイ、ソレモアリマセウケレ

ドモ、ソレヨリモ所謂炭焼ヲ止メテ、他ノ有利ナ勞働ニ從事シヨウト云フ風ノアリマストコトハ事實デアリマス、デアリマストカラ、轉業スルト云フコトニ對シマシテハ、何カ轉業ヲ防止、即チ他ノ仕事ヲサセナイヤウニシテ置カナケレバ、如何ニ苦シンダ所ガ、増産計畫ヲ立テタ所ガ、ヨリ以上儲カル仕事ガアリマスト、其ノ方ヘ全部移ツテシマウノデアリマス、デアリマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、單ニ低物價政策ヲドコモデモ堅持サレマシテ、是デ押進シテ行クカドウカ、木炭飢饉ノ救済ハ所謂増産デアリマシテ、炭サヘ出來ルナラバ、此ノ會社ノ必要モナケレバ、此ノ配給制ト云フヤウナコトモ、十三大都市ニ木炭ヲ買占メテドウト云フ必要ハナイノデアリマス、要ハ増産デアリマスカラ、果シテサウ云フヤウナ、炭焼ノ心理状態ト云フモノヲ十分ニ御研究サレマシタ上デノ増産計畫ヲ立テテ居ルノカドウカ、是ハ疑問デアリマス、併シ只今申上ゲマシタヤウニ、斯ウ云フヤウニ轉業スルト云フヤウナ地方ノ事實ヲ政府ノ方デハ御檢討サレタ上デ、此ノ増産計畫ヲ御立テニナツテ居ルカドウカト云フ點ヲ御尋シタイト思フノデアリマス

○田中政府委員 御話ノヤウニ、御手許ニ表ガアリマスカラ、專業木炭業者、副業ノ木炭業者數ガ差上ゲテアリマスカラ、何レニ致シマシテモ副業デアレバ、副業デアラダケニ、他ノ産業ガ好ケレバ製炭ニ從事スル者ガ減ル、專業デモ御話ノヤウナ性質ノモノデアリマスカラ、殊ニ簡單ニ轉業シ易イ状態ニアルノデアリマシテ、勞働者ガ、所謂製炭夫ガ人ガ少クナツテ居ルト云フ事實ガアリマスト、吾々ト致シマシテモ、之

ニ對應スル爲ニ製炭技術ノ向上ヲ圖リ、製炭能率ノ増進ヲ圖リ、更ニ只今十五年度ノ追加豫算ニアリマスカラ、或ル程度ノ團體的製炭ヲモ之ニ加味シテヤルト云フヤウナ考ヘ方デ以テ進ンデ居ルノデアリマス、御話ノ製炭夫ノ減少ト云フコトハ、吾々ト致シマシテ一番大キナ惱ミデアリマスト、此ノ點ニ付キマシテノ對策ト致シマシテハ、地方廳ノ指導者其ノ他ト協力ヲ致シマシテ、實ハ苦心ヲシテ居ルノデアリマス

○淺井委員 對策ヲ立テラレテ居ルヤウデアリマシテ、地方長官ト色々方策ヲ御研究サレツツアルト云フヤウナ話デアリマシテ、レドモ、是ハ所謂當面ノ問題デアリマシテ、是カラソレヲドウスヨウト云フ問題デアリマセヌ、現在デモ木炭飢饉ヲ消費者、即チ東京市、大阪市ノヤウナ大都市ハ苦シンデ居ルノデアリマス、是カラ其ノ木炭製造業者ガ減少スルノヲ、地方長官ト協議シテ、完全ナ方策ヲ立テマセウツツヤウナモノデハナイ、既ニ現在政府ノ方デ斯ウ云フヤウナ方策デアルノダト云フコトニマデ御研究ガ出來テ居ルト思ツテ居リマシタガ、是カラ研究シテ炭ヲ澤山出造リマセウツツデハイカス、モウ實ハ私ハ出來テ居ルトラ已ムヲ得マセヌ、兎ニ角ハ餘程重大ナ問題デアリマシテ、木炭ノ價格ヲ現在ノ儘デ押通スト云フノデアリマシタナラバ、或ハ適正價格ト云フコトヲ能ク申シテ居リマスカラ、斯ウ云フヤウナ方面ノコトヲ更ニ御檢討セラレナケレバ、木炭ノ増産ハ決シテ不可能ナリト私ハ言ハザルヲ得ナイノデアリマス、轉業サレマストモノ

モ只今申上ゲマシタ通りデアリマシテ、是ハ如何ニ拘束ヲシヨウト、如何ニ對策ヲ練リマシテモ、或ハ高知縣ノ方面デモ盛ニ青年學校ノ生徒、中學校ノ生徒、小學校ノ生徒マデ引張り出シテ、木炭ノ増産ヲ始メマシテ、サウシテ知事ハドウ云フカト云フト、是ダケ小學校ノ生徒カラ中學校ノ生徒マデ引張り出シテ炭ヲ燒イテ居ルカラ、モウ木炭飢饉ト云フヤウナモノハ絶對ニナイト云フヤウナコトヲ新聞記者ヲ通ジテ新聞紙ニ麗々シク書立テサセマシテ、如何ニモ炭ガ立ドコロニ出來ルカノヤウニ世間ニ吹聴シタノデアリマス、併シハ結構ナ話デアリマスカラ、小學校ノ生徒ヤ中學校ノ生徒デアリマシテハ炭ガ燒ケルモノデハアリマセヌ、若シサウ云フ者ニ炭ヲ燒カセタナラバ、其ノ大切ナ薪炭林ハ段々減少スルコトヲ却テ心配スルノデアリマス、又中學校ノ生徒、小學校ノ子供ヲ若シ薪炭林ノ中ニ入ラセマシテ、木ヲ切ラス、サウ云フヤウナコトヲ致シマシタナラバ、是ハモウ薪炭林ヲ非常ニ荒廢サセル因デアリマス、アレモ切方ガアリマスカラ、又地上カラドレ位高ク切ラナケレバ、後カラ芽ガ出テ來ナイ、ト云フヤウナ一本ノ木ヲ切りマストコトニモ、是ハ相當ノ注意ヲ拂ハナケレバナイ問題デアリマスト、殊ニ際ノ中ヘ其ノ際ノ中ヘ原木ヲ入レマシテ火ヲ付ケタラ直チニ炭ニナルノダ、斯ウ云フ風ヲ御考ヲ持ツテ居ルカモ分リマセヌガ、是ハ大キナ間違ヒデアリマシテ、相當熟練シタ者デモ八〇%ニ焚ヲ止メル、ト云フノガ、炭焼トシテハ非常ニ技術ノ良イ方デアリマス、中學ノ生徒ニ若シ炭焼マデモサセル——唯木ヲ伐ラス、或ハ其ノ木ヲ運搬サセルト云フ勞務ダケヲ

サセルト云フノデアリマシタナラバ、或ハ是ハ誰デモ出来マセウガ、實際ノ炭ヲ燒クヤウナコトハ、中學ノ生徒ヤ何カニハ絶對ニ出来ヌノデアリマス、サウシタナラバ、モウ三割、多クテ五割マデハ歩止リハナイノデアリマス、澤山ナ木材ヲドソノ、サウ云フ方面ニ於テ唯灰ニシテシマフヤウナ、木炭製造ヲ、而モ麗々シク書立テラレマシテ、其ノ上ニ木炭飢饉ト云フモノハ是ガ爲ニ解消スルノダト云フヤウナコトヲ、宣傳シテ居ルヤウナ風モアリマシタ、併シナガラ炭燒ト云フモノガ誰デモ直チニ出来ルカノヤウニ言ツテ居リマスケレドモ、サウ簡單ニ行クモノデハナイト云フコトハ、是ハ局長モ能ク御存ジノコトト思フノデアリマス、何十年來殆ド子供ノ時カラ炭燒バカリヤツテ居ル者ニ聞イテ見マシテモ、ソレデモ自分ガマダ炭燒ノ研究ヲシテ居ルガ、長イ間ノ經驗ニ依ツテモ、完全ニ炭ヲ燒クコトガ出来ナイノダト言ツテ、告白シテ居ルモノモアル位デアリマシテ、是ハモウ非常ナ面倒ナ問題デアリマス、唯簡單ニ考ヘマシタラ、直チニ簡單ニ出来ルヤウニ思ヒマスガ、ソレハ實ニ炭燒ノ苦心ハ一通リデハナイノデアリマス、今日ノヤウニ原木ガ高クナツテ居リ、唯歩止リノ如何ニ依ツテ現在ノ安イ値段デ炭燒ガ相當——日備賃ニナルカナラヌカト云フコトニ付キマシテハ、要スルニ其ノ技術ダケデアリマス、其ノ窯カラ出シマシタ炭ガ成ベク歩止リノ良イダケ、ソレダケ勞銀ガ多クナルト云フコトニナリマスルカラ、此ノ製炭業者ノ苦心ト云フモノハ一通リデナイノデアリマス、是等ニ付キマシテハ今後ノ重大問題デアリマスカラ、局長ノ方デハ特ニ研究サレテ居ルト思ヒマス

ガ、ヨリ以上ノ御注意ヲ私ハ拂ツテ戴キタイト思フノデアリマス、次ニ運輸關係、即チ搬出ノ不備ナコトヲ初メニ一寸申上ゲマシタガ、局長ノ方デモ御分リニナツテ居ルダラウト思ヒマスガ、是ハ産業組合ト一般ノ企業者ト言ヒマセウカ、地方ニハ問屋ト云フモノガアリマス、木炭移出業者トモ言ツテ居リマスガ、サウ云フ方面トノ衝突ニ依ツタコトガ消費地ニ對シマシテ圓滑ニ炭ノ輸送ガ出来ナカツタ原因ノ一ツデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ點ニ付テ御研究ヲサレタコトガアルノデアリマセウカ、ソレハ産業組合ガ進出シテ來ルノデアリマス、サウシテ一方木炭移出業者モ山元カラ木炭ヲ集荷スルノデアリマス、二本建デ集荷致シマスルカラ、其ノ集荷致シマシタ炭ガ、或ハ船舶ニ依リ、或ハ鐵道輸送ニ依リ、斯ウ云フコトニ相成ツテ參リマス、兩方ガ炭ヲ集メマシテ、其ノ集マツタ炭ハ又何レモ系統ガ違ツテ搬出ヲシテ居ルノデアリマス、時ニハ産業組合ノ方モ、或ハ一般移出業者ノ方モ鐵道便ノミヲ利用シテ居ルモノモアリマス、其ノ利用シテ居ルモノニ致シマシテモ、ソレガ一貨車ニ雙方ガ集メテ居リマスカラ、一ツノ貨車ニ満載スルコトガ出来ナイ、或ハ一隻ノ船舶ニ兩方ガ炭ヲ集メテ居リマスル爲ニ、滿船ニナラナケレバ船ヲ動かカス譯ニ參リマセヌ、サウ云フヤウナ關係デ此ノ産業組合ノ進出ト、普通商人トノ競争ニ依ツテ完全ハ消費地ノ方ニ輸送ガ出来ナイ、早く敏活ニ輸送ガ出来ナカツタト云フヤウナ事實モ多ク多私ハ聞イテ居ルノデアリマス、是ハ或ハ全國的ニサウ云フヤウナ實例ガアルノデア

リマセウカ、サウ云フ風ニ産業組合ト商人トノ衝突ノ爲ニ茲ニ輸送ノ方面ニマデソレガ影響ヲシテ居ル、斯ウ云フ事實ヲ研究サレテ居ルカ、或ハサウ云フ事實ガ全國的ニアルト御認メデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○田中政府委員 産業組合側ト商人側トノ間ニ摩擦ノアルコトニ付キマシテハ、聞イテ居リマス、甚ダ此ノ點ハ遺憾デアリマス、中々此ノ問題ガ思フヤウニ解ケマセヌコトガ、又配給關係ニモ多少ノ影響ノアツタコトハ聞イテ居リマスガ、輸送力ニ影響ガアル問題ニ付テハ、實ハ迂濶デアリマシタガマダ聞イテ居ナイノデアリマス

○淺井委員 次ハ増産計畫、或ハ今回ノ木炭飢饉ノ原因ト云フモノハ、初メ局長カラ御説明ガアリマシタケレドモ、私ノ考ヘマシテモ、價格ノ問題ト同時ニモツト重大ナ問題ハ、統制ノ不徹底ダラウト思フ、統制ガ一貫性ヲ缺イテ居ルト云フコトガ、最大ナル今回ノ木炭飢饉ヲ招來シタ原因デアハナカラウカト思ヒマス、或ハ是ハ將來ニ對スル木炭増産計畫ニモ非常ナル影響ヲ來スモノデアリマスカラ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ既ニ御研究サレテ居ルカモ知レマセヌガ、現在ノ統制ノヤリ方デハ、唯表面ノ價格バカリヲ統制シテ居ル、製品ノ價格ダケヲ統制致シマシテ、肝心ナ原木、即チ薪炭林價格ノ統制ト云フモノハヤツテ居ラナイノデアリマス、デアリマスカラ此ノ薪炭林ノ値上リト云フコトハ、他ノ物價ト同様ニ、薪炭林所有者ガドソノ、價格ヲ釣上ゲテ參リマス、ダカラ高イ原木ヲ使ツテ木炭ヲ生産シナケレバナラヌト云フコトニナルノデア

リマセウカ、サウ云フ風ニ産業組合ト商人トノ衝突ノ爲ニ茲ニ輸送ノ方面ニマデソレガ影響ヲシテ居ル、斯ウ云フ事實ヲ研究サレテ居ルカ、或ハサウ云フ事實ガ全國的ニアルト御認メデアリマセウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

云フモノハ、低物價政策ニ依リ、何處マデモソレヲ貫徹スルノダト云ツテ居リマス、肝心ノ原木ハ値上リヲシテ居ルガ、其ノ薪炭林ノ價格ノ統制ハ拔キニ致シマシテ、安イ品物ヲ造レト云ツタ所ガ、果シテ造リ得ラレルデアリマセウカ、或ハ此ノ生産業者ニ致シマシテモ、日常ノ必需品ト云フモノハ、御承知ノ通り如何ニ政府ガ低物價ヲ言ヒマシテモ、實際ハ値上リヲシテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニ一般物價ハ値上リヲスル、原木ハドソノ上ツテ來ル、出来上ツタ炭ダケハ此ノ位ノ値デナケレバ賣レナイゾト云ツテ、木炭ノ價格バカリヲ統制ヲシテ行キマシテ、果シテ増産ガ出来ルデアラウカ、要スルニ今回ノ木炭飢饉ノ原因ハ此ノ統制ノ不徹底カラデアル、統制ヲヤルナラバ統制ヲ何處マデモ強化致シマシテ、統制ニ一貫性ガナイトイケナイ、其ノ製品ニナルマデノ間、所謂原料カラ製品ニナルマデノ間ヲスツカリ統制ヲシテ置イテ、全面的ナ統制ヲシテ初メテ其ノ統制ガ效果ガ現レルト思ヒマスケレドモ、現在ノヤリ方ハ唯製品バカリノ價格ノ統制ヲヤツテ、ソレデ政府ハ御満足サレテ居ツタヤウデアリマス、併シソレガ今回ノ木炭生産ノ減少ヲ來シタ原因デアアル、今回増産計畫ヲ立テテ居ラレマスガ、此ノ一貫シタ統制ヲ強化シナカツタナラバ、是ハ絶對ニ出来ルモノデハナイト思フ、今回ハ政府ノ方ノ「ガソリン」用ノ木炭ノ方デハ、原木ノ供給ヲスルト云フヤウニマデ計畫サレテ居リマスガ、此ノ薪炭林ヲ、何處マデモ價格統制ヲ爲シ得ル御考デアルカ、唯出来上ツタ物ニ對シテ今マデ通りノ統制ノ方法デ進ンデ參ルノデアリマスカ、此ノ點ニ付キ

マシテハ餘程重大ナ問題デアリマシテ、將來増産計畫ガ果シテ出來ルカ出來ナイカト云フコトガ、私ハ此ノ統制ノ強化サレルカ否カノ分レ道ダト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

適正價格ノ下ニ相當ノ數量ヲ出シテ戴クト云フヤウナ方法、或ハ原木ノ共同購入ニ對シテ僅カデアリマスガソレニ助長ヲスル、其ノ他指導上ノ方法ニ依ツテ原木ノ供給モ確保シタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

或ハ増産計畫ノ目的完遂ニ當ル、斯ウ御考ヘカモ存ジマセスケレドモ、私ハ現在ノ此ノ木炭生産ノ實情カラ考ヘテ、六億五千万貫ノ木炭ノ生産ヲ如何ニ現在見テ居ルカ、是等ノ數量ト云フモノガ確保サレテ居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、産業組合系

ルガ、マダ他ニ御考ノ足ラヌ點ガアリハセヌカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、増産計畫ノ内容ヲ、今御答辯サレマシタ以外ニ、何モナケレバナイデ結構デアリマスガ、其ノ點ヲモウ一度伺ツテ見タイト思ヒマス

○田中政府委員 御話ノ通りニ木炭ノ増産ニ付テノ問題ハ、價格問題ト生産費ノ低下ノ問題デアリマス、價格問題ニ付キマシテハ、昨年二回ニ互ツテ値上ヲ致シタノデアリマスガ、之ヲ以テ勿論其ノ後ノ變遷ニ對應シ得ルコトハ、サウ十分ナモノトハ考ヘテ居リマセヌガ、兎ニ角昨年ノ十一月ニ標準モノニ付テ十六錢ノ値上ヲシタ譯デアリマス、生産費方面ニ於キマシテノ殊ニ重要ナル問題ハ、即チ原木ノ問題デアリコトハ申上ゲルマデモナク、今ノ御話ノ通りデアリマス、併シ理想ト致シマシテハ或ル強力ナル統制ヲ致シマシテ、原木ノ供給ヲ一定價格ニ依ツテ圖ルト云フコトガ出來マシレバ、或ハソレニ越シタコトハナイノカモ知レマセヌガ、ソコニ行クマデニ相當階級ガアルト思ツテ居ルノデアリマス、ソコマデ強力ニ行クベキカドウカト云フコトハ、私ガ申上ゲルマデモナク、相當ナ問題デアラウト思ヒマスノデ、吾々トシテハ別ナ方法ト致シマシテ、原木ヲ多ク供給スル方法ヲ講ズル、先ヅ増産ヲ圖リ次イデ林道網モ擴充致シマシテ、御承知ノ通りニ十四年度ニ百万圓デアリマシタ林道ノ豫算ヲ五百万圓ニ致シマシテ、サウシテ未利用林分ヲ開發スルト云フコトニ依リマシテ、原木ノ増産ヲ圖ル、其ノ原木ノ提供ニ付キマシテハ、縣ニ於テ原木供給ニ關スル審査會ヲ設置致シマシテ、森林所有者者當業者ニ御相談ヲ願ツテ、

○津井委員 成程増産計畫ニ對シマス色々ノ政府ノ施設ハ、洵ニ結構デアリマス、林道ノ開發等ハ單ニ木炭ノ増産ノミナラズ、若シ林道ガ普及スルコトトナレバ、其ノ他ノ方面ニモ大キナ影響ヲ與ヘマシテ、是ハ山村ノ多イ府縣ニ取リマシテハ非常ニ幸デアリマス、是非トモ此ノ木炭増産ト云フ見地ヲ離レテモ、林道網ノ完備ト云フコトニ付キマシテハ、御盡力ヲヨリ以上ニ仰ギタイト思ツテ居リマス、政府ノ今回立テラレテ居リマス此ノ木炭ノ増産計畫ト云フモノニ、只今御話ノヤウナ色々ナ間接的ナ施設ヲ致シマシテ、増産ノ案ヲ立テラレテ居ルヤウデアリマスガ、果シテ増産ト云フコトハ、政府ノ只今御考ニナツテ居ルヤウナ施設ニ依リマシテ、實現ガ爲シ得ルカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ見タイト思ヒマス、ト申シマスノハ現在ノヤウニ、政府ガ間接的ノ獎勵或ハ施設ヲセラレル、ソレモ増産ノ計畫ノ一助成ニハ確ニナリマスガ、サウ云フヤウナ間接的ノコトバカリデハ、何等増産ト云フモノハ出來ルモノデナイ、モウ少シ木炭ノ生産業者ノ實情ト、只今申上ゲタヤウナ原木トノ關係、サウ云フヤウナコトヲ御考ヘ下サラナケレバ、私ハ此ノ増産計畫ト云フモノハ出來ヌノデヤナイカ、或ハ政府ノ方ニ於キマスレバ、産業組合、或ハ木炭同業組合或ハ農事實行組合ト云フヤウナ方面ニ呼び掛ケマシテ、是等團體ノ助力ニ求メテ、

統ダト申シマスガ、現在産業組合系統ノ組合員デ、實際木炭ヲ製造シテ居リマスモノハ、私ハ至ツテ少ナカラウト思ヒマス、或ハ副業的ニヤツテ居ル者ノ數字モ澤山並べテアルガ副業ニヤツテ居ルヤウナモノデハ、逆モ増産計畫ノ二億万貫ニ近イヤウナ數字ハ、絶對ニ舉ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、デアルカラ是等ノ産業組合或ハ農事實行組合——現在農事實行組合ノ方デ木炭ノ生産ヲシテ居ル所モアリマスガ、是ハ或ハ府縣カラ補助ヲ貰ヒマス爲ニ、農事實行組合ト稱シタモノヲ作り上ゲテ、ソレニ依ツテ其ノ團體ガ補助ヲ貰ツテヤツテ居ルヤウナ場合モアリマスガ、此ノ農事實行組合ノ中山村方面ノ農事實行組合ハ、殆ド木炭バカリヤツテ居リマス、是等ノ組合等ニ如何ニ呼び掛ケマシタ所ガ、ソレ等ノ手ニ依ツテ生産サレル數量ト云フモノハ、至ツテ少ナイノデアリマス、ニモ拘リマセズ、此ノ二億万貫ニ近イ生産計畫ヲ立テマシテ、唯間接的ナ道路ヲ作ルトカ、寮ヲ作ツタナラバ補助金ヲヤルト云フヤウナコトデ、果シテ其ノ増産ノ數量ダケヲ確保スルト云フ御確信ガ、確實ニ政府ニアルノデアリマセウカ、其ノ計畫ノ内容ヲモウ少シ具體的ニ、御話ヲシテ戴キマセヌト、ドウモ不安ニ堪ヘラレナイノデアリマス、實際ニ私共ノ考ヘテ居リマス増産計畫ハ、マダ別ノ方面ニアリハシナイカ、間接的ナコトモ結構デア

○田中政府委員 只今林道網ニ依ル原木ノ擴充ノ問題、更ニ原木供給ニ付テノ協議指導等ヲ申上ゲタ譯デアリマスガ、更ニ豫算等ニ於キマシテハ、御協賛ヲ願ヒマシタ一般豫算ニ於キマシテ、炭窯ノ設置助成、ソレニ付テハ炭窯ノ改良ト云フモノヲ前提トシ、或ハ能率ノ大キイ炭窯ノ設置助成、或ハ製炭技術ノ向上ノ爲ノ實習ノ指導、或ハ雪國ニ於ケル雪中製炭ニ對スル特別ナル設備ニ對スル助成、其ノ他共同製炭ニ對スル獎勵、又技術上ノ問題ト致シマシテハ、サウ専門的ナ技術者ダケニ頼ツテ居ツタノデアリ、十分ニ製炭努力ヲ補助スルコトハ出來ナイト云フ觀點カラ、専門ノ製炭夫ニ加フルニ未熟練努力ヲ加ヘマシテ、其ノ専門家ノ指導ニ依ル製炭ノ指導ト云フヤウナコト、其ノ他團體的ナ指導ニ依ル能率ノ増進ト云フヤウナ施設ヲ以テマシテ、生産費ノ低下、能率ノ増進、或ハ更ニ製炭夫ノ季節的、地方的ノ移動ト云フモノニ對スル助成ト云フヤウナコトヲ考ヘマシテ、増産計畫ノ遂行ヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○津井委員 只今ノ御話ニ依ツテ、ソレデ本當ニ出來ルカドウカ心配スル者デアリマス、出來レバ此ノ上モナイ幸ヒデアリマスルガ、要スルニ増産計畫ガ完全ニ出來マシタナラバ、モウ何モ木炭飢饉ノ憂ハナイノデアリマス、政府モ完全ニソレダケノ増産ガ出來ルノデアリマシタナラバ、是ハ何モ

此ノ二ツノ法案ガナクトモ——十三都市ニ倉庫ヲ造ツテ、政府ガ炭ヲ買ツテ入レテ置カナイト商人ガ惡イコトヲスルノダト云フヤウナ御考ノ下ニ、サウ云フ方策ヲ立テラレタノカモ知レマセケレドモ、實際炭ガ澤山出來マシテ、六億五千萬貫、或ハ八億萬貫ニナルノダ、斯ウナツタ曉ニ於テハ、炭ハ消費地ノ方ニ流出ルナト云ツテモ必ズ出テ參リマス、出ザルヲ得ナイ、山間ニ幾ラ堆積シテモ一文ニモナリマセヌカラ、炭増産計畫ガ果シテ遂行出來ルカドウカト云フコトハ、只今ノ御説明ダケデハ何トナク満足出來ナイノデアリマス、次ニ今回ノ法律ニ依ツテ、現在各地方ニアリマスル木炭企業家ト云ヒマセウカ、移出業者トデモ云ヒマスカ、問屋ノヤウナ者、地方ノ木炭ヲ集メテ參リマシテ、之ヲ消費地方面ニ搬出スル業者デアリマスガ、十三都市ニ倉庫ヲ造テツ政府ガ炭ノ買上ヲスル、サウシテ需要期ニナツタナラバ、之ヲ政府ノ方カラ配給ヲスル、斯ウ云フコトニナリマス、ソレ等ノ移出業者、所謂木炭製造企業家ト云フ者ガドウ云フヤウニナリマスカ、ソレ等ノ機械ハ今マデノ通り置イテオキマシテヤル御考デアリマスカ、其ノ點ヲ承ツテ置キタイ

○田中政府委員 吾々ノ計畫シテ居リマス増産ノ目的ガ達セラレタト致シマシテモ、石炭ノ消費規制、其ノ他小工業用ノ需要ノ増加、或ハ場合ニ依リマシテハ、家庭用木炭ノ消費増加ト云フヤウナコトガ豫想サレマスノデ、吾々ノ増産計畫ガ目的ヲ達シタト致シマシテモ、取引ノ如何ニ依リマシテハ其ノ窮迫ガ相當痛切ニ感ゼラレルト云フコトニナルヤウニ思ハレルノデアリマス、

現ニ持越量モ相當消費サレテ居ルト思ハレマス、其ノ點カラ致シマシテモ窮屈ヲ感ズルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、御尋ノ政府ノ買上、賣拂ノ施設ガ出來マシタ後ニ於ケル取引機構ノ問題ニ付キマシテハ、此ノ買入賣拂ヲスルノガ僅ニ一億九千餘萬貫デアアル關係カラ致シマシテ、而シテ此ノ賣方ニ付テ從來ノ機構ヲ通シテ賣ルト云フヤウナ考カラシマシテ、買付ノ方ニ於テモ、政府トシテハ儲ケル必要ハナイノデアリマスカラ、出來ルダケ驛渡、或ハ貨車渡等ニ依ツテ買入レルト云フ考デアリマスノデ、從來ノ機構ニ影響ヲ及ボスト云フコトハナイト思ツテ居ルノデアリマス

○淺井委員 現在ノ販賣機構或ハ配給機構ヲ別ニ御變革ニナラズシテ、現在ノ儘ダ政府ガ或ハ買上ゲラシ、或ハ之ヲ賣渡スル、斯ウ云フヤウナ御計畫ノヤウデアリマスケレドモ、事實サウ云フコトガ出來ルノデアリマセウカ、現在ノ機構ヲ其ノ儘存置スルト申シマスケレドモ、例ヘバ十三都市ニ倉庫ヲ作りマシテ、ソコデ政府ハ買占ヲスルノデアリマス、即チ一億九千萬貫ノ買占ヲスル、サウスルト、其ノ買占ハ府縣ヲ通ジ、或ハ組合ヲ通ジテ、政府ハ成ベク直接買上ヲシヨウト掛ルニ相達ナイノデアリマス、或ハ中間業者デアアル木炭移出業ト云フヤウナモノノ手ヲ經テ買フ場合モアリマセウケレドモ、成ベクナラバ産業組合或ハ農事實行組合ト云ツタヤウナ方面ニ特ニ呼掛ケテ、是等ノモノニ依ツテ生産ヲササウト云フ、斯ウ云フヤウナ指導方針ラシイノデアリマスカラ、隨テ政府ガ買上ゲマスルモノモ、是等ノ中間業者ノ手ヲ經マスルヨリモ、或ハサウ云フ方面カラ買上ヲスルヤウニ獎勵

ヲスルノデハナカラウカ、或ハ産業組合ヲヨリ以上活動サセマシテ、産業組合ノ力ニ依ツテ一億九千萬貫カノ炭ヲ集メヨウ、斯ウ云フコトニナルノデハナカラウト思フノデアリマス、併シ若シサウデハナクテ、現在ノ移出業者、即チ政府ハ從前通り問屋カラ買上ヲスルノダ、斯ウ云フコトニナツタトシテモ、果シテサウ云フ問屋ガ事實上今マデ通り炭ヲ集メテ來テ政府ノ倉庫ニ賣付ガ果シテ出來ルノデアリマセウカ、現在ノ機構ヲ變革セズニ踏襲スルノダ、斯ウ言ハレマスケレドモ、現在此ノ移出業者ノヤツテ居リマス性質カラ考ヘテ見マシテ、若シ政府ガ直接此ノ移出業者ノ手ヲ經テ買フトシタナラバ、現在ノ中間デ仕事ヲシテ居リマス木炭企業家——一面ニハサウ申シテ居リマスケレドモ、其ノ企業家ト云フモノハ、現在ノヤウナ木炭ノ製造ハ出來ナクナツテ參リマス、ト申シマスノハ現在ノ移出業者ナルモノハ、大キナ消費地ノ都市ニアリマスル問屋カラ資金ノ融通ヲ受ケテ居ルノデアリマシテ、サウシテ其ノ資金ト云フモノヲ製造業者、即チ炭焼ニ前貸ヲスルトカ、或ハ原木林ヲ買ヒマシテ炭焼ニ與ヘテヤルトカ云フヤウナ關係ヲ持チマシテ、即チ中央ノ大消費地ノ都市ニアリマス間屋ト連絡ヲ持チマシテ、資金ノ融通ヲ受ケテ木炭ノ生産ニ從事シテ居ルノデアリマス、故ニ是等ノ地方ニ於ケル木炭問屋ト云フモノハ、サウ云フ資本ヲ借りテ融通ヲ受ケテ居リマス方面ニ炭ヲ搬出シナケレバ、資金ノ融通ヲ受ケラレナクナリマスカラ、勢ヒ政府ガ十三都市ニ倉庫ヲ拵ヘテ買占ヲスルノダ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレ等ノ中間業者ノヤツテ居ル仕事ト云フモ

ノハ、政府ノ倉庫ニ炭ガ入ルナラバ、他ノ炭問屋ノ方ニ流レテ參リマセヌカラ、自然是等中央ノ問屋ト地方ノ問屋トノ資金關係ガ絶タレテ、地方ノ木炭移出業者ノ生産ガ自然止マツテ來ル、斯様ナコトデ政府ノ増産計畫ト云フモノガ果シテ出來ルカドウカ、若シ政府ガ現在ノ機構ノ儘デ置クト申シマシテモ、政府ガ買占ヲ致シマスル爲ニ、事實ニ於テソレ等ノ機構ガ自然斷絶ヲスルノデアリマス、サウ云フヤウナ政府ノ倉庫ニ入りマスル炭トナリマシタナラバ、中央ニ於ケル金融機關ニナツテ居リマスル問屋ト云フモノハ、地方ニ金ヲ廻サナクナリマスカラ、自然地方ニ於ケル現在ノ問屋、即チ生産ニ從事致シテ居リマスル問屋筋ト云フモノハ、營業ガ出來ナクナツテ參リマス、事實ニハ止ツテシマフノデアリマス、現在是等ノ地方ニ於ケル問屋ト云フモノガ、ドレダケ一箇年ニ金ヲ動かシテ居ルカト云ヒマス、是ハ農林省發表ニ依リ察數等カラ換算ヲ致シマシテモ、是ハ政府ノ方デハ稍、低ク見テ居ルヤウデアリマスケレドモ、私共ノ計算ニ依リマス、一億二千萬圓位一箇年ニ融通ヲ致シマシテ、是等ノ木炭生産ニ從事シテ居ルノデアリマス、實際産業組合ダトカ其ノ他ノ實行組合ダトカ云ツタヤウナモノノ生産數量ト云フモノハ至ツテ少イノデアリマシテ、此ノ木炭飢饉ニナリマシテ、産業組合ガ出テ參リマシテ、非常ニ産業組合ノ方ガ山元ヘ行ツテ高ク炭ヲ買集メテ來テヤリマシタニモ拘リマセズ、實際是等ノ木炭企業者ノ手ニ依ツテ扱ハレタ木炭ノ數量ト云フモノハ六億五千萬貫ノ約九〇%ヲ占メテ居ルノデアリマス、其ノ他ノモノガ産業組合ノ手ニ依ツテ中央ニ或ハ其ノ

他ノ消費地ニ運搬セラレテ居ルノダト云フ此ノ事實カラ考ヘテ見マシテ、此ノ中間業者ヲ今マデノ機構通り置クト云ツテモ、ソレガ運用ガ出來ナクナツタ時ニ、増産計畫ト云フモノハ出來ルカドウカ、産業組合ヘドウ呼掛ケマシテモ、或ハ農事實行組合ヲドウ活動サセマシテモ、或ハ共同購入ニ對シマシテ特別ノ補助ヲ與ヘ資金ヲ融通スルト申シマシテモ、是ダケ多ク一億二千万圓ニ近イ金ヲ動かシマシテ、木炭生産ニ關係ヲ持ツテ居リマスル此ノ中間業者ト云フモノヲ全然度外視シマシテ、八億万貫ニ近イ生産ガ爲シ得ルカドウカト云フコトハ、是ハ餘程私ハ考ヘテ戴カナケレバナラスト思ヒマス、ソノ中間業者ト云フモノハ全然必要ハナイノダト——只今ハ申シマセヌケレドモ、政府ノ今回ノヤリマスルコトニ依ツテ事實ソレ等ノ者ガ除外サレテシマフ點カラ考ヘテ、私ハ此ノ増産計畫ガ爲シ得ラレルカドウカト云フコトヲ危ブム者デアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルノカ、此ノ點ニ付キマシテハ特ニ私ハ熱心ナル眞面目ニ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス、打明ケテノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

(伊藤委員長代理退席、小申委員長代理著席)

○田中政府委員 六億五千万貫ノ取引ニ更ニ増産分二億万貫アル譯デアリマスガ、數字のニ申シマスレバ、六億五千万貫ニ付テノ取引ハ從來通りト云フコトニナル譯デアリマス、残りノ二億万貫ノ問題ニ付テ、其ノ數字ガ吾々ノ考ヘテ居ル買上數字ト一致スル譯デアリマス、併シハ形式の数數字上

ノ問題デアリマスルガ、事實上ニ於キマシテモ、御話ノヤウナ中央ノ問屋ト地方ノ問屋カラ更ニ製炭業者ヘノ資金ノ供給ノアルコトモ事實デアリマス、併シナガラ其ノ資金ハ必ズシモ中央ノ問屋ノミノ資金デナイコトハモウ御話ノ通り、地方ノ資金ガ相當アルノデアリマス、ソレカラ政府ノ買上ガマスノハ、場所ハ何レト致シマシテモ、賣上問題ヲ考ヘテ見マスルニ、假ニ中央ノ問屋ガ地方ニ資金ヲ供給致シマシテ、而シテ其ノ結果炭ガ中央ノ或ル都市ニ流レルト云フコトニナリマスレバ、吾々トシテハ非常ニ結構ナコトデアリマシテ、政府トシテ競争シテ賣上ルコト云フヤウナコトハナイ譯デアリマス、所ガ其ノ炭ガ十分中央都市ニ流レタト斯ウ致シマス、今度ハ他ノ都市ニ不足ヲ來ス、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、サウシマスレバ他ノ都市ニ向ツテ吾々ガ不足部分ニ對シテ或ル程度ノ緩和的ノ賣上應ジラスルト云フヤウナ考デ居ル譯デアリマス、而シテ又公定價格ノ結果ト致シマシテハ、早ク買ツテサウシテ長ク貯藏スルト云フヤウナコトハ、恐ラク當業者トシテモ出來ルダケ避ケタイト云フ希望ガアルコトト思ヒマス、現ニ公定價格ノ或ル意味ニ於テノ弊害デモアリマセウ、公定價格デアアルガ爲ニ長ク貯藏スルト云フコトガ出來ナイ爲ニ、其ノ場ノデ買進ム、ソレガ爲ニ配給ガ旨ク行カナイト云フ現象モ、現實ニ昨年アタリノ炭飢饉ノ時ニアツタト思ヒマス、其ノ不利益ヲ、政府デ買ツテ置キマシテ、サウシテ都市ノ商人ノ方ノ必要ノ時ニソレヲ賣渡スト云フコトニ致シマスレバ、都市

ノ商人ノ方ト致シマシテハ倉敷、金利等ノ損失モナクシテ、割合ニ自分ノ思フ時期ニ或ル程度ノ炭ガ手ニ入ルト云フコトニナルノデアリマス、隨ヒマシテ、殊ニ消費地ノ都市ノ商人ノ方ト致シマシテハ、相當此ノ炭飢饉ニ對シテハ手當ガ出來ズニ御困リニナツテ、ソレガ爲ニ配給ガ不圓滑ニナツタト云フコトモ御承知ノ通りデアリマシテ、吾々トシテハサウ云フヤウナ缺陷ト云ヒマスカ、サウ云フ所ニ向ツテ商人ノ方ニ賣上テ行ク、サウシマスレバ、其ノ商人ノ方モ自分ノ得意方面ニ炭ガ適當ナ機會ニ手ニ入ツテ賣上ルコト云フヤウナコトニナリマスノデ、商人ノ方トシテモ非常ニ便利デアアルト云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○淺井委員 此ノ増産計畫ニ關聯ヲ致シマシテ、最初モ一寸御意見ヲ伺ツテ見マシタガ、現在ノ原木ノ價格ト云フモノハ、或ハ近イ中ニ適正價格ト云ヒマセウカ、何カ木炭價格ニ對シマシテハ御研究ヲサレマシテ、之ヲ更ニ他ノ物價ト比較シマシタ所謂適正價格ト云フモノヲ作ラレルカドウカ、是ハ將來ノ増産計畫ニ至大ニ關係ヲ持チマスルガ、此ノ適正價格ヲ御作リニナリマスカドウカト云フ點ニ付テ御尋シタイト思ヒマス

○田中政府委員 適正價格ノ問題デアリマスガ、實ハ中ニハ不需要期ニハ値下シタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ意見ヲ有シテ居ル方モアツタ位デアリマスガ、吾々トシテハ季節的値下ヲスルト云フ意思ハアリマセヌケレドモ、只今ノ所之ヲ値上スルト云フ考ハ持ツテ居ナイノデアリマス

○淺井委員 農林省デ御決定ニナリマシタ此ノ木炭ノ三段階ニ分レテ居リマスル「エー」、「ビー」、「シー」ノ價格ノ問題デアリマスルガ、此ノ三段階ニ價格ヲ分ケマシタガ爲ニ、表面カラ見マスルト如何ニモ合理的ニ是ハ出來テ居ルノデアリマス、私共ガ見マシテモ、或ハ「エー」格、「ビー」格、「シー」格ハ、所謂山元カラ問屋ニ渡リマスル價格、問屋ガ又小賣ニ渡シ價格、或ハ小賣人ガ更ニ需要者ニ賣渡シマスル價格、此ノ三ツヲ決定シテ居リマスルカラ、是ガ此ノ儘デ運用サレマシタ時ニハ、實ニ是程立派ナ價格ノ決定ハナイノデアリマス、所ガ茲ニ此ノ三段階級ニ分ケマシタコトガ却テ今日ノ市場價格ヲ混亂ニ陥レタノデアリマス、ソレハ初メニモ少シ申上ゲマシタヤウニ、産業組合ガ進出シテ參リマシテ、産業組合ノ扱ヒマスルモノハドウ云フ扱ヒヨシテ居ツタカ、是ハ其ノ「エー」、「ビー」、「シー」ノ三ツノ階級ノ値段ガアリマスルニモ拘リマセズ、産業組合ハ委託販賣ヲスルノデアアルト稱シマシテ、木炭ヲ製造シテ居リマスル山元ニ參リマシテ、其ノ實際ハ「エー」價格デ問屋筋ノモノハ買ハナケレバナラナイ價格ガアルニモ拘リマセズ、委託販賣ノ名ノ下ニ直接生産業者カラ「シー」價格ニ殆ド等シイ値段、而モソレヲ前渡金ト稱シマシテ、二圓ノ價格ヲ小賣値段ノ「シー」價格ガスルモノデアリマス、一圓八十錢位ノ金ヲ前渡スルノデアリマス、サウシテ山元カラ「シー」買出シテ來マスカラ、生産業者ノ炭ハ産業組合ノ方面ニ可ナリ流レ出タノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテ産業組合ノ此ノヤルコトニ因リマシテ——折角三段階ニ農林省ノ方デ區分ヲ致シマシテ、如何ニモ合理的

ナ其ノ價格案ガ出來テ居ルニモ拘リマセズ、産業組合ガ斯様ニ山元ニ參リマシテ、直接委託販賣ト稱シテ之ヲ買出シテスルノダト云フコトニナリマシタカラ、自然其ノ影響ヲ受ケマシテ原木林ガドノノ暴騰シタノデアリマス、ソレダケ山元デ炭ガ高ク賣レルノデアラナレバ、原木モソレニ依ツテ値上ヲシナケレバイケナイト云フヤウナコトデ、薪炭林ハ昂騰ヲシテ參リマスルシ、又初メニ申シマシタヤウニ、今マデ問屋、所謂移出業者計云フモノハ中央ノ問屋筋カラ金融ヲ受ケマシテ、ソレニ依ツテ生産業者ニ或ハ米ヲ前渡ラシ、或ハ其ノ他日用必需品ヲ前渡ラシ、或ハ金ヲ貸付ケテマデ生産ヲシテ居リマスルソレ等ノ業者カラモ、ドノノ流レ出タノデアリマス、又炭燒ノ方ハサウ云フコトヲシテ平氣ノ平左デアアル、自分ガ或ル資本家カラサウ云フ援助ヲ受ケテ居ルト云フ義理合ト云フヤウナモノハ、餘リ深ク考ヘナイノデアリマスカラ、一方ニ於テ産業組合ガ高ク買ツテヤラウ、斯ウ云フヤウナコトニナリマス、ドノノ其ノ方面ニ賣渡ラシタト云フヤウナ事實モ行ハレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ考ヘテ見マス、此ノ産業組合ガ進出ヲシテ參リマシテ、是ハ産業組合員デアリマスカラ、其ノ産業組合員ノ製品ヲ委託ヲ受ケテ組合ガ販賣ヲシテヤラウ、斯ウ云フコトニナリマス、是ハ當然カモ分リマセズ、併シサウナリマスルト折角農林省ノ方デ「エー」「ピー」「シ」ト分ケマシタ其ノ意味ガ何處ニアルカ、又眞ニ産業組合員ノ炭ガサウ云フ手段ニ依ツテ委託販賣サレルナラバ結構デアリマスカレドモ、中ニハ假令ソレガ組合員デナクテモ平氣ノ平左其ノ

炭ノ買出シヲヤツテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ見テミマス、私ハ此ノ「エー」「ピー」「シ」ノ三ツニ分ケマスコトガ、却テ市場價格ヲ混亂ニ陥レ、又産業組合ト一般商人ノ間ニ反産運動、或ハ商權問題トカ云ツタヤウナ、却テ惡イ産業組合對商人トノ間ノ軋轢ヲ増成スルコトニモ相成ルト思フノデアリマス、デアリマスカラ是等ノ點カラ考ヘテ見マシテ、果シテ現在ノ産業組合ガ斯様ニ委託販賣ト稱シテ炭ヲ買ツテ居ル此ノ事實カラ考ヘテ見マス、私ハ此ノ三ツノ階級ニ分ケマシタ此ノ木炭ノ公定價格ト云フモノヲ、變更スル必要ガアルデハナカラウカ、寧ロ三ツニ分ケマシタカラ斯ウ云フ問題ガ起ツテ參ツタノデアリマスカラ、之ヲ三ツニ分ケマセズ、即チ山元デ賣買ヲ致シマスル適正價格ヲ作り、サウシテ小賣價段ノ適正價值ヲ作ツテ、其ノ中間ニ於ケル木炭ノ價格ト云フモノハ、其ノ差額ヲ作りマシテ自由ニ販賣ヲサス、産業組合ト雖モ山元ニ於テソレ以上ノ價格デ買ハセナイ、或ハ小賣相場ハ幾ラト、斯ウ決メテ參リマスカラ、三ツノ價格ニ分ケマスコトヨリモ二本建ノ價格、即チ山元デ賣リマス價格ト小賣相場ノ價格トニ決定シテ置キマス方ガ、却テ斯ウ云フ問題ヲ醸スコトナシニ濟ムデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ二ツニ價格ヲ變更致シマス點ニ付キマシテハ、將來此ノ法案ガ通過致シマシタナラバ、或ハ何カ御考サレルデゴザイマセウカ、或ハ依然トシテ此ノ「エー」「ピー」「シ」ノ三階級ノ價格ヲ踏襲スル御考デアリマスカ、此ノ點ヲ御尋致シマス

○田中政府委員 政府ノ買上ガ際ニ於キマシテハ、商人ニ對シテモ産業組合ニ對シテモ同ジ價格デ買ツテ行クノデアリマス、價格ノ三段制ノ問題ハ、是ハ公定價格全面ノ問題トシテ、問題トナツテ居ル問題デアリマスガ、又二段制ニスルト今度ハ卸賣商ト小賣商ノ問題ガアルノデアリマス、實ハ其ノ邊ノ問題ガ中々面倒デアリマシテ、相當研究ヲ要スル問題デアリマスノデ、今後ノ公定價格ノ決定ニ付キマシテハ此ノ點ヲ、他ノ公定價格ノ問題モ同様デアリマスノデ、比較シテ研究シテ見タイト思ヒマス

○小串委員長代理 如何デスカ、モウ時間ガ大分過ギマシタカラ、マダ御質問ガ相當アルヤウデシタラ、適當ノ所デ明日ニ御廻シニナツタラドウデス

○淺井委員 宜ウゴザイマス、ソレナラモウ一ツダケ……是ハ只今申シマシタ産業組合ガ進出シテ參リマシテ、山元ニドノノ「シ」價格ニ近い價格デ買上ヲシテ來タ、サウ云フコトノ關係デ炭ノ消費地ニ搬出致シマスルコトガ、此ノ中間商人ガ殆ド手ヲ出スコトガ出來ナクナツタト云フヤウナコトデ、却テ消費地ノ炭ノ飢饉ヲ招來シタノデハナカラウカトモ思フノデゴザイマス、現ニ是ハモウ御存ジダラウト思ヒマス、東京市ニ於キマスル闇相場、而モ是ハ諒解相場トモ一面稱シテ居リマスガ、東京府廳ニ於キマシテモ非常ニ此ノ木炭ノ飢饉ヲ心配ヲ致シマシテ、何トカシテ木炭ノ買集メヲシヨウト云フヤウナコトデ、市内ノ商人ノ手ヲ經マシテ木炭ノ買上ヲシタノデアリマス、サウシマスルト實際生産地ヘ參ツテ見マス、産業組合ハ殆ド小賣相場同様ノ値デ今マデ賣買ヲシテ居リマスカラ、商人ガ行キマスト依然トシテ小賣價段ニ近い値段デアナイト生産業者ハ賣ツテ呉レナイ、デ

アリマスカラ已ムヲ得ズ東京ノ商人ト致シマシテモ産業組合ノ買ツテ居リマス價段デ買ハザルヲ得ナクナツテ來タ、ソレデ殆ド小賣相場同様デ生産地カラドノノ買集メテ參リマシテ、東京市内ニ炭ヲ積重ネテ居ル、所ガ小賣相場同様デ生産地カラ買ツテ參リマスカラ、商人ト致シマシテ更ニ直接消費者ニ賣却致シマス時ニハ、ドウシテモソレ以上運搬トカ或ハ買ツテ參リマシタ金利トカ云ツタヤウナ方面ノ、幾ラカ口錢ガナクテハ、商人トシテハ唯犠牲的ニ働クト云ツタヤウナコトハヤレルモノデハナイノデアリマス、デアリマスカラ小賣相場同様デ山元カラ買ツテ來タモノデアリマスカラ、今度府廳デハ仕方ガナイカラ、オ前ノ方デ三十錢ナリ四十錢高ク賣レ、是ハ已ムヲ得ナイ、ソレダケノ運賃或ハ金利、サウ云フヤウナ意味ノ口錢ソレニ加ヘル、公定價格ト云フモノハチャント決ツテ居ルノデアリマス、其ノ價格以上ニ三十錢、物ニ依レバ五十錢モノ口錢ヲ加ヘテ賣ル、普通ニ言ヘバ是ハ闇相場デアリマス、公定價格以上ニ三十錢、五十錢高ク賣ルト云フコトハ、是ハ絕對出來ナイ譯デアアル、ソレヲ府廳ガ承認ヲ致シマシテ消費者ニ公然トソレヲ賣却ヲ始メタ、私ハ是程不都合ナコトハナイト思フ、如何ニ府廳ト雖モ、如何ニ炭ニ困ツタト雖モ、政府ノ監督下ニアリマス東京府自ラガ、公然公定價格ヲ破ルヤウナコトヲ致シテ居ル、地方ノ者ガ假令一錢ナリ五厘ナリデモ之ヲ高く賣ルナリ、公定價格ヲ破ツテ居ツタ時ニハ、嚴罰ニ處シテ居ルノデアリマス、サウ云フノニモ拘ラズ、公然之ヲ認メテ賣ツテ居ル、ソレヘ持ツテ行ツテ之ヲ知ラナカツタト警視廳ハ狼狽ヲ致シ

マシテ、闇相場場デドン、商人ガ賣ツテ居ルト言ツテ警視廳ハ憤慨ヲ致シマシテ、直チニ是等ノ商人ヲ警視廳ノ地下室ニ抛リ込シタト云フ事實ガアリマス、サウシマスト今度ハ府會議員ガ非常ニ憤懣ヲ致シテ、以テノ外ダ、是ハ府廳ガ承認シテ三十錢ナリ五十錢ナリハ當然口錢ヲ與ヘルト言ツテ、府廳ガ所謂公認ヲシタ、其ノ商人ニ對シテ、警視廳ガ引張ルトハ何事ダト云フヤウナコトデ、警視廳ヘ參リマシテ色々交渉シタ結果、遂ニ警視廳ガ一札ヲ入レテ濟シタト云フ話ヲ私ハ聞イテ居ルノデアリマス、是ナドハ政府ガ低物價ヲ何處マデモ強調シテ、局長ノ方デモ將來ト雖モ木炭ノ價格ヲ上ゲナイト言ツテ居リマス一方ニ於テ、斯様ニ府廳ガ公然公定價格ヲ被ツテ商人ニ賣ラシタ、而モ警視廳ハ之ヲ闇相場トシテ檢舉シタ、其ノ結果府廳ト警視廳トノ間ニ軋轢ヲ醸シタト云フヤウナ事實ハ、即チ産業組合ガ進出致シマシテ、山元デ斯ウ云フ相場、所謂消費相場ニ近イ價格デ買ツテ居リマサルカラ、斯様ナ大キナ問題ヲ私ハ惹起シタノデハナカラウカ、是ハ政府ト致シマシテハ斯ウ云フ事實ヲ御存ジデハナイカモ知レマセヌガ、斯ウ云フコトガアリマシタナラバ、農林省トシテモ、折角作ツタ公定價格デアリマスカラ、之ニ對スル何カ制裁ヲ與ヘテ居ルデアラウト思ヒマスガ、斯様ナ事實ガアツタコトヲ御存ジデアリマセウカ、此ノ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス

○田中政府委員 山元デ高ク買ツタ事實ガアルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ能ク存ジマセヌガ、併シ今ノ御話ノヤウナ問題ハ、サウ云フ點カラモ起ツテ居リマセウケレドモ、需給ノ關係ガ逼迫シタト云フ關係ガ相當アルヤウデアリマス、或ハ商人ノ方デサウ云フ關係カラ買進マレタト云フ關係モアリマセウケレドモ、實ハ産業組合ノ木炭ノ取引ハ非常ニ減ツテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ御話ノヤウニ需給關係ガ非常ニ逼迫シ、且ツ取引關係ガ複雑シテ居ルト云フヤウナコトカラ、木炭ニ關スル吾々ノ豫期シナイ色々ナ問題ガ起ツタコトハ、甚ダ遺憾ニ思ツテ居ルノデアリマス

○淺井委員 ソレハ警視廳トノ間ニ私ガ只今申上ゲマシタヤウナ事實ガアツタノデスガ、ソレハドウデスカ

○田中政府委員 其ノ點ハ私ハ聞イテ居リマセヌ

○小串委員長代理 ソレデハ淺井サンノ質問ハ留保シテ、本日ハ是デ散會致シマス
午後五時三十三分散會

衆議院昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄第十八回中正誤

頁	段	行	誤	正
二三八	四	三一	山岸局長	岸局長
二三八	四	三五	山岸政府委員	岸政府委員